

## 2.3 自然的状況

### 2.3.1 気象の状況

長野県の気候は、盆地性の地形のため全県的に内陸型気候であるが、本連合管内は長野県の北部に位置しているため、日本海側気候の影響を受け、内陸は盆地毎にそれぞれの特徴を持っている。

長野市等を包括する長野盆地は、「日較差」「年較差」が大きく「夏暑く冬寒い」典型的な内陸性気候で、特に長野盆地から上田・佐久盆地にかけては雨の少ない地域となっており、平年降水量は 930mm 程度である。

冬は季節風の影響で北部は雪の日が多く、南部は晴れの日が続き、標高の高い地域では、山岳地帯特有の気候を持っている。また、平地といわれている地域の多くが盆地のため、盆地特有の気候が現れている。

#### 1 気象官署

対象事業実施区域近傍の気象官署としては、長野地方気象台、信州新町地域気象観測所及び聖高原地域雨量観測所が上げられる。主要な気象要素の平年値\*及び平成 22 年における月別気象概況について、長野地方気象台は表 2-3-1(1)、(2)及び図 2-3-1、信州新町地域気象観測所は表 2-3-2(1)、(2)及び図 2-3-2、聖高原地域雨量観測所は表 2-3-3(1)、(2)及び図 2-3-3 に示すとおりである。

\*平年値

気象を表す照準の尺度として用いられる気象要素の類型平均値で、10 年ごとに改定される。日本では現在 1981～2010 年の平均値が用いられている。

表2-3-1(1) 主要な気象要素の平年値（長野地方気象台）

気象要素		月												全年
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
気温	平均 (°C)	-0.6	0.1	3.8	10.6	16.0	20.1	23.8	25.2	20.6	13.9	7.5	2.1	11.9
	最高 (°C)	3.5	4.7	9.5	17.3	22.5	25.7	29.1	31.0	25.6	19.2	13.0	6.8	17.3
	最低 (°C)	-4.1	-3.8	-0.8	4.9	10.5	15.8	20.0	21.3	16.9	9.7	3.1	-1.6	7.7
降水量 (mm)		51.1	49.8	59.4	53.9	75.1	109.2	134.4	97.8	129.4	82.8	44.3	45.5	932.7
最多風向		東	東	東	西南西	西南西	西南西	西南西	西南西	西南西	西南西	東	東	東
平均風速 (m/秒)		2.0	2.2	2.8	3.0	3.0	2.7	2.4	2.6	2.5	2.4	2.1	1.9	2.5

注) 長野地方気象台の最多風向については、1990年～2010年の平年値である。

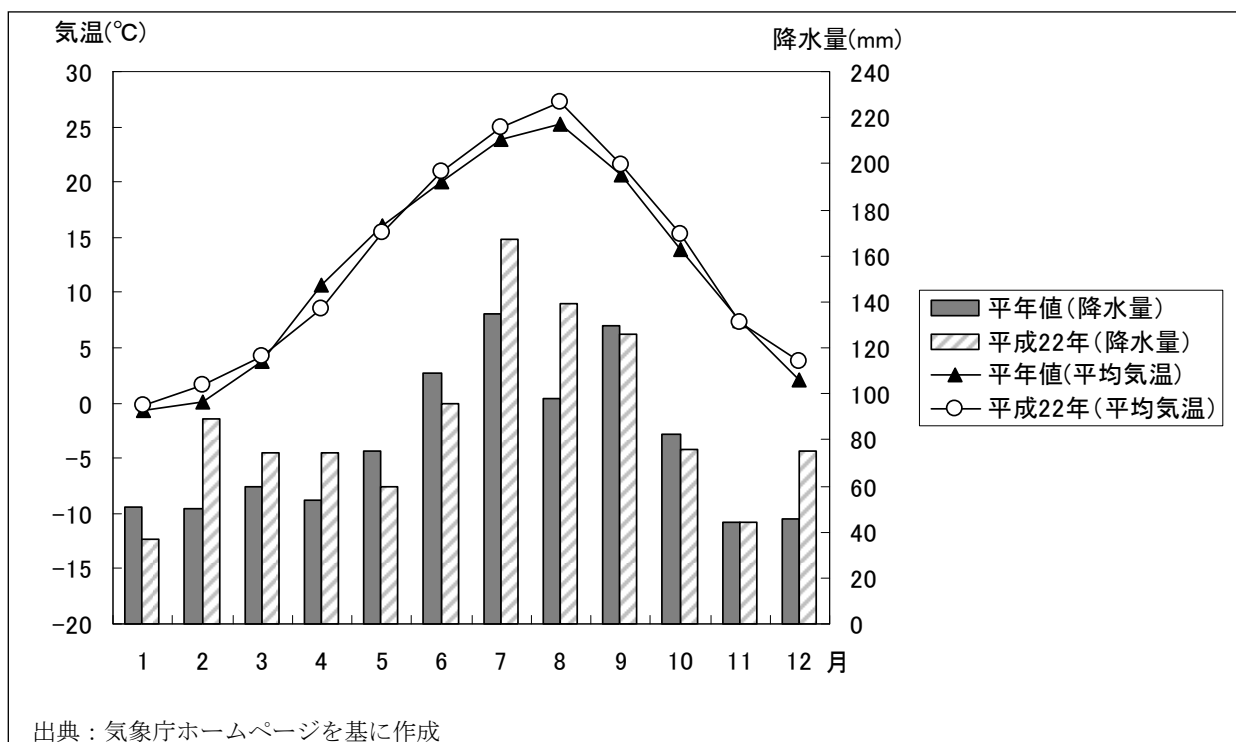
出典：気象庁ホームページ

表2-3-1(2) 月別気象概況（平成22年 長野地方気象台）

気象要素		月												全年
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
気温	平均 (°C)	-0.2	1.6	4.2	8.5	15.5	21.0	24.9	27.3	21.6	15.3	7.3	3.7	12.6
	最高 (°C)	4.0	6.2	9.7	14.7	22.0	27.4	30.7	33.1	26.9	19.8	13.4	8.5	18.0
	最低 (°C)	-3.8	-2.0	0.0	3.5	10.0	16.2	21.0	23.3	18.1	11.9	2.5	-0.5	8.4
降水量 (mm)		36.5	89.0	74.5	74.5	60.0	96.0	167.0	139.5	126.0	75.5	44.5	75.0	1058.0
最多風向		東	東	東	西南西	西	西	西	西	西*	西南西	西	西	西*
平均風速 (m/秒)		1.8	2.2	3.0	3.4	3.1	2.2	2.2	2.2	2.2*	2.6	1.9	2.4	2.4

注) ※：準正常値(品質に軽微な問題があるか、または統計値を求める対象となる資料の一部が許容する範囲内で欠けている場合)

出典：気象庁ホームページ



出典：気象庁ホームページを基に作成

図2-3-1 平年値及び平成22年の平均気温・降水量（長野地方気象台）

表2-3-2(1) 主要な気象要素の平年値（信州新町地域気象観測所）

気象要素		月												全年
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
気温	平均 (°C)	-1.4	-0.7	2.9	9.6	14.9	19.0	22.7	24.0	19.4	12.7	6.5	1.3	10.9
	最高 (°C)	3.7	4.7	9.5	17.3	22.6	25.6	28.9	30.7	25.3	19.0	13.1	7.0	17.3
	最低 (°C)	-5.5	-5.3	-2.2	2.9	8.4	14.0	18.4	19.4	15.5	8.5	1.9	-2.8	6.1
降水量 (mm)		53.7	58.2	77.3	73.2	99.0	131.3	161.9	102.4	156.6	101.5	57.0	47.6	1119.7
最多風向		北	北	北	北	北	北	北	北	北	北	南	南	北
平均風速 (m/秒)		0.7	0.8	0.9	1.1	1.0	0.8	0.7	0.7	0.6	0.6	0.7	0.7	0.8

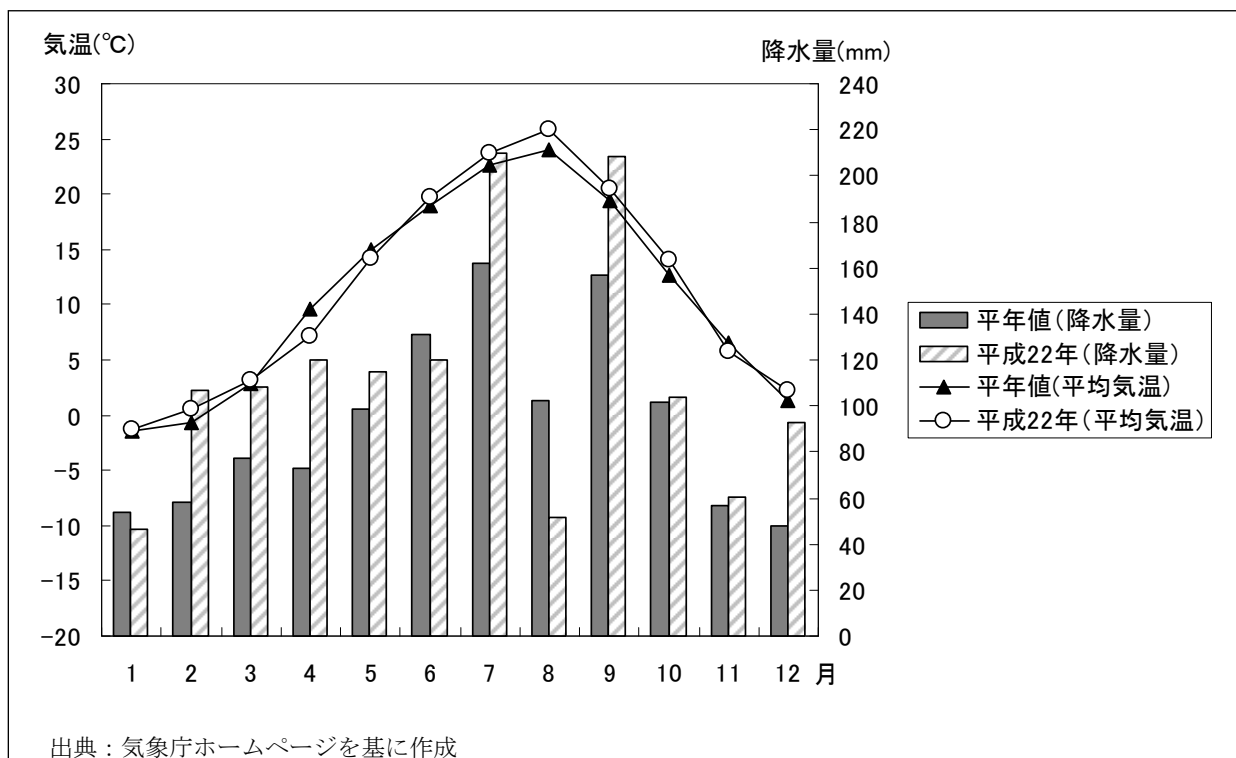
出典：気象庁ホームページ

表2-3-2(2) 月別気象概況（平成22年 信州新町地域気象観測所）

気象要素		月												全年
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
気温	平均 (°C)	-1.3	0.5	3.1	7.2	14.2	19.8	23.7	25.9	20.5	14.0	5.7	2.2	11.3
	最高 (°C)	3.8	5.5	9.2	14.3	21.8	27.0	29.9	32.8	26.5	19.0	13.3	8.0	17.6
	最低 (°C)	-5.0	-3.3	-1.1	1.6	8.0	15.4	19.5	21.4	16.9	10.7	0.9	-1.7	6.9
降水量 (mm)		46.5	106.5	108.0	120.0	114.5	120.0	209.5	51.5	208.0	104.0	60.5	92.5	1341.5
最多風向		南南東	北北東	北北東	北北東	北北東	南	北北東	北北東	北北東	北北東	南	南	北北東**
平均風速 (m/秒)		0.7**	0.8	1.1**	1.1**	1.1	0.8	0.7	0.8	0.7	0.6	0.8	0.9	0.8

注) \*\*: 準正常値(品質に軽微な問題があるか、または統計値を求める対象となる資料の一部が許容する範囲内で欠けている場合)

出典：気象庁ホームページ



出典：気象庁ホームページを基に作成

図2-3-2 平年値及び平成22年の平均気温・降水量（信州新町地域気象観測所）

表2-3-3(1) 主要な気象要素の平年値（聖高原地域雨量観測所）

気象要素 \ 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	全年
降水量 (mm)	59.5	60.5	78.7	74.9	107.7	144.5	152.2	108.4	166.4	115.1	58.4	49.9	1156.5

出典：気象庁ホームページ

表2-3-3(2) 月別気象概況（平成22年 聖高原地域雨量観測所）

気象要素 \ 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	全年
降水量 (mm)	37.0	95.5	113.5	89.5	120.5	150.0	161.5	79.0	181.5	111.0	49.5	76.5	1265.0

出典：気象庁ホームページ

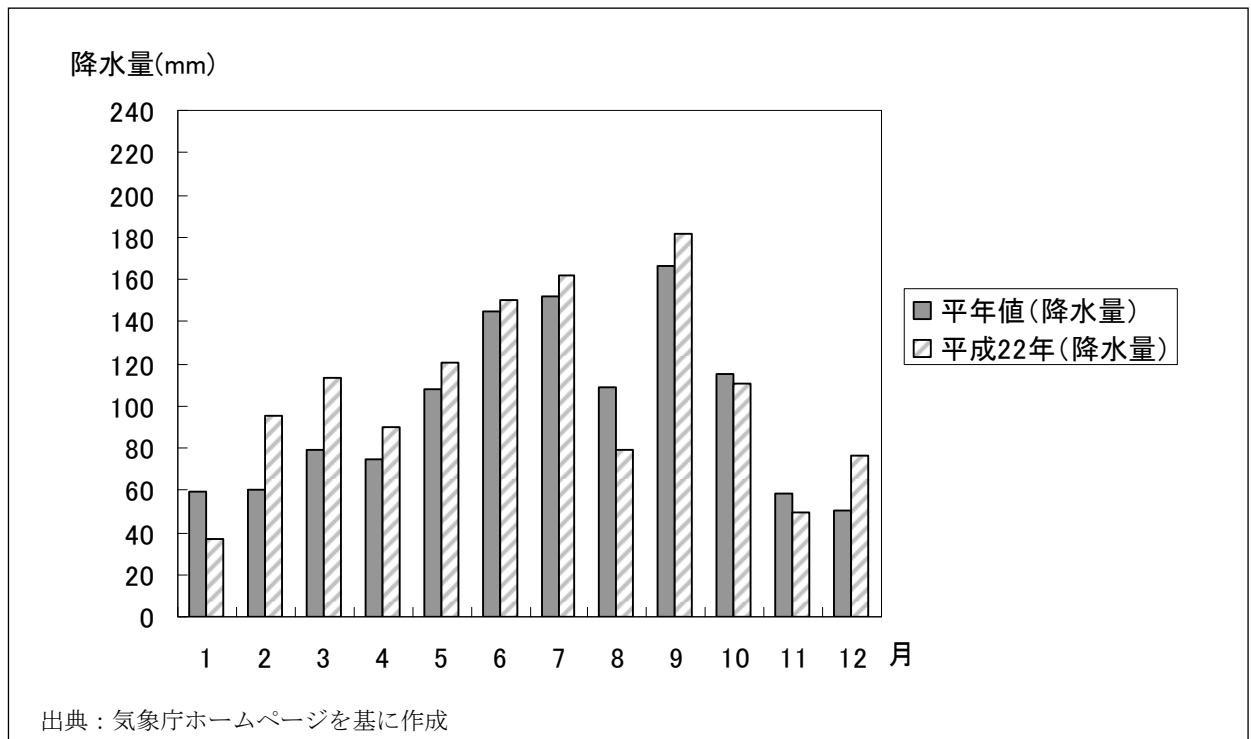
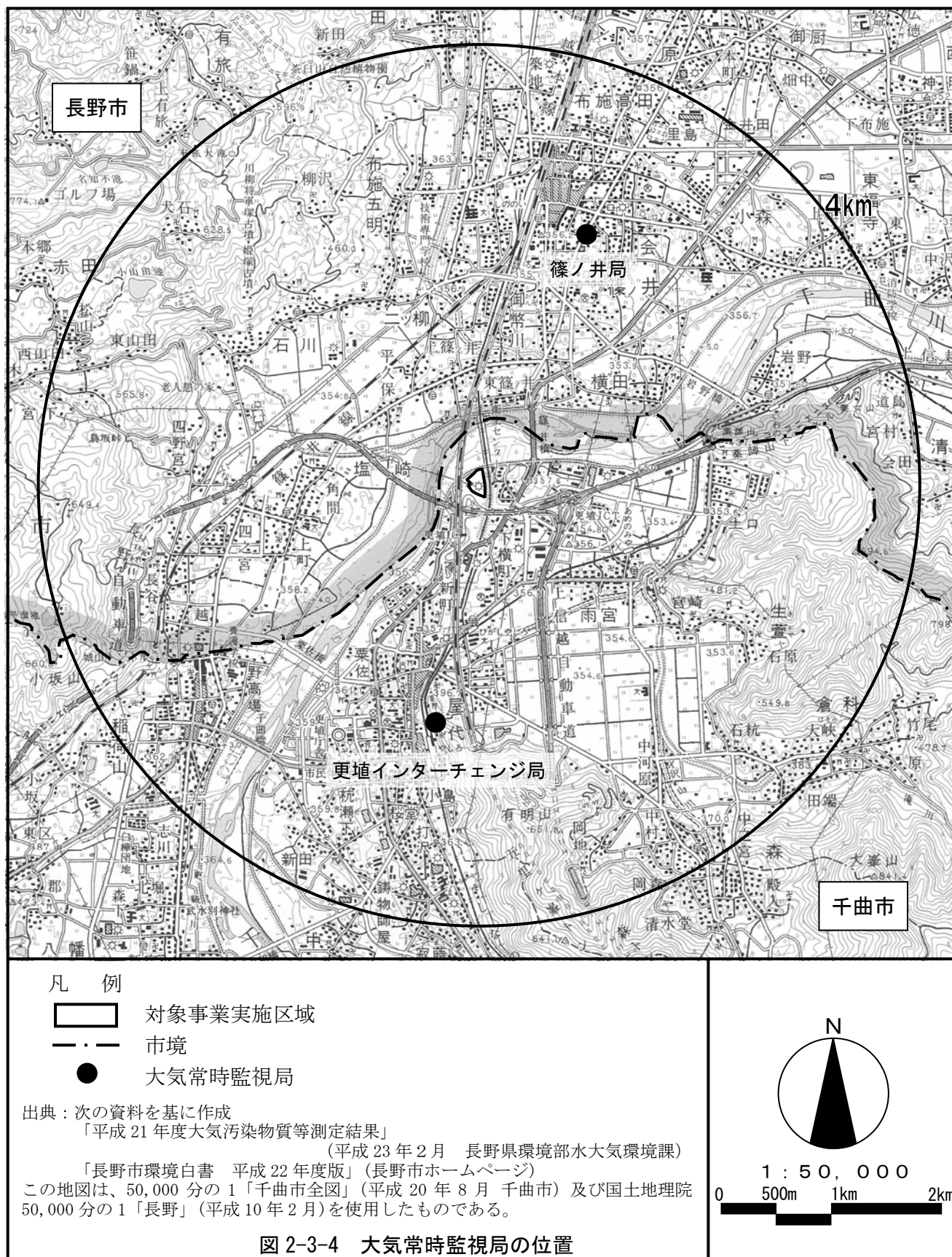


図2-3-3 平年値及び平成22年の降水量（聖高原地域雨量観測所）

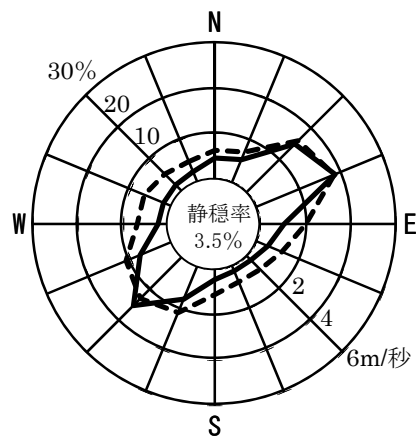


## 2 大気常時監視局における風向・風速

大気常時監視測定局において風向・風速の測定が行われており、対象事業実施区域及びその周囲における大気常時監視測定局の位置は図 2-3-4 に示すとおりである。また、平成 22 年度の測定局における年間の風配図は図 2-3-5 に示すとおりである。



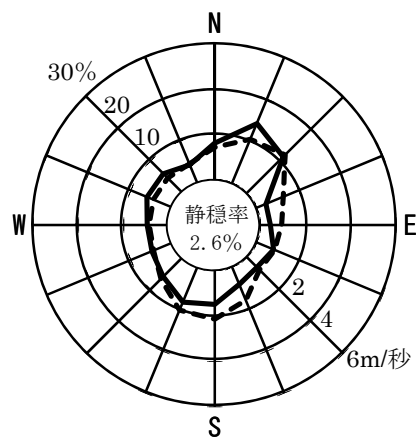
篠ノ井局



平均風速2.4m/秒

—— 風向出現頻度 (%)  
 - - - 平均風速 (m/秒)

更埴インターチェンジ局



平均風速1.5m/秒

—— 風向出現頻度 (%)  
 - - - 平均風速 (m/秒)

出典：次の資料を基に作成。  
 長野県提供資料  
 長野市提供資料

図2-3-5 大気常時監視局における風配図（平成22年度）

## 2.3.2 水象の状況

### 1 河川

千曲市内及び長野市内の1級河川及び準用河川は表2-3-4に示すとおりである。長野県には1級河川及び準用河川が流れており、2級河川はない。

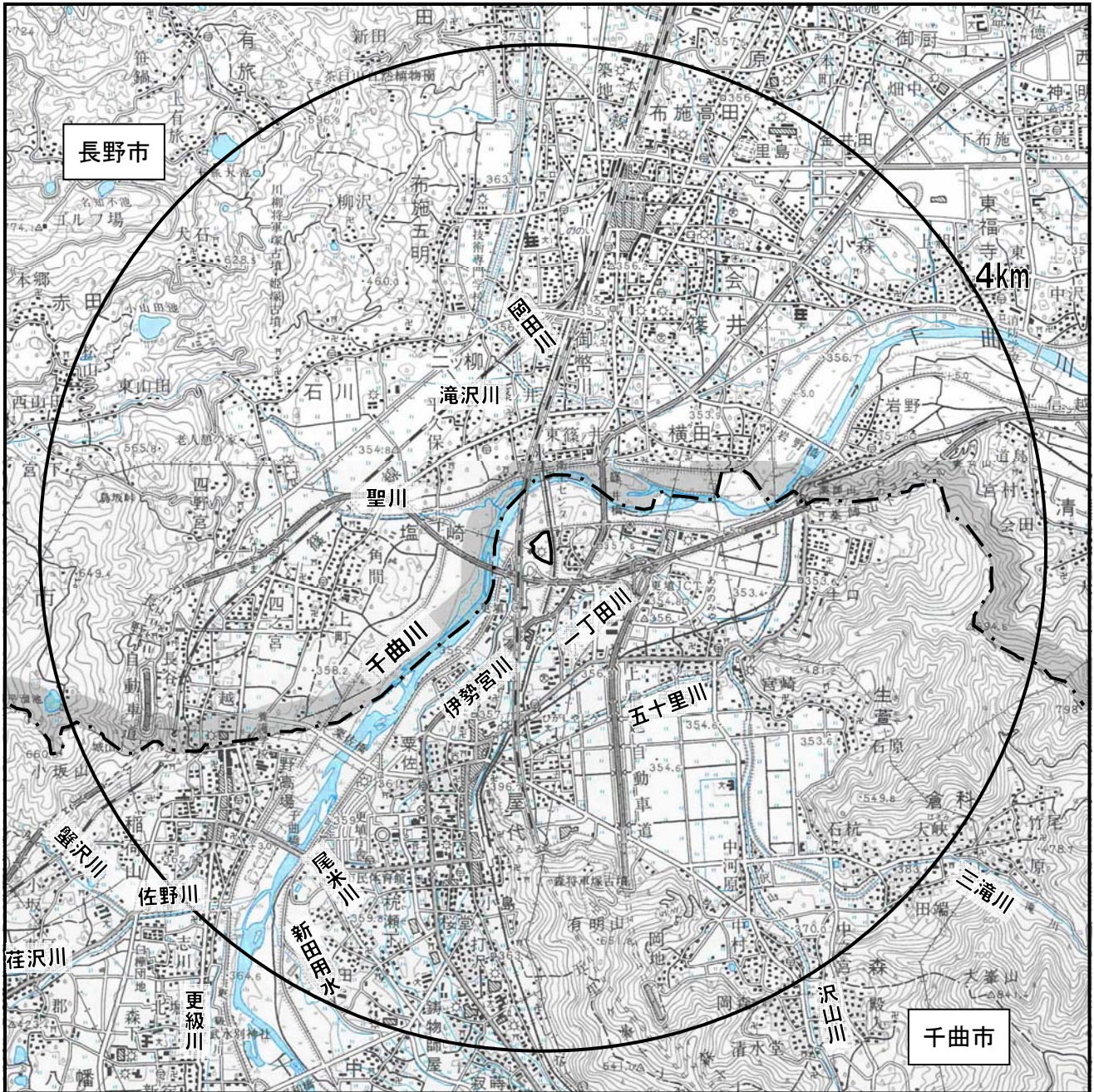
対象事業実施区域及びその周囲の河川は、図2-3-6に示すとおりである。主な河川としては、千曲川が挙げられる。千曲川は、河床勾配が比較的緩やかで、流程には河原や中州が多く、流れが蛇行している。このため、瀬と平瀬が交互に存在し、河川敷内には“ワンド”や“たまり”も見られる。

表2-3-4 千曲市・長野市の主な河川

	一級河川		準用河川	
千曲市	千曲川	沢山川	草山川	蟹沢川
	三滝川	佐野川	柄木沢川	中沢川
	荅沢川	更級川	鳴海川	戸屋沢
	宮川	雄沢川	荒砥沢川	北大沢
	湯沢川	荒砥沢川	南大沢	東林坊川
	女沢川	-	-	-
長野市	千曲川	犀川	勝手沢	犀沢
	裾花川	浅川	新田川	北八幡川
	田子川	駒沢川	浄信寺川	権現沢
	土京川	シシ沢川	濁川	嘉児加川
	濁沢川	岡田川	油沢川	渦隈川
	聖川	神田川	小楠川	滝沢川
	蛭川	藤沢川	蔵ヶ川	諸沢川
	赤野田川	保科川	冷沢	親沢
	前沢川	滝沢川	加茂川沢	小佐出沢
	隈取川	新田川	大佐出沢	神池沢
	堂万川	徳間川	八方沢	柳沢
	土尻川	鳥居川	桧木沢	清水沢
	三念沢	楠川	濁沢	佃見沢
	瑠璃沢川	小川	鷺子沢	彼岸沢
天神川	-	-	-	

出典：「2010年 千曲市統計書」（千曲市ホームページ）  
「長野市統計書 平成21年度版」（長野市ホームページ）  
「長野市の準用河川」（長野市ホームページ）





凡 例

- 対象事業実施区域
- 市境
- 河川

出典：次の出典を基に作成。

- 「2010年 千曲市統計書」(千曲市ホームページ)
- 「長野市統計書 平成21年度版」(長野市ホームページ)
- 「長野市の準用河川」(長野市ホームページ)

この地図は、50,000分の1「千曲市全図」(平成20年8月 千曲市)及び国土地理院50,000分の1「長野」(平成10年2月)を使用したものである。

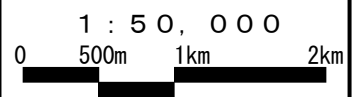
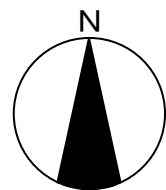


図 2-3-6 対象事業実施区域周辺の河川図

## 2 湖沼

千曲市内及び長野市内の主な湖沼・農地用池は表 2-3-5 に示すとおりである。

対象事業実施区域及びその周囲の湖沼は、図 2-3-7 に示すとおりである。

表2-3-5 千曲市・長野市の主な湖沼

	湖沼			
千曲市	石杭池	中村池	岡森池	治田池
	遠見塚池	矢口池	荇沢池	熊久保池
	なめ沢池	薬師池	大雲寺池	外池
	梨窪池	平沢池	頭無池	山の神池
	猿飛池	八幡林池	栢窪池	芝平池
	大池（上池）	大池（中池）	大池（下池）	新池
	花柄池	前山池	山の神池（雄沢川）	仙ヶ原池
	弁天池	大鹿池	向堤池	新堤池
	樺池	-	-	-
長野市	大座法師池	浅川大池	田子池	猫又池
	上一ノ倉池	小山田池	鹿ノ入の池	下藁ヶ谷池
	名知不池	嫁殺池	馬頭池	芝池
	下平大池	弁天池	有旅大池	涌池
	宮浦の池	堤池[若穂]	太郎池	小瀬原の池
	古池	新池	瀬原大池	駒沢池（藁ヶ谷池）
	丸池	五味池	軍足池	大日池
	堤池[豊野町]	大久保池	鏡池	小鳥池
	美笠池	上藁ヶ谷池	猪平溜池	原の池
	上池（柳沢池）	若槻大池	三才池	国見の池
	辰巳池	金井池	つばめ池	-

出典：「千曲市の残したい自然」（千曲市ホームページ）

「平成 21 年度 環境衛生試験所年報」（平成 22 年 9 月 長野市環境衛生試験所）





- 凡 例
- 対象事業実施区域
  - 市境
  - 湖沼

出典：「千曲市の残したい自然」（千曲市ホームページ）  
「平成 21 年度 環境衛生試験所年報」  
（平成 22 年 9 月 長野市環境衛生試験所）

この地図は、50,000 分の 1「千曲市全図」（平成 20 年 8 月 千曲市）及び国土地理院  
50,000 分の 1「長野」（平成 10 年 2 月）を使用したものである。

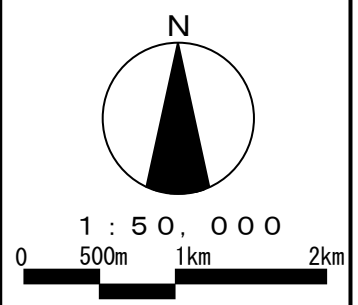


図 2-3-7 対象事業実施区域周辺の湖沼図

### 2.3.3 地象の状況

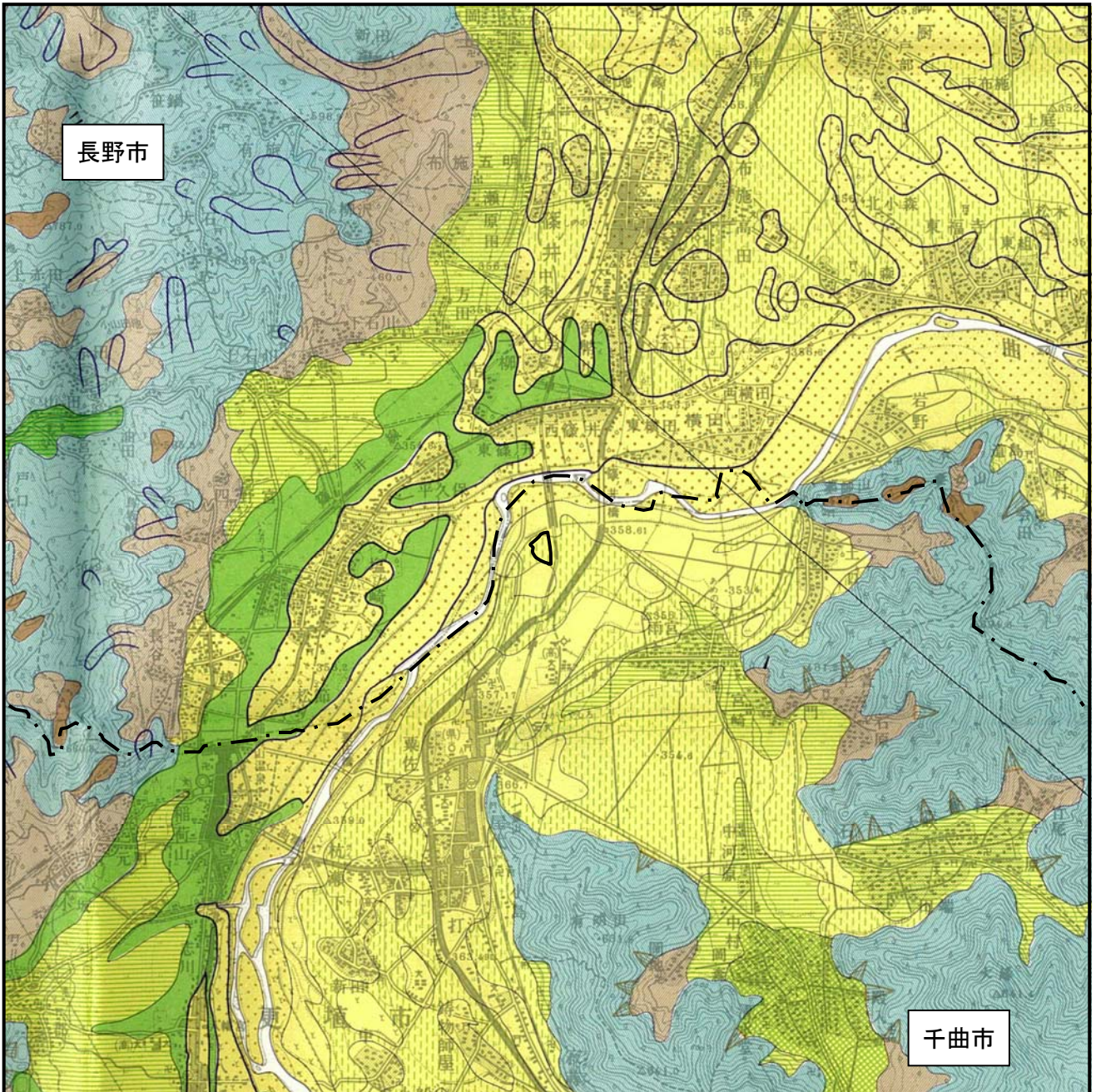
#### 1 地形

対象事業実施区域及びその周囲の地形は、図 2-3-8 に示すとおりである。


















千曲川沿いに「低地」が広がっており、主に左岸側には“河原”、“砂礫堆”、“谷底平野”及び“扇状地”が、右岸側には“扇状地”や“自然堤防”が見られる。低地を越えたところは両岸とも「山地・丘陵地」となっており、“急斜面”が多くみられる。

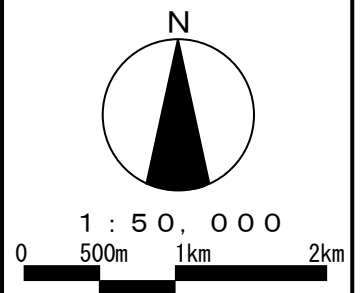
なお、対象事業実施区域は「低地」の“扇状地 FIV”の範囲に含まれる。





凡 例

- |   |                  |   |        |
|---|------------------|---|--------|
|  | 対象事業実施区域         |  | 市境     |
| <b>山地・丘陵地</b>   |                  |   |        |
|  | 山頂緩斜面            |  | 扇状地 FⅢ |
|  | 山腹・山麓緩斜面         |  | 扇状地 FⅣ |
|  | 急斜面              |  | 砂礫堆    |
| <b>台地</b>   |                  |   |        |
|  | 扇状地 FⅠ (旧扇状地上位面) |  | 谷底平野Ⅰ  |
|  | 扇状地 FⅡ (旧扇状地下位面) |  | 谷底平野Ⅱ  |
|   |                  |  | 自然堤防   |
|   |                  |  | 河原     |
| <b>その他</b>  |                  |   |        |
|  | 崖錐               |  | 地すべり地  |
|  | 地形界              |   |        |



出典：「土地分類基本調査 地形分類図 長野 5万分の1」（昭和49年3月 経済企画庁）

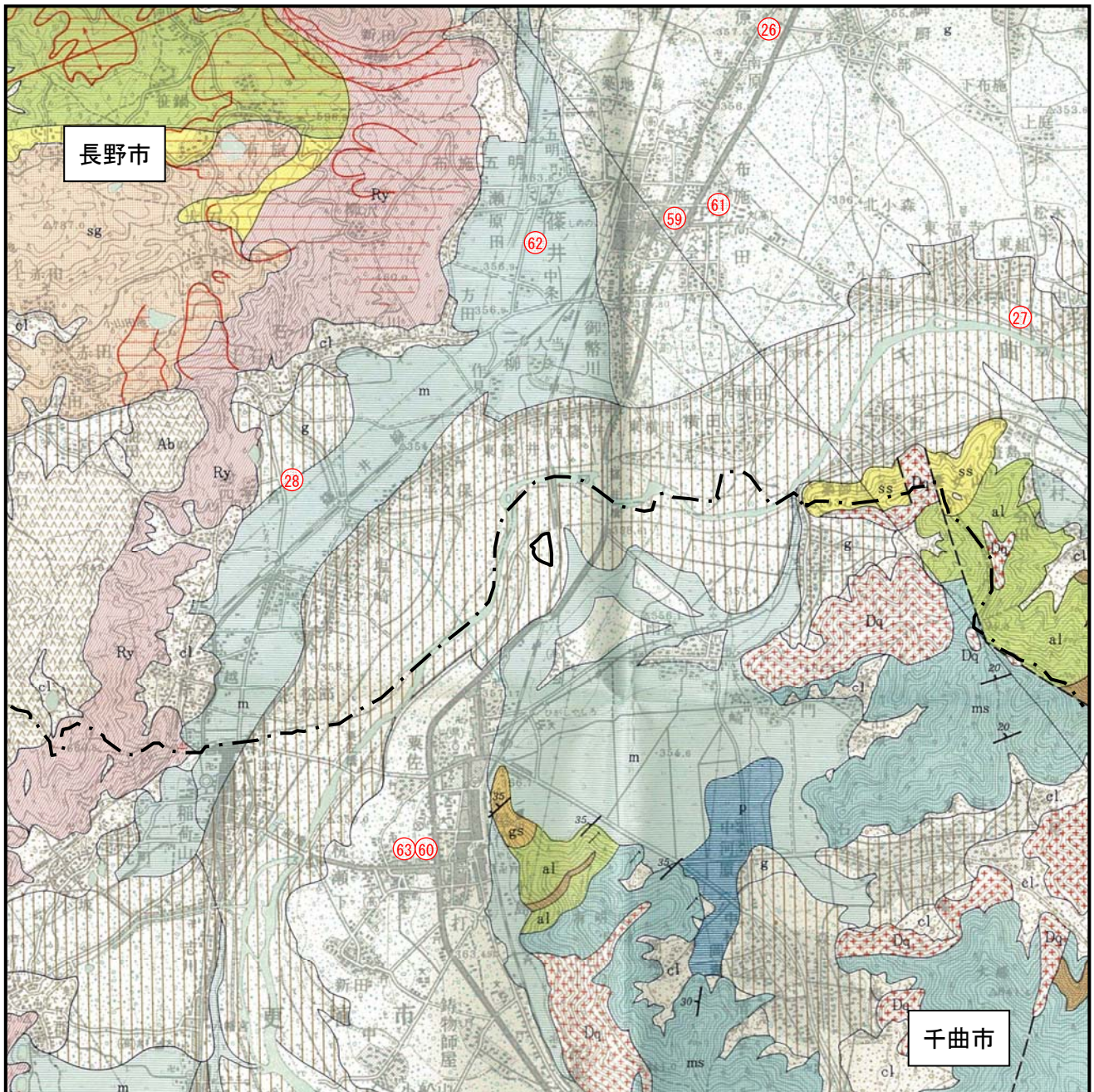
図 2-3-8 対象事業実施区域及びその周囲の地形



## 2 地質

### 1) 土地分類基本調査結果

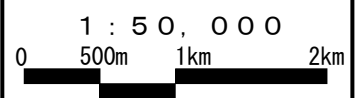
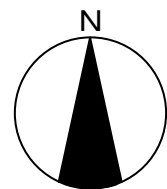
対象事業実施区域及びその周囲における表層地質は図 2-3-9 に、柱状図は図 2-3-10 に示すとおりである。対象事業実施区域を含む千曲川沿いには“礫がち表土”が見られる。その他、平地では主に「未固結堆積物」の“礫がち堆積物”や“泥がち堆積物”となっている。



凡 例

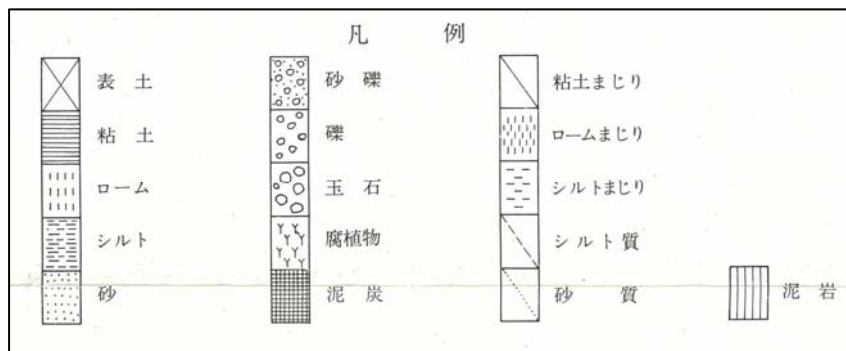
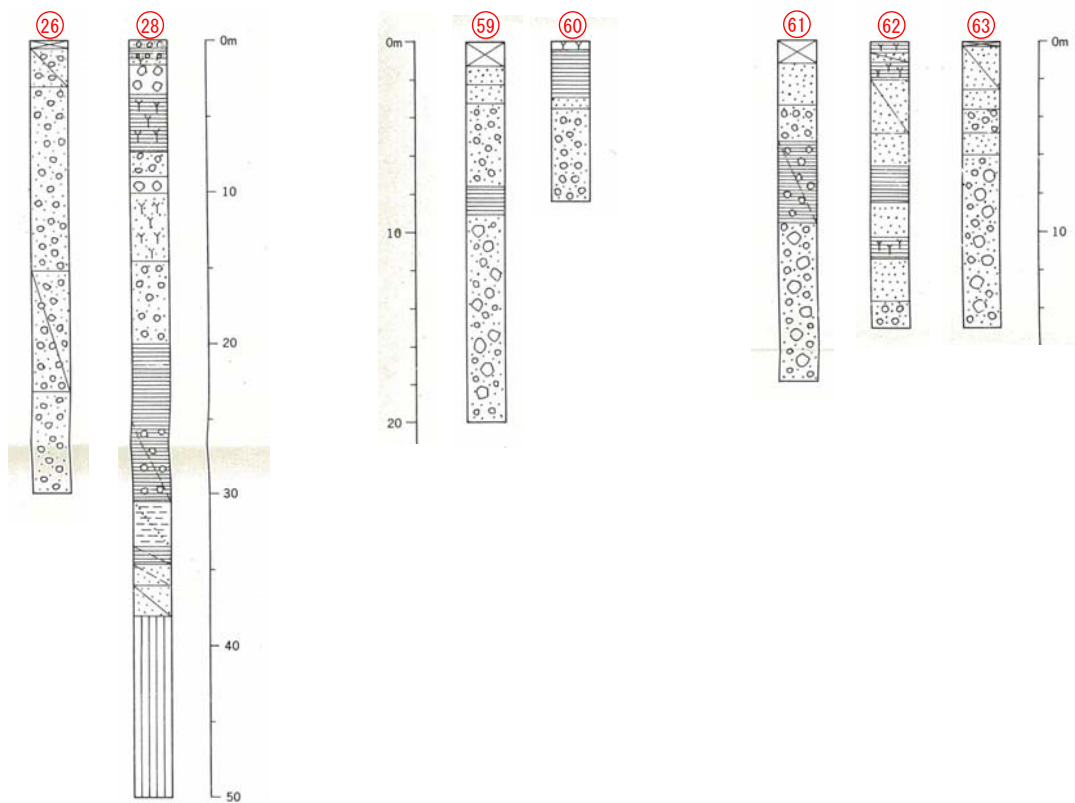
対象事業実施区域
 - - - 市境

未固結堆積物	g	礫がち堆積物	火山性岩石	An	安山岩質岩石
	m	泥がち堆積物	Ry	流紋岩質岩石	
	p	泥炭	Ab	安山岩質岩石ないし集塊岩質岩石	
	cl	砕屑物	Dq	石英閃緑岩	
	sg	砂礫層			
固結堆積物	gs	礫岩・砂岩互層			礫がち表土
	ss	砂岩がち地層			岩石の種類境界
	al	砂岩・泥岩互層			走向および傾斜
	ms	泥岩がち地層			背斜軸
					地すべり
					採石場
					攪乱を受けた部分
					① 柱状図断面の位置



出典：「土地分類基本調査 表層地質図 長野 5万分の1」（昭和49年3月 経済企画庁）

図 2-3-9 対象事業実施区域及びその周囲の地質図



出典：「土地分類基本調査 表層地質図 長野 5万分の1」（昭和49年3月 経済企画庁）

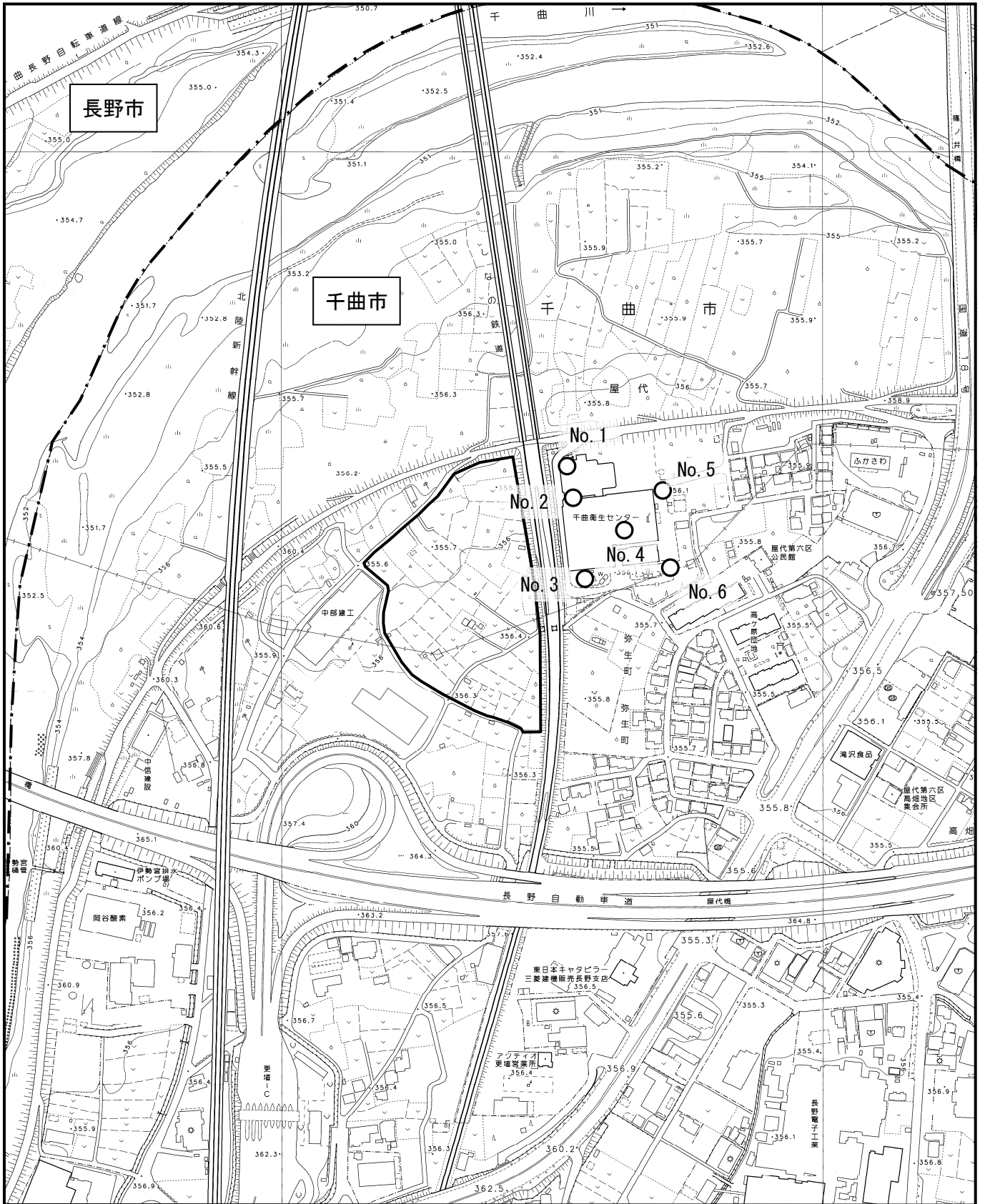
図 2-3-10 対象事業実施区域の周囲の柱状図



## 2) 対象事業実施区域近傍の地質調査結果

対象事業実施区域の近傍で行われた地質調査としては、隣接する千曲衛生センターにおいて建替え時（平成2年）に実施されたボーリング調査がある。調査地点の位置は図 2-3-11 に示すとおりである。

調査結果報告書によると、調査深度内の土質は7～9層程度に分けられるが、地耐力的には上部の弛い砂質土主体の地盤と、深度約4～5 m以下の密実な砂礫地盤の2層に大別される。各調査地点の地質柱状図は、図 2-3-12(1)～(6)に示すとおりである。



凡 例

- 対象事業実施区域
- 市境
- ボーリング調査地点

出典：「千曲市衛生センターボーリング調査結果報告書」（平成2年9月）を基に作成。

この地図は、2,500分の1「千曲市都市計画基本図No.1、No.8」（平成18年千曲市）に加筆したものである。

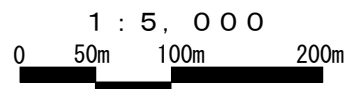
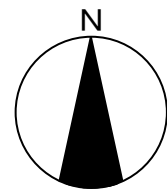


図 2-3-11 地質調査地点位置図

土質柱状図 (No.1)

調査名 千曲衛生施設組合し尿処理施設建設工事地質調査

調査地 更埴市大字屋代字中島3119

調査年月日平成2年9月 日～2年9月 日

標高 355.73 m

孔内水位 GL -4.0 m

技術者 [Redacted]

標尺 m	標高 m	深 度 m	層厚 m	柱状 図	色調	土質 名	観 察	原位置 試験 深度 m	標準貫入試験						試料		標尺 m				
									深 度 m	N 値 回/cm	10cm 毎 の 打撃 回数			N 値					採取 方法 乱さ ない 試料	採取 深度 m	
											10 cm	20 cm	30 cm	0	10	20		30			40
1							含水小、粘性小。 所々に小礫を点在する。 部分的にシルトを挟む。 砂分は細砂、微細砂分を主 体として若干の細粒分を混 入する。		1.15	7 30	2	2	3						1		
2							概ね層相は均質である。		1.45	4 33	2	1	1						2		
3	352.23	3.50	3.50		暗褐色	シルト質砂		2.48	6 30	2	2	2							3		
4	351.23	4.50	1.00		暗茶	礫混り砂	含水小、粘性小。所々に小 礫を点在する。 繊維状の腐植物を含む。		3.45	11 30	4	3	4						4		
5							含水小、粘性小。 中粗砂分を主体としてφ2 ～50mmの礫を40～50 %位含む。		4.45	33 30	10	11	12						5		
6							粒度分布概ね良好。		5.45	45 30	14	14	17						6		
7	348.63	7.10	2.60		暗灰	砂 礫		6.45	25 30	7	8	10							7		
8							含水小、粘性小。 細中砂主体として礫分はφ 2～50mmの礫が主体。 細粒分は30%以下である		7.45	17 30	5	5	7						8		
9	348.33	9.40	2.30		暗灰	礫混り砂		8.45	21 30	7	7	7							9		
10	345.28	10.45	1.05		暗灰	砂 礫	含水小、粘性小。 砂礫分が50%以上を占め る。		9.45	28 30	7	11	10						10		
									10.45										11		

出典：「千曲衛生センターボーリング調査結果報告書」（平成2年9月）

図 2-3-12(1) 千曲衛生センターにおける地質調査結果 (No. 1)

土質柱状図 (No.2)

調査名 千曲衛生施設組合し尿処理施設建設工事地質調査

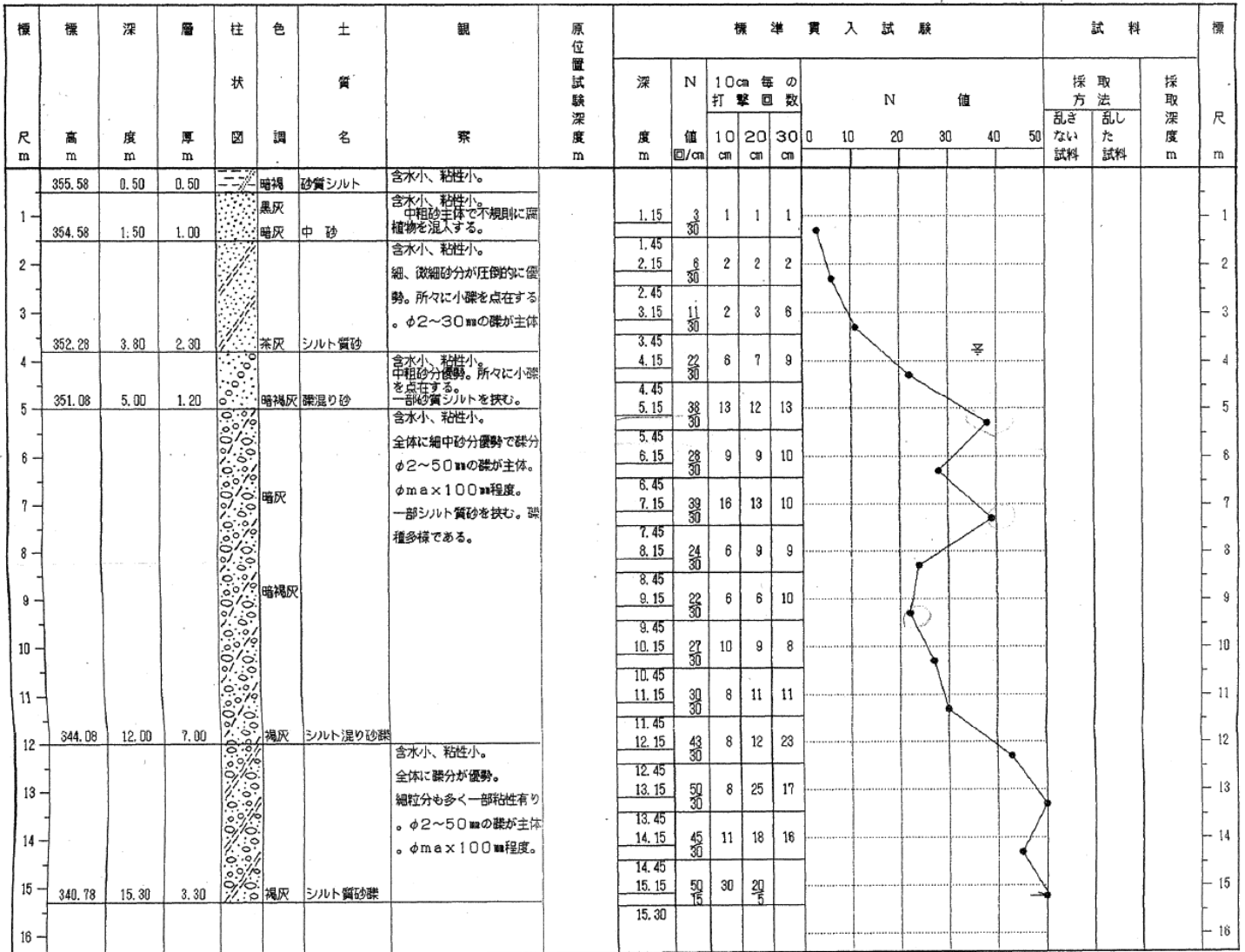
調査地 更埴市大字屋代字中島3119

調査年月日平成2年9月 日～2年9月 日

標高 356.08 m

孔内水位 GL -3.80 m

技術者 [Redacted]



出典：「千曲衛生センターボーリング調査結果報告書」（平成2年9月）

図2-3-12(2) 千曲衛生センターにおける地質調査結果 (No. 2)

土質柱状図 (No.3)

調査名 千曲衛生施設組合し尿処理施設建設工事地質調査

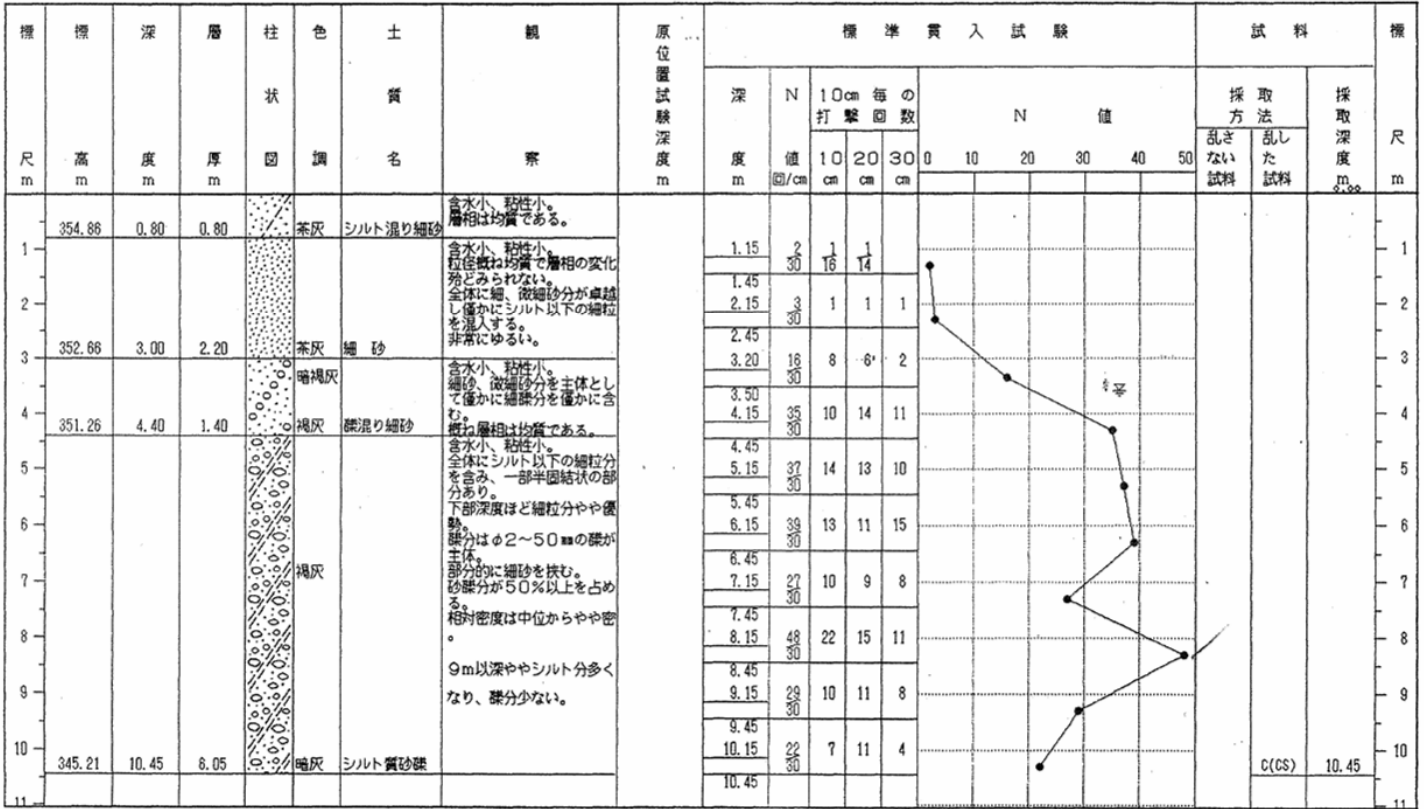
調査地 更埴市大字屋代字中島3119

調査年月日平成2年9月 日~2年9月 日

標高 355.66 m

孔内水位 GL -3.6 m

技術者 [Redacted]



出典：「千曲衛生センターボーリング調査結果報告書」（平成2年9月）

図 2-3-12(3) 千曲衛生センターにおける地質調査結果 (No. 3)





**土質柱状図 (No.5)**

調査名 千曲衛生施設組合し尿処理施設建設工事地質調査

調査地 更埴市大字屋代字中島3119

調査年月日平成2年9月 日～2年9月 日

標高 355.66 m

孔内水位 GL -3.90 m

技術者 XXXXXXXXXX

標尺 m	標高 m	深 度 m	層 厚 m	柱 状 図	色 調	土 質 名	観 察	原 位 置 試 験 深 度 m	標準貫入試験										試料		標尺 m	
									深 度 m	N 値 回/cm	10cm 毎の 打撃回数			N 値					採 取 方 法 乱 さ な い 試 料	採 取 深 度 m		
											10 cm	20 cm	30 cm	0	10	20	30	40				50
1	354.76	0.90	0.90		暗褐色	群泥り砂	含水小、粘性小。 一部砂質シルトを挟む。 シルト質砂礫状を呈する。		1.15	30	1	1	1									1
2					暗褐色	砂	含水小、粘性小。 細、微細砂分を主体として 若干の細粒分を含み粘性あ る。		1.45	30	1	1	1									2
3					茶褐色	シルト質砂	所々に小礫を点状する。		2.45	30	1	2	4									3
4	351.96	3.70	2.80				含水小、粘性小。 上部細、微細砂分が優勢。 下部深度中砂分多くなる。 所々に小礫を点状する。		3.45	30												4
5									4.15	50	19	31										5
6	349.56	6.10	2.40		暗褐色	砂礫			4.35	50	19	16	15									6
7							含水小、粘性中。 全体に礫分優勢で不規則に 粘性あるシルトを挟む。 礫分はφ2~50mmの礫が 主体。φmax×100mm程 度。 砂礫分が50%以上を占め る。		5.15	50	21	19	16	15								7
8					暗褐色				5.42	48	15	16	17									8
9									6.15	30	17	17	16									9
10	345.25	10.41	4.31		暗褐色	シルト質砂礫			7.15	50	13	19	18									10
11									7.45	50	21	13	19	18								11
									8.15	50	12	18	20									
									8.42	50	14	22	14									
									9.15	30												
									9.45	50												
									10.15	50												
									10.41	26												

出典：「千曲衛生センターボーリング調査結果報告書」（平成2年9月）

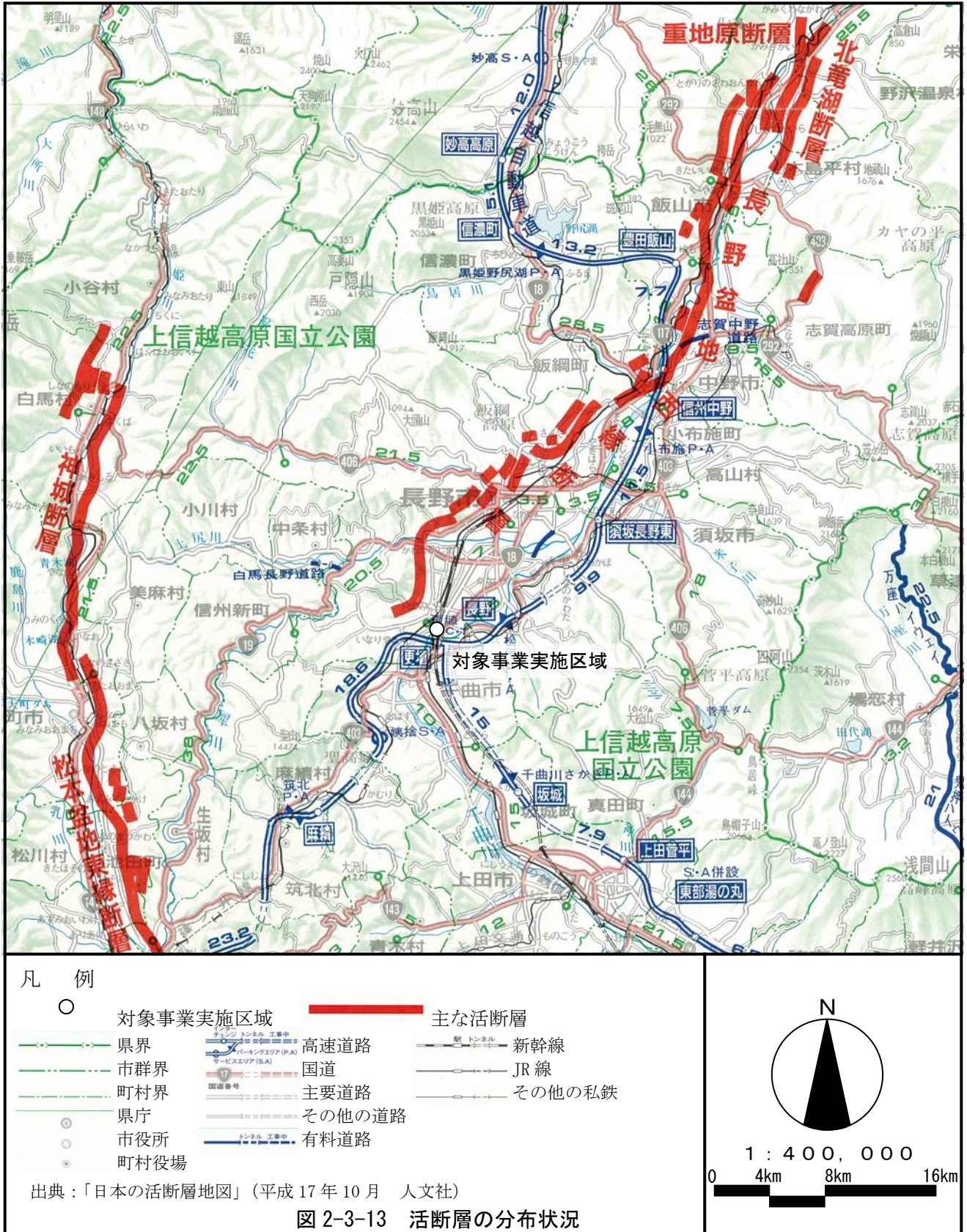
図 2-3-12(5) 千曲衛生センターにおける地質調査結果 (No. 5)





### 3 活断層

対象事業実施区域及びその周囲の活断層は、図 2-3-13 に示すとおりである。長野盆地西縁断層が北東から南西方向に走っており、対象事業実施区域はその南端から約 4 km に位置している。



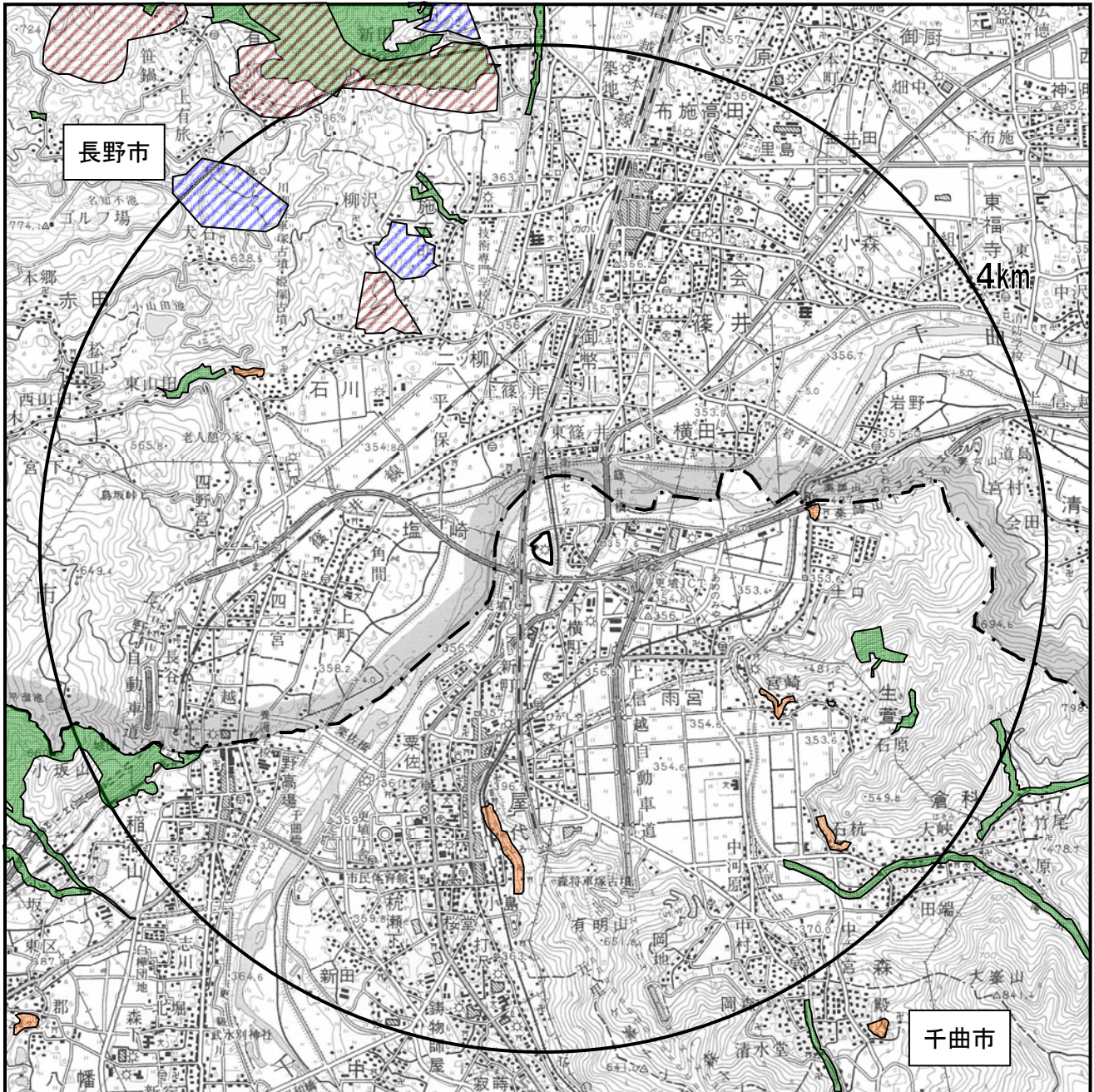
#### 4 地すべりおよび崩壊の発生状況

対象事業実施区域及びその周囲における、砂防指定地、地すべり防止区域及び急傾斜崩壊危険区域の指定状況は、図 2-3-14 に示すとおりである。







対象事業実施区域から北西方向の長野市内の地域には、主に砂防指定地及び地すべり防止区域が、南東方向及び南西方向の千曲市内の地域には主に砂防指定地及び急傾斜崩壊危険区域が見られる。

なお、対象事業実施区域及びその近傍には、指定を受けている地域はなく、地すべり及び崩壊のあったと思われる場所は存在しない。





凡 例

-  対象事業実施区域
-  市境
-  砂防指定地
-  地すべり防止区域（土木）
-  地すべり防止区域（農政）
-  急傾斜地崩壊危険区域

出典：「長野県統合型地理情報システム」を基に作成

この地図は、50,000分の1「千曲市全図」（平成20年8月 千曲市）及び国土地理院50,000分の1「長野」（平成10年2月）を使用したものである。

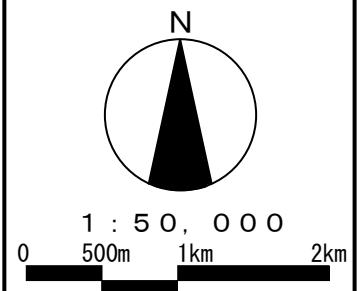


図 2-3-14 対象事業実施区域及びその周囲における砂防指定地、地すべり防止区域、急傾斜崩壊危険区域の指定状況

## 2.3.4 動植物の状況

動植物の生息状況及び注目すべき種の選定をするにあたり、表 2-3-6 に示す選定基準を設定した。

表 2-3-6 注目すべき動植物種の選定基準

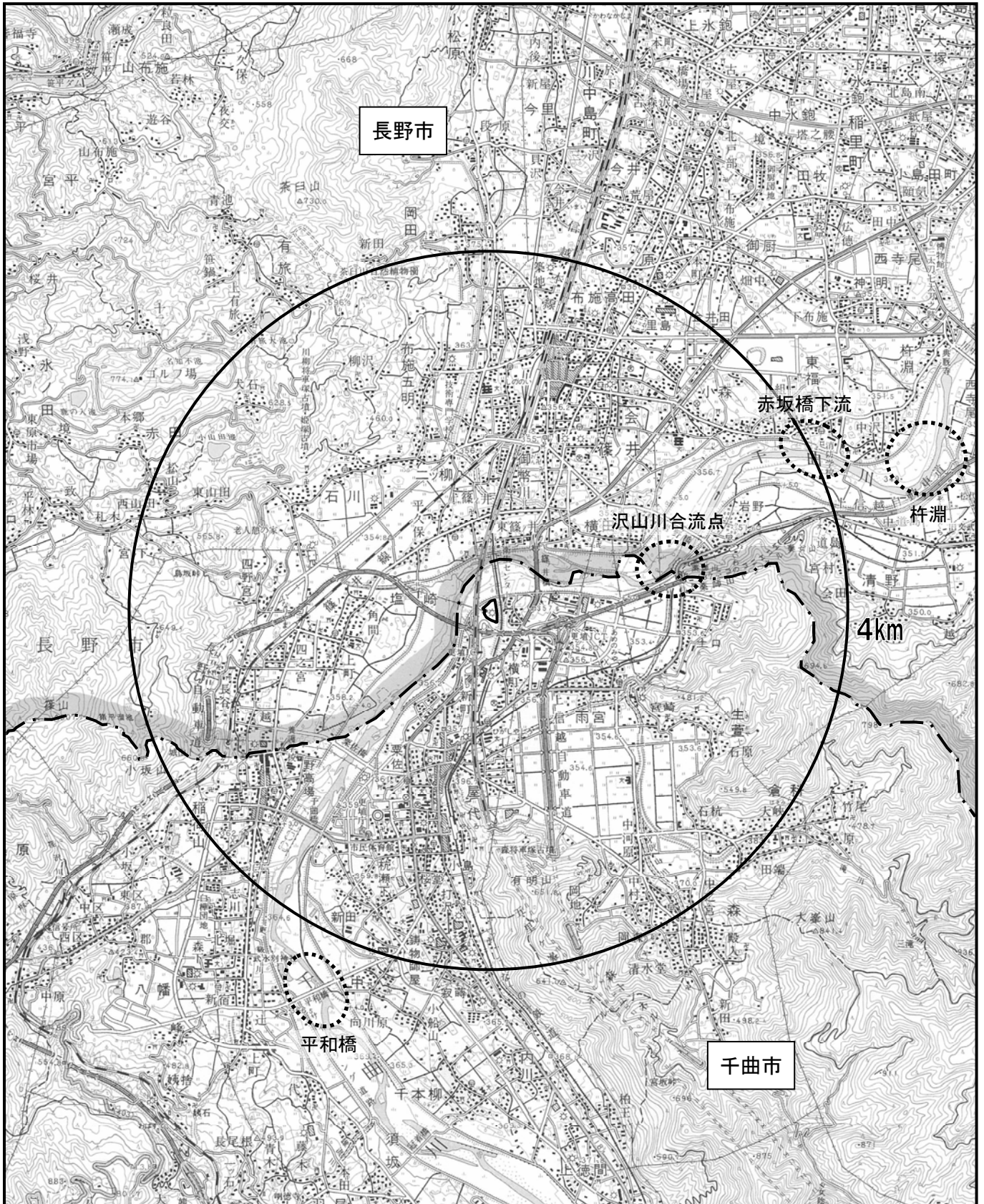
区分	番号	法令、文献等	選定基準
法令による指定	①	「文化財保護法」(昭和 25 年 5 月 30 日 法律第 214 号)	・特別天然記念物 ・国指定天然記念物 特天 国天
	②	「長野県文化財保護条例」 (昭和 50 年 12 月 25 日長野県条例第 44 号)	・県指定天然記念物 県天
	③	「千曲市文化財保護条例」(平成 15 年 9 月 1 日千曲市条例 124 条) 「長野市文化財保護条例」(昭和 51 年 12 月 27 日長野市条例 74 条)	・千曲市指定天然記念物 ・長野市指定天然記念物 千天 長天
	④	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(種の保存法)」(平成 4 年 6 月 5 日 法律第 75 号)	・国際希少野生動植物種 ・国内希少野生動植物種 ・特定国内希少野生動植物種 ・緊急指定種 国際 国内 特定 緊急
	⑤	「長野県希少野生動植物保護条例」 (平成 15 年 3 月 24 日長野県条例第 32 号)	・特別希少野生動植物 ・指定希少野生動植物 県特 県指
レッドデータブック関係	⑥	「鳥類、爬虫類、両生類及びその他無脊椎動物のレッドリストの見直しについて」(平成 18 年 12 月 22 日 環境省) 「哺乳類、汽水・淡水魚類、昆虫類、貝類、植物 I 及び植物 II のレッドリストの見直しについて」(平成 19 年 8 月 3 日 環境省) 「レッドリストの修正について」(平成 19 年 10 月 5 日 環境省)	・絶滅 ・野生絶滅 ・絶滅危惧 I 類 ・絶滅危惧 I A 類 ・絶滅危惧 I B 類 ・絶滅危惧 II 類 ・準絶滅危惧 ・情報不足 ・地域個体群 EX EW CR+EN CR EN VU NT DD LP
	⑦	「長野県版レッドデータブック 維管束植物編 2002」 (平成 14 年 3 月 長野県) 「長野県版レッドデータブック 動物編 2004」 (平成 16 年 3 月 長野県) 「長野県版レッドデータブック 非維管束植物編・植物群落編 2005」 (平成 17 年 3 月 長野県)	・絶滅 ・野生絶滅 ・絶滅危惧 I A 類 ・絶滅危惧 I B 類 ・絶滅危惧 II 類 ・準絶滅危惧 ・情報不足 ・地域個体群 ・留意種 EX EW CR EN VU NT DD LP N
	⑧	「千曲市レッドデータブック」(平成 23 年 2 月 千曲市)	・市内絶滅 ・野生絶滅 ・絶滅危惧 I A 類 ・絶滅危惧 I B 類 ・絶滅危惧 II 類 ・準絶滅危惧 ・情報不足 ・地域個体群 ・留意種 EX EW CR EN VU NT DD LP N
	⑨	「大切にしたい長野市の自然(長野市版レッドデータブック)」 (平成 15 年 3 月 長野市)	身近な減少種 ・減少極めて著しい ・減少著しい ・減少 注目種 ・近年生息を確認できない種 ・今後の減少が予測される種 ● ◎ ○ ■ □

また、対象事業実施区域及びその周囲における動植物の生息状況を確認するために用いた資料は、表 2-3-7 に示すとおりである。対象となる種を選定するにあたり対象とした調査地点及び地域は、「河川環境データベース（河川水辺の国勢調査）」については図 2-3-15(1)に、「大切にしたい長野市の自然（長野市版レッドデータブック）」については図 2-3-15(2)に示すとおりである。また、「千曲市レッドデータブック」については、“市内の状況”の中で対象事業実施区域及びその周辺の含まれる地域で確認された記述のある種を選定した。

表 2-3-7 動植物の生息状況確認資料

記号	資料名	対象となる種
A	「河川環境データベース（河川水辺の国勢調査）」 （国土交通省ホームページ）	次の調査で確認された種（調査地点 （図 2-3-15(1)参照）・調査年）。 両生類・爬虫類・哺乳類 （沢山川合流点、平和橋・H13） 魚類（赤坂橋下流・H14） 底生動物（赤坂橋下流・H14） 鳥類（杵淵・H15） 陸生虫類（杵淵・H17） 植物（赤坂橋下流・H16）
B	「千曲市レッドデータブック」（平成 23 年 2 月 千曲市）	哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、魚類、昆虫類、クモ類、貝類のうち、対象事業実施区域及びその周囲の含まれる地域で確認された種
C	「大切にしたい長野市の自然（長野市版レッドデータブック）」 （平成 15 年 3 月 長野市）	哺乳類、鳥類、爬虫類・両生類、魚類、昆虫類、クモ類・甲殻類・貝類・プランクトン類のうち、対象事業実施区域及びその周囲の含まれる地域（信更、篠ノ井、川中島、松代（図 2-3-15(2)参照））で確認された種



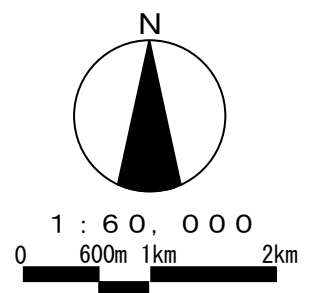


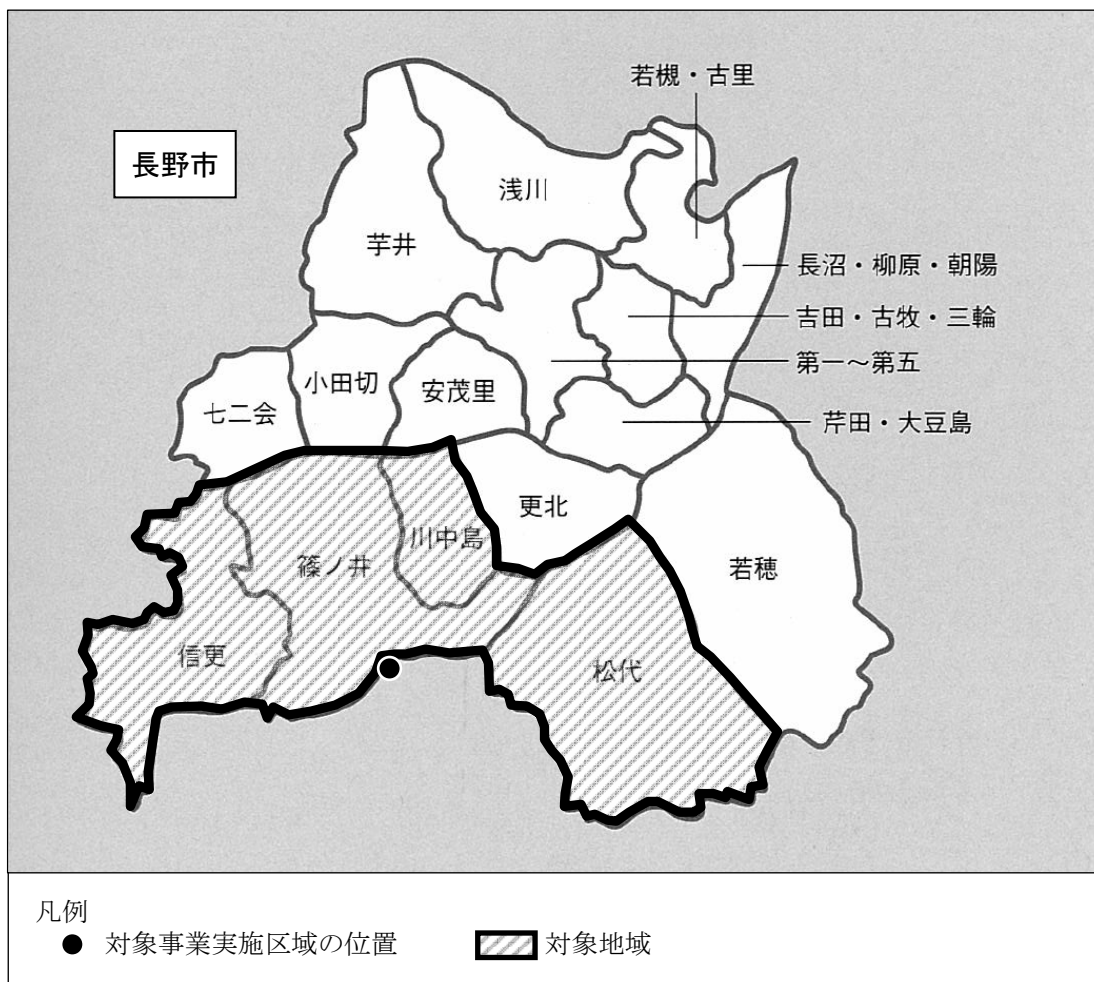
凡 例

- 対象事業実施区域
- 市境
- 調査地点

出典：「河川環境データベース（河川水辺の国勢調査）」（国土交通省ホームページ）を基に作成。  
 この地図は 50,000 分の 1「千曲市全図」（平成 20 年 8 月 千曲市）及び国土地理院 50,000 分の 1「長野」（平成 10 年 2 月）を使用したものである。

図 2-3-15(1) 河川水辺の国勢調査 調査地点





出典：「大切にしたい長野市の自然（長野市版レッドデータブック）」（平成 15 年 3 月 長野市）

図 2-3-15(2) 「大切にしたい長野市の自然（長野市版レッドデータブック）」の対象地域

## 1 動物

### 1) 哺乳類

対象事業実施区域及びその周囲において確認されている、哺乳類の生息状況及び注目する種の状況は、表 2-3-8 に示すとおりである。

#### (1) 生育・生息域及び分布の状況

対象事業実施区域及びその周囲において、「河川環境データベース（河川水辺の国勢調査）」では 10 種、「千曲市レッドデータブック」では 6 種、「大切にしたい長野市の自然（長野市版レッドデータブック）」では 11 種の生息が確認されている。

#### (2) 注目すべき哺乳類

「文化財保護法」の特別天然記念物としてニホンカモシカが、長野県天然記念物としてホンドモモンガが指定されている。

「長野県版レッドデータブック」には 5 種、「千曲市レッドデータブック」には 7 種、「大切にしたい長野市の自然（長野市版レッドデータブック）」には 11 種が掲載されている。

表 2-3-8 調査範囲の哺乳類

目名	科名	種名	資料調査			注目の根拠											
			A	B	C	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨			
モグラ	トガリネズミ	ニホンカワネズミ			○											■	
	モグラ	アズマモグラ	○	○										N			
コウモリ	キクガシラコウモリ	コキクガシラコウモリ			○											■	
		キクガシラコウモリ		○	○										NT	■	
	ヒナコウモリ	ヤマコウモリ		○	○									VU	CR+EN	■	
		ニホンウサギコウモリ			○									NT		■	
		ニホンコテングコウモリ			○									DD		■	
	—	コウモリ目（翼手目）の一種	○														
ネズミ	リス	ニホンリス			○											■	
		ホンドモモンガ			○		県天							NT		■	
		ムササビ			○										NT	■	
	ネズミ	ハタネズミ	○														
		アカネズミ	○														
		ハツカネズミ	○														
		ドブネズミ	○														
	ネズミ科の一種	○															
ネコ	クマ	ツキノワグマ		○	○										N	●	
	イヌ	タヌキ	○														
		キツネ	○														
	イタチ	テン		○											N		
		イタチ	○														
ウシ	ウシ	ニホンカモシカ		○	○	国天								N	N	□	

備考1) 資料調査のA～Cは表2-3-7及び次に示す文献のとおりである。

A:「河川環境データベース（河川水辺の国勢調査）」(国土交通省ホームページ)に示されている対象種

B:「千曲市レッドデータブック」(平成23年2月 千曲市)に示されている対象種

C:「大切にしたい長野市の自然（長野市版レッドデータブック）」(平成15年3月 長野市)に示されている対象種

備考2) 注目の根拠の①～⑨は表2-3-6及び次に示す法令、文献の番号と一致し、当該法令、文献における指定状況を示している。各指定状況の内容は、略称であり、それぞれ次のことを示している。

① 特天：特別天然記念物 国天：国指定天然記念物

② 県天：県指定天然記念物

③ 千天：千曲市指定天然記念物 長天：長野市指定天然記念物

④ 国際：国際希少野生動植物種 国内：国内希少野生動植物種 特定：特定国内希少野生動植物種 緊急：緊急指定種

⑤ 県特：特別希少野生動植物種 県指：指定希少野生動植物種

⑥ EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類 CR：絶滅危惧ⅠA類 EN：絶滅危惧ⅠB類 VU：絶滅危惧Ⅱ類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足 LP：地域個体群

⑦ EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類 CR：絶滅危惧ⅠA類 EN：絶滅危惧ⅠB類 VU：絶滅危惧Ⅱ類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足 LP：地域個体群 N：留意種

⑧ EX：絶滅 EW：野生絶滅 CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類 CR：絶滅危惧ⅠA類 EN：絶滅危惧ⅠB類 VU：絶滅危惧Ⅱ類 NT：準絶滅危惧 DD：情報不足 LP：地域個体群 N：留意種

⑨ [身近な減少種] ●：減少極めて著しい ◎：減少著しい ○：減少

[注目種] ■：近年生息を確認できない種 □今後の減少が予測される種

## 2) 鳥類

対象事業実施区域及びその周囲において確認されている、鳥類の生息状況及び注目する種の状況は、表 2-3-9(1)、(2)に示すとおりである。

### (1) 生育・生息域及び分布の状況

対象事業実施区域及びその周囲において、「河川環境データベース（河川水辺の国勢調査）」では 35 種、「千曲市レッドデータブック」では 25 種、「大切にしたい長野市の自然（長野市版レッドデータブック）」では 19 種の生息が確認されている。

### (2) 注目すべき鳥類

「文化財保護法」の特別天然記念物としてイヌワシが、国際希少野生動植物種としてコアジサシが、国内希少野生動植物種としてオオタカ、クマタカ、イヌワシ、ハヤブサの 4 種が、県の特別希少野生動植物としてイヌワシが、県の指定希少野生動植物としてクマタカが指定されている。

「日本の絶滅のおそれのある野生動植物（自然環境局野生生物課）」（以下、環境省レッドリストという。）には 12 種、「長野県版レッドデータブック」及び「千曲市レッドデータブック」には 26 種、「大切にしたい長野市の自然（長野市版レッドデータブック）」には 23 種が掲載されている。

表 2-3-9(1) 調査範囲の鳥類

目名	科名	種名	文献調査			注目の根拠											
			A	B	C	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨			
カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	○		○												◎
ペリカン	ウ	カワウ	○														
コウノトリ	サギ	ヨシゴイ		○								NT	VU	VU			
		ゴイサギ	○														
		ササゴイ		○									NT	VU			
		ダイサギ	○														
		アオサギ	○														
カモ	カモメ	マガモ	○										LP				
		カルガモ	○														
		カワアイサ	○														
タカ	タカ	ミサゴ		○	○							NT	N	N		○	
		ハチクマ		○	○							NT	VU	VU		◎	
		トビ	○														
		オオタカ		○					国内			NT	VU	VU		◎	
		ハイタカ		○								NT	VU	VU		■	
		ノスリ		○									NT	N			
		サシバ			○							VU	VU			●	
		クマタカ		○	○				国内	県指	EN	EN	CR+EN		◎		
		イヌワシ		○	○	国天			国内	県特	EN	CR	CR+EN		●		
		ハヤブサ	ハヤブサ		○	○				国内		VU	N	N		◎	
	キジ	キジ	キジ	○													
ツル	クイナ	クイナ		○								DD	NT				
チドリ	チドリ	コチドリ		○									NT	NT			
		イカルチドリ		○	○									NT	NT	◎	
	カモメ	コアジサシ			○				国際		VU	EN			●		
ハト	ハト	ドバト	○														
		キジバト	○														
カッコウ	カッコウ	カッコウ	○														
フクロウ	フクロウ	トラフズク		○									VU	NT		●	
		アオバズク		○	○									VU	VU	◎	
		フクロウ		○	○									NT	NT	○	
ヨタカ	ヨタカ	ヨタカ			○						VU	VU	VU		◎		
ブッポウソウ	カワセミ	ヤマセミ		○	○									NT	VU		●
		アカショウビン			○									VU			●
		カワセミ		○	○										NT		◎
キツツキ	キツツキ	アカゲラ	○														
スズメ	ヒバリ	ヒバリ		○											N		
	ツバメ	ツバメ	○														
	セキレイ	ハクセキレイ	○														
		セグロセキレイ	○														
	サンショウクイ	サンショウクイ		○	○							VU	VU	NT		◎	
	ヒヨドリ	ヒヨドリ	○														
	モズ	モズ	○														
	ツグミ	ツグミ	○														
	ウグイス	オオヨシキリ	○														
	カササギヒタキ	サンコウチョウ		○	○								VU	VU		●	
	シジュウカラ	シジュウカラ	○														
ホオジロ	ホオジロ	○															
	カシラダカ	○															
	アオジ	○															

表 2-3-9(2) 調査範囲の鳥類

目名	科名	種名	文献調査			注目の根拠								
			A	B	C	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
スズメ	ホオジロ	オオジュリン	○											
	アトリ	アトリ	○											
		カワラヒワ	○											
		マヒワ	○											
		オオマシコ		○									N	
		イスカ		○									N	●
		シメ	○											
	ハタオリドリ	スズメ	○											
	ムクドリ	ムクドリ	○											
	カラス	オナガ	○		○									○
		ハシボソガラス	○											
		ハシブトガラス	○											

備考1) 資料調査のA～Cは表2-3-7及び次に示すとおりである。

A:「河川環境データベース(河川水辺の国勢調査)」(国土交通省ホームページ)に示されている対象種

B:「千曲市レッドデータブック」(平成23年2月 千曲市)に示されている対象種

C:「大切にしたい長野市の自然(長野市版レッドデータブック)」(平成15年3月 長野市)に示されている対象種

備考2) 注目の根拠の①～⑨は表2-3-6及び次に示す法令、文献の番号と一致し、当該法令、文献における指定状況を示している。各指定状況の内容は、略称であり、それぞれ次のことを示している。

① 特天:特別天然記念物 国天:国指定天然記念物

② 県天:県指定天然記念物

③ 千天:千曲市指定天然記念物 長天:長野市指定天然記念物

④ 国際:国際希少野生動植物種 国内:国内希少野生動植物種 特定:特定国内希少野生動植物種 緊急:緊急指定種

⑤ 県特:特別希少野生動植物種 県指:指定希少野生動植物種

⑥ EX:絶滅 EW:野生絶滅 CR+EN:絶滅危惧I類 CR:絶滅危惧IA類 EN:絶滅危惧IB類 VU:絶滅危惧II類

NT:準絶滅危惧 DD:情報不足 LP:地域個体群

⑦ EX:絶滅 EW:野生絶滅 CR+EN:絶滅危惧I類 CR:絶滅危惧IA類 EN:絶滅危惧IB類 VU:絶滅危惧II類

NT:準絶滅危惧 DD:情報不足 LP:地域個体群 N:留意種

⑧ EX:絶滅 EW:野生絶滅 CR+EN:絶滅危惧I類 CR:絶滅危惧IA類 EN:絶滅危惧IB類 VU:絶滅危惧II類

NT:準絶滅危惧 DD:情報不足 LP:地域個体群 N:留意種

⑨ [身近な減少種] ●:減少極めて著しい ○:減少

[注目種] ■:近年生息を確認できない種 □今後の減少が予測される種

### 3) 両生類・爬虫類

対象事業実施区域及びその周囲において確認されている、両生類の生息状況及び注目する種の状況は表 2-3-10 に、爬虫類の生息状況及び注目する種の状況は表 2-3-11 に示すとおりである。

#### (1) 生育・生息域及び分布の状況

対象事業実施区域及びその周囲において、「河川環境データベース（河川水辺の国勢調査）」では両生類 4 種及び爬虫類 3 種、「千曲市レッドデータブック」では両生類 3 種及び爬虫類 2 種、「大切にしたい長野市の自然（長野市版レッドデータブック）」では両生類 6 種及び爬虫類 3 種の生息が確認されている。

#### (2) 注目すべき両生類・爬虫類

両生類及び爬虫類について、「文化財保護法」や長野県天然記念物として指定されている種の生息は確認されていない。また、千曲市新山地区の氷清水のハコネサンショウウオは、千曲市の天然記念物に指定されている。

「環境省レッドデータブック」には両生類 3 種及び爬虫類 1 種、「長野県版レッドデータブック」には両生類 2 種及び爬虫類 2 種、「千曲市レッドデータブック」には両生類 4 種及び爬虫類 2 種、「大切にしたい長野市の自然（長野市版レッドデータブック）」には両生類 6 種及び爬虫類 4 種が掲載されている。



表 2-3-10 調査範囲の両生類

目名	科名	種名	文献調査			注目の根拠									
			A	B	C	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	
有尾	サンショウウオ	クロサンショウウオ			○							NT	NT		●
		ハコネサンショウウオ		○	○			千天						N	◎
	イモリ	アカハライモリ			○						NT		N	◎	
無尾	ヒキガエル	アズマヒキガエル			○										□
	アマガエル	アマガエル	○												
	アカガエル	トウキョウダルマガエル	○								NT				
		ウシガエル	○												
		ツチガエル	○	○									VU	VU	
	アオガエル	シュレーゲルアオガエル			○										●
	カジカガエル	カジカガエル		○	○									CR+EN	○

備考1) 資料調査のA～Cは表2-3-7及び次に示すとおりである。

A:「河川環境データベース(河川水辺の国勢調査)」(国土交通省ホームページ)に示されている対象種

B:「千曲市レッドデータブック」(平成23年2月 千曲市)に示されている対象種

C:「大切にしたい長野市の自然(長野市版レッドデータブック)」(平成15年3月 長野市)に示されている対象種

備考2) 注目の根拠の①～⑨は表2-3-6及び次に示す法令、文献の番号と一致し、当該法令、文献における指定状況を示している。各指定状況の内容は、略称であり、それぞれ次のことを示している。

① 特天:特別天然記念物 国天:国指定天然記念物

② 県天:県指定天然記念物

③ 千天:千曲市指定天然記念物 長天:長野市指定天然記念物

④ 国際:国際希少野生動植物種 国内:国内希少野生動植物種 特定:特定国内希少野生動植物種 緊急:緊急指定種

⑤ 県特:特別希少野生動植物種 県指:指定希少野生動植物種

⑥ EX:絶滅 EW:野生絶滅 CR+EN:絶滅危惧I類 CR:絶滅危惧IA類 EN:絶滅危惧IB類 VU:絶滅危惧II類  
NT:準絶滅危惧 DD:情報不足 LP:地域個体群

⑦ EX:絶滅 EW:野生絶滅 CR+EN:絶滅危惧I類 CR:絶滅危惧IA類 EN:絶滅危惧IB類 VU:絶滅危惧II類  
NT:準絶滅危惧 DD:情報不足 LP:地域個体群 N:留意種

⑧ EX:絶滅 EW:野生絶滅 CR+EN:絶滅危惧I類 CR:絶滅危惧IA類 EN:絶滅危惧IB類 VU:絶滅危惧II類  
NT:準絶滅危惧 DD:情報不足 LP:地域個体群 N:留意種

⑨ [身近な減少種] ●:減少極めて著しい ◎:減少著しい ○:減少

[注目種] ■:近年生息を確認できない種 □今後の減少が予測される種

表 2-3-11 調査範囲の爬虫類

目名	科名	種名	文献調査			注目の根拠									
			A	B	C	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	
カメ	イシガメ	ニホンイシガメ			○							DD	VU		●
		クサガメ			○										
有鱗目	トカゲ	ニホントカゲ			○										○
	カナヘビ	カナヘビ	○												
	ナミヘビ	ジムグリ	○	○										DD	
		アオダイショウ	○												
		シロマダラ		○									DD	NT	■

備考1) 資料調査のA～Cは表 2-3-7 及び次に示すとおりである。

A:「河川環境データベース(河川水辺の国勢調査)」(国土交通省ホームページ)に示されている対象種

B:「千曲市レッドデータブック」(平成23年2月 千曲市)に示されている対象種

C:「大切にしたい長野市の自然(長野市版レッドデータブック)」(平成15年3月 長野市)に示されている対象種

備考2) 注目の根拠の①～⑨は表 2-3-6 及び次に示す法令、文献の番号と一致し、当該法令、文献における指定状況を示している。各指定状況の内容は、略称であり、それぞれ次のことを示している。

① 特天:特別天然記念物 国天:国指定天然記念物

② 県天:県指定天然記念物

③ 千天:千曲市指定天然記念物 長天:長野市指定天然記念物

④ 国際:国際希少野生動植物種 国内:国内希少野生動植物種 特定:特定国内希少野生動植物種 緊急:緊急指定種

⑤ 県特:特別希少野生動植物種 県指:指定希少野生動植物種

⑥ EX:絶滅 EW:野生絶滅 CR+EN:絶滅危惧I類 CR:絶滅危惧IA類 EN:絶滅危惧IB類 VU:絶滅危惧II類

NT:準絶滅危惧 DD:情報不足 LP:地域個体群

⑦ EX:絶滅 EW:野生絶滅 CR+EN:絶滅危惧I類 CR:絶滅危惧IA類 EN:絶滅危惧IB類 VU:絶滅危惧II類

NT:準絶滅危惧 DD:情報不足 LP:地域個体群 N:留意種

⑧ EX:絶滅 EW:野生絶滅 CR+EN:絶滅危惧I類 CR:絶滅危惧IA類 EN:絶滅危惧IB類 VU:絶滅危惧II類

NT:準絶滅危惧 DD:情報不足 LP:地域個体群 N:留意種

⑨ [身近な減少種] ●:減少極めて著しい ◎:減少著しい ○:減少

[注目種] ■:近年生息を確認できない種 □今後の減少が予測される種

#### 4) 昆虫類・クモ類

対象事業実施区域及びその周囲において確認されている、昆虫類の生息状況及び注目する種の状況は表 2-3-12(1)～(8)に、クモ類の生息状況及び注目する種の状況は表 2-3-13 に示すとおりである。

##### (1) 生育・生息域及び分布の状況

対象事業実施区域及びその周囲において、「河川環境データベース（河川水辺の国勢調査）」では昆虫類 361 種及びクモ類 32 種、「千曲市レッドデータブック」では昆虫類 29 種及びクモ類 3 種、「大切にしたい長野市の自然（長野市版レッドデータブック）」では昆虫類 30 種の生息が確認されている。

##### (2) 注目すべき昆虫類・クモ類

昆虫類及びクモ類について、「文化財保護法」や長野県天然記念物として指定されている種の生息は確認されていない。

「環境省レッドデータブック」には昆虫類 14 種、「長野県版レッドデータブック」には昆虫類 35 種、「千曲市レッドデータブック」には昆虫類 40 種及びクモ類 3 種、「大切にしたい長野市の自然（長野市版レッドデータブック）」には昆虫類 33 種が掲載されている。

表 2-3-12(1) 調査範囲の昆虫類

目名	科名	種名	文献調査			注目の根拠												
			A	B	C	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
カゲロウ	ヒメフタオカゲロウ	Ameletus属の数種	○															
		ココカゲロウ	Baetis属の数種	○														
	ヒラタカゲロウ	フタバカゲロウ		○														
		オビカゲロウ			○									N	VU			
		ミヤマタニガワカゲロウ		○														
		クロタニガワカゲロウ		○														
		シロタニガワカゲロウ		○														
		オナガヒラタカゲロウ		○														
		エルモンヒラタカゲロウ		○														
	チラカゲロウ	チラカゲロウ		○														
	マダラカゲロウ	アカマダラカゲロウ		○														
トウヨウマダラカゲロウ			○															
トンボ	イトトンボ	キイトトンボ			○											N	○	
		Cercion属の一種		○														
		クロイトトンボ		○														
	カワトンボ	アオハダトンボ			○											N		○
		ヤンマ	アオヤンマ		○													NT
	クロスジギンヤンマ			○												N	N	
	ギンヤンマ			○	○											N	N	
	カトリヤンマ			○												N	VU	
	ミルンヤンマ			○												N	NT	
	サナエトンボ	Davidius属の一種		○														
		クロサナエ			○													NT
		ダビドサナエ		○														
		コオニヤンマ		○														NT
		ウチワヤンマ			○											N	NT	
	エゾトンボ	カラカネトンボ			○													NT
		オオトラフトンボ			○											CR+EN	CR+EN	
		コヤマトンボ		○														
		タカネトンボ		○														
	トンボ	ウスバキトンボ		○														
		コシアキトンボ		○														
		チョウトンボ				○											NT	○
		コノシメトンボ			○													NT
		キトンボ			○													NT
アキアカネ			○															
ノシメトンボ			○															
マイコアカネ				○													NT	
ハサミムシ		オオハサミムシ		○														
カワゲラ	トワダカワゲラ	ミネトワダカワゲラ			○										N	VU	□	
	ヒロムネカワゲラ	ノギカワゲラ			○										N	VU		
	ミドリカワゲラ	ミドリカワゲラ科		○														
	アミメカワゲラ	ミドリカワゲラモドキ		○														
バッタ	ツユムシ	セスジツユムシ		○														
	キリギリス	ウマオイ		○														
	マツムシ	カンタン		○														
	コオロギ	ハラオカメコオロギ		○														
		エンマコオロギ		○														
		ツヅレサセコオロギ		○														
	バッタ	ヒナバッタ		○														
		クルマバッタモドキ		○														
	オンブバッタ	オンブバッタ		○														
カメムシ	ウンカ	タマガワナガウンカ		○														
	ハゴロモ	ベッコウハゴロモ		○														
	セミ	チッチゼミ			○											N	NT	
		ニイニイゼミ		○														
		ハルゼミ		○														
	アワフキムシ	マエキアワフキ		○														
		マルアワフキ		○														
	ヨコバイ	オオヨコバイ		○														
フタスジトガリヨコバイ			○															

表 2-3-12(2) 調査範囲の昆虫類

目名	科名	種名	文献調査			注目の根拠												
			A	B	C	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
カメムシ	ヨコバイ	ミドリヒロヨコバイ	○															
		ズキンヨコバイ	○															
		マダラヨコバイ	○															
		シラホシスカシヨコバイ	○															
	ゲンバイムシ	ヤナギゲンバイ	○															
	ハナカメムシ	ヤサハナカメムシ	○															
		コヒメハナカメムシ	○															
		ナミヒメハナカメムシ	○															
	カスミカメムシ	ナカグロカスミカメ	○															
		ブチヒゲクロカスミカメ	○															
		コアオカスミカメ	○															
		ツマグロアオカスミカメ	○															
		カワヤナギツヤカスミカメ	○															
		ヒョウタンカスミカメ	○															
		クビワヨモギカスミカメ	○															
		ヒメヨモギカスミカメ	○															
		フタトゲムギカスミカメ	○															
		イネホソミドリカスミカメ	○															
		マキバサシガメ	ハネナガマキバサシガメ	○														
	ホシカメムシ	フタモンホシカメムシ	○															
		クロホシカメムシ	○															
	ホソヘリカメムシ	ホソヘリカメムシ	○															
	ヘリカメムシ	ホソハリカメムシ	○															
		ハリカメムシ	○															
	ヒメヘリカメムシ	スカシヒメヘリカメムシ	○															
		アカヒメヘリカメムシ	○															
		ブチヒゲヒメヘリカメムシ	○															
	ナガカメムシ	ニッポンコバネナガカメムシ	○															
		ヒメオオメナガカメムシ	○															
		ヒメナガカメムシ	○															
		シロヘリナガカメムシ	○															
		チャモンナガカメムシ	○															
		キベリヒョウタンナガカメムシ	○															
		チビナガカメムシ	○															
		コバネヒョウタンナガカメムシ	○															
	ジュウジナガカメムシ	○																
	ツチカメムシ	ミツボシツチカメムシ	○															
	カメムシ	ウズラカメムシ	○															
		ブチヒゲカメムシ	○															
		ハナダカカメムシ	○															
ナガメ		○																
オオトゲシラホシカメムシ		○																
シラホシカメムシ		○																
クサギカメムシ		○																
アメンボ	シマアメンボ	○																
コオイムシ	コオイムシ		○	○							NT			NT	◎			
タイコウチ	タイコウチ	○	○	○										N	NT	◎		
	ミズカマキリ	○		○												○		
マツモムシ	マツモムシ	○																
アミメカゲロウ	クサカゲロウ	クモンクサカゲロウ	○															
		ニッポンクサカゲロウ	○															
トビケラ	シマトビケラ	コガタシマトビケラ	○															
		ナミコガタシマトビケラ	○															
		ウルマーシマトビケラ	○															
		ナカハラシマトビケラ	○															

表 2-3-12(3) 調査範囲の昆虫類

目名	科名	種名	文献調査			注目の根拠								
			A	B	C	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
トビケラ	シマトビケラ	エチゴシマトビケラ	○											
	ヒゲナガカワトビケラ	ヒゲナガカワトビケラ	○											
	ヤマトビケラ	Glossosoma属の一種	○											
チョウ	ボクトウガ	ボクトウガ	○											
	イラガ	ムラサキイラガ	○											
	セセリチョウ	アカセセリ				○					VU	N	CR+EN	□
		ギンイチモンジセセリ				○					NT	N	CR+EN	□
	シジミチョウ	ハヤシミドリシジミ			○								CR+EN	
		クロミドリシジミ				○						N		○
		ウラナミアカシジミ			○	○						N	NT	○
		ミヤマシジミ				○					VU	N		●
		ベニシジミ	○											
		ヒメシジミ				○					NT	N	CR+EN	○
		ムモンアカシジミ			○							N	NT	○
		カラスシジミ			○								VU	
		クロツバメシジミ				○					NT	N		○
		ウラキンシジミ			○								VU	
	ウラミスジシジミ			○								VU		
	タテハチョウ	コムラサキ		○										
		ヒョウモンチョウ				○					NT	N	CR+EN	○
		ヒメアカタテハ		○										
		キタテハ		○										
	アゲハチョウ	オオムラサキ			○	○					NT	N	NT	□
		ヒメギフチョウ			○						NT	N	CR+EN	□
		キアゲハ		○										
		オナガアゲハ		○										
	シロチョウ	ナミアゲハ		○										
		モンキチョウ		○										
		キチョウ		○										
		ヒメシロチョウ				○					VU	N	N	□
	ジャノメチョウ	モンシロチョウ		○										
		キマダラモドキ				○					NT	N		□
	オオヒカゲ	オオヒカゲ				○						N	VU	□
ツトガ		コブノメイガ	○											
メイガ	ワタヘリクロノメイガ	○												
	マエキノメイガ	○												
	マメノメイガ	○												
	シロテンキノメイガ	○												
	ホシオビホソノメイガ	○												
	マエアカスカシノメイガ	○												
	シロオビノメイガ	○												
	アカフツヅリガ	○												
シャクガ	コヨツメアオシャク	○												
	ナミガタエダシャク	○												
	シャンハイオエダシャク	○												
	クロミスジシロエダシャク	○												
カイコガ	クワコ	○												
スズメガ	ヒサゴスズメ	○												
	コスズメ	○												
ヒトリガ	スジベニコケガ	○												
	キハラゴマダラヒトリ	○												
ヤガ	コキマエヤガ	○												
	ソトジロツマキリクチバ	○												
	シロテンウスグロヨトウ	○												
	テンウスイロヨトウ	○												
	シロモンオビヨトウ	○												
	モクメヨトウ	○												
	アサマキシタバ	○												
	イチジクキンウワバ	○												
	キンイロキリガ	○												
	キンスジアツバ	○												
	コヒサゴキンウワバ	○												

表 2-3-12(4) 調査範囲の昆虫類

目名	科名	種名	文献調査			注目の根拠													
			A	B	C	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨					
チョウ	ヤガ	オオバコヤガ	○																
		ホソオビアシブトクチバ	○																
		アカマエアオリング	○																
		ギンスジキンウワバ	○																
		ウスグロヤガ	○																
		フタデンヒメヨトウ	○																
		タバコガ	○																
		ウスキミスジアツバ	○																
		クロクモヤガ	○																
		ソトウスグロアツバ	○																
		アカスジキョトウ	○																
		フタオビコヤガ	○																
		チャオビヨトウ	○																
		シロシタヨトウ	○																
		ハスモンヨトウ	○																
		キクキンウワバ	○																
		モンキキリガ	○																
		シロモンヤガ	○																
ハエ	ガガンボ	Antocha属の一種	○																
		Tipula属の一種	○																
		マドガガンボ	○																
	ユスリカ	ユスリカ科	○																
		Chironomus属の数種	○																
	ブユ	ブユ科	○																
		Simulium属の一種	○																
	ミズアブ	アメリカミズアブ	○																
		コウカアブ	○																
	ムシヒキアブ	シロズヒメムシヒキ	○																
	ツルギアブ	ショーヅツルギアブ	○																
	ハナアブ	ホソヒラタアブ	○																
		シマハナアブ	○																
		キョウコシマハナアブ	○																
		アシプトハナアブ	○																
		キアシマメヒラタアブ	○																
		オオハナアブ	○																
		ホソヒメヒラタアブ	○																
		キタヒメヒラタアブ	○																
		ナミルリイロハラナガハナアブ	○																
	シマバエ	Sciasminettia dichaetophora	○																
	ナガズヤセバエ	ホシアシナガヤセバエ	○																
	ヒロクチバエ	ダイズコンリュウバエ	○																
	ヤドリバエ	セスジハリバエ	○																
		ブランコヤドリバエ	○																
	クロバエ	キンバエ	○																
		ミドリキンバエ	○																
		ヒロズキンバエ	○																
		ツマグロキンバエ	○																
	ニクバエ	センチニクバエ	○																
		シリグロニクバエ	○																
		コニクバエ	○																
	コウチュウ	ホソクビゴミムシ オサムシ	コホソクビゴミムシ	○															
タンゴヒラタゴミムシ			○																
キアシマルガタゴミムシ			○																
マルガタゴミムシ			○																
コアオマルガタゴミムシ			○																
オオマルガタゴミムシ			○																
コマルガタゴミムシ			○																
ホシボシゴミムシ			○																
オオホシボシゴミムシ			○																
スジミズアトキリゴミムシ			○																





表 2-3-12(6) 調査範囲の昆虫類

目名	科名	種名	文献調査			注目の根拠												
			A	B	C	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
コウチュウ	コガネムシ	マグソコガネ	○															
		セマダラコガネ	○															
		アカビロウドコガネ	○															
		ビロウドコガネ	○															
		コフキコガネ	○															
		コブマルエンマコガネ	○															
		ウエダエンマコガネ			○									N	LP	○		
		マメコガネ	○															
		シロテンハナムグリ	○															
	セマルケシマグソコガネ	○																
	ヒメドロムシ	キスジミゾドロムシ	○															
	タマムシ	ヤマトタマムシ		○										N	VU	●		
	コメツキムシ	サビキコリ	○															
		ホソサビキコリ	○															
		ヒメサビキコリ	○															
		アカアシハナコメツキ	○															
		オオハナコメツキ	○															
		ミズギワコメツキ	○															
		ヨツモンミズギワコメツキ	○															
クロスジクチボソコメツキ		○																
クシコメツキ		○																
クロクシコメツキ		○																
ホソミズギワコメツキ		○																
コハナコメツキ		○																
ジョウカイボン	ホッカイジョウカイ	○																
	ジョウカイボン	○																
ホタル	オバボタル			○													○	
	ゲンジボタル		○	○									N	N	●			
	ヘイケボタル		○	○										DD	◎			
	クロマドボタル			○												○		
ジョウカイモドキ	キアシオビジョウカイモドキ	○																
テントウムシ	カメノコテントウ	○																
	アイヌテントウ	○																
	ナナホシテントウ	○																
	ジュウシホシテントウ	○																
	ナミテントウ	○																
	セスジヒメテントウ	○																
	ヒメカメノコテントウ	○																
	ババヒメテントウ	○																
テントウムシダマシ	ヨツボシテントウダマシ	○																
ヒメマキムシ	ウスチャケシマキムシ	○																
ネスイムシ	オバケデオネスイ	○																
ケシキスイ	クリイロデオキスイ	○																
	ハネナガヒラタケシキスイ	○																
	ホソキヒラタケシキスイ	○																
	ツヤチビヒラタケシキスイ	○																
	ヨツボシケシキスイ	○																
ヒメハナムシ	キイロアシナガヒメハナムシ	○																
ホソヒラタムシ	ミツモンセマルヒラタムシ	○																
	ホソムネホソヒラタムシ	○																
アリモドキ	コクロホソアリモドキ	○																
	キアシクビボソムシ	○																
	ホソアシイッカク	○																
	ミツヒダアリモドキ	○																
	ヨツボシホソアリモドキ	○																
ニセクビボソムシ	ヤマトニセクビボソムシ	○																

表 2-3-12(7) 調査範囲の昆虫類

目名	科名	種名	文献調査			注目の根拠															
			A	B	C	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨							
コウチュウ	ハナノミ	フタモンヒメハナノミ	○																		
		クロヒメハナノミ	○																		
		セグロヒメハナノミ	○																		
		アワヒメハナノミ	○																		
	ユキノコムシ	フタモンヒメコキノコムシ	○																		
		アオカミキリモドキ	○																		
	ハナノミダマシ	クロフナガタハナノミ	○																		
	クチキムシ	クリイロクチキムシ	○																		
	ゴミムシダマシ	モンキゴミムシダマシ	○																		
		コスナゴミムシダマシ	○																		
		ヒメスナゴミムシダマシ	○																		
		カクスナゴミムシダマシ	○																		
		スジコガシラゴミムシダマシ	○																		
		ハムシダマシ	○																		
	カミキリムシ	ゴマダラカミキリ	○																		
		クロトラカミキリ	○																		
		ニイジマチビカミキリ	○																		
		シラオビゴマフケシカミキリ	○																		
		ウスバカミキリ	○																		
		ヒシカミキリ	○																		
		キボシカミキリ	○																		
		アトジロサビカミキリ	○																		
	ヤハズカミキリ		○																	N	
	ハムシ	アカガネサルハムシ	○																		
		クロウリハムシ	○																		
		アオバネサルハムシ	○																		
		カメノコハムシ	○																		
		ヒメカメノコハムシ	○																		
		スズキミドリトビハムシ	○																		
		ホタルハムシ	○																		
		ブタクサハムシ	○																		
		ヤナギルリハムシ	○																		
		ナスナガスネトビハムシ	○																		
		アサトビハムシ	○																		
		ナトビハムシ	○																		
		ドウガネサルハムシ	○																		
		アカバナトビハムシ	○																		
		ヒゲナガゾウムシ	ヨリメチビヒゲナガゾウムシ	○																	
	オトシブミ	クロケシツブチョッキリ	○																		
	ゾウムシ	エゾヒメゾウムシ	○																		
		マダラヒメゾウムシ	○																		
		ダイコンサルゾウムシ	○																		
ミドリサルゾウムシ		○																			
ヤナギシリジロゾウムシ		○																			
シロオビチビシギゾウムシ		○																			
ミドリクチブトゾウムシ		○																			
モンイネゾウモドキ		○																			
ムネマルヒョウタンゾウムシ		○																			
アイノカツオゾウムシ		○																			
ツチイロヒゲボソゾウムシ		○																			
カナムグラヒメゾウムシ		○																			
サビヒョウタンゾウムシ		○																			
チビコフキゾウムシ		○																			
クロノミゾウムシ		○																			
ハチ	アシブトコバチ	キアシブトコバチ	○																		
	アリ	ハリブトシリアゲアリ	○																		
		クロヤマアリ	○																		

表 2-3-12(8) 調査範囲の昆虫類

目名	科名	種名	文献調査			注目の根拠												
			A	B	C	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
ハチ	アリ	トビイロケアリ	○															
		トビイロシワアリ	○															
	スズメバチ	フタモンアシナガバチ	○															
		キアシナガバチ	○															
		コガタスズメバチ	○															
	ミツバチ	セイヨウミツバチ	○															
		キオビツヤハナバチ	○															
		シロスジヒゲナガハナバチ	○															
		キムネクマバチ	○															
	コハナバチ	アカガネコハナバチ	○															

備考1) 資料調査のA～Cは表2-3-7及び次に示すとおりである。

A:「河川環境データベース(河川水辺の国勢調査)」(国土交通省ホームページ)に示されている対象種

B:「千曲市レッドデータブック」(平成23年2月 千曲市)に示されている対象種

C:「大切にしたい長野市の自然(長野市版レッドデータブック)」(平成15年3月 長野市)に示されている対象種

備考2) 注目の根拠の①～⑨は表2-3-6及び次に示す法令、文献の番号と一致し、当該法令、文献における指定状況を示している。各指定状況の内容は、略称であり、それぞれ次のことを示している。

① 特天:特別天然記念物 国天:国指定天然記念物

② 県天:県指定天然記念物

③ 千天:千曲市指定天然記念物 長天:長野市指定天然記念物

④ 国際:国際希少野生動植物種 国内:国内希少野生動植物種 特定:特定国内希少野生動植物種 緊急:緊急指定種

⑤ 県特:特別希少野生動植物種 県指:指定希少野生動植物種

⑥ EX:絶滅 EW:野生絶滅 CR+EN:絶滅危惧I類 CR:絶滅危惧IA類 EN:絶滅危惧IB類 VU:絶滅危惧II類

NT:準絶滅危惧 DD:情報不足 LP:地域個体群

⑦ EX:絶滅 EW:野生絶滅 CR+EN:絶滅危惧I類 CR:絶滅危惧IA類 EN:絶滅危惧IB類 VU:絶滅危惧II類

NT:準絶滅危惧 DD:情報不足 LP:地域個体群 N:留意種

⑧ EX:絶滅 EW:野生絶滅 CR+EN:絶滅危惧I類 CR:絶滅危惧IA類 EN:絶滅危惧IB類 VU:絶滅危惧II類

NT:準絶滅危惧 DD:情報不足 LP:地域個体群 N:留意種

⑨ [身近な減少種] ●:減少極めて著しい ◎:減少著しい ○:減少

[注目種] ■:近年生息を確認できない種 □:今後の減少が予測される種



## 5) 魚類、エビ類・カニ類、貝類その他

対象事業実施区域及びその周囲において確認されている、魚類の生息状況及び注目する種の状況は表 2-3-14 に、エビ・カニ類の生息状況及び注目する種の状況は表 2-3-15 に、貝類その他の生息状況及び注目する種の状況は表 2-3-16 に示すとおりである。

### (1) 生育・生息域及び分布の状況

対象事業実施区域及びその周囲において、「河川環境データベース（河川水辺の国勢調査）」では魚類 15 種、エビ・カニ類 4 種、貝類その他 7 種、「千曲市レッドデータブック」では魚類 7 種、貝類その他 5 種、「大切にしたい長野市の自然（長野市版レッドデータブック）」では魚類 10 種、エビ・カニ類 8 種、貝類その他 8 種の生息が確認されている。

### (2) 注目すべき魚類、エビ類・カニ類、貝類その他

長野県の指定希少動植物種にシナイモツゴが指定されている。

「環境省レッドデータブック」には魚類 12 種、貝類その他 7 種、「長野県版レッドデータブック」には魚類 11 種、貝類その他 6 種、「千曲市レッドデータブック」には魚類 8 種、貝類その他 6 種、「大切にしたい長野市の自然（長野市版レッドデータブック）」には魚類 11 種、エビ類・カニ類 5 種、貝類その他 8 種が掲載されている。

表 2-3-14 調査範囲の魚類

目名	科名	種名	文献調査			注目の根拠										
			A	B	C	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨		
ヤツメウナギ	ヤツメウナギ	スナヤツメ			○							VU	VU	VU	●	
ウナギ	ウナギ	ウナギ										DD	EW			
コイ	コイ	コイ	○													
		ゲンゴロウブナ										EN				
		ギンブナ	○													
		ヤリタナゴ			○							NT	CR		●	
		タイリクバラタナゴ	○													
		オイカワ	○													
		アブラハヤ	○		○											●
		ウケクチウグイ		○								EN	CR	CR+EN		
		ウグイ	○													
		モツゴ	○													
		シナイモツゴ			○						県指	CR	EN		○	
		タモロコ	○		○											□
		カマツカ	○													
		ニゴイ	○													
	ドジョウ	ドジョウ	○													
シマドジョウ				○											□	
ホトケドジョウ			○	○							EN	VU	CR+EN	□		
ナマズ	ギギ	ギギ	○													
	ナマズ	ナマズ	○													
	アカザ	アカザ		○	○							VU	NT	VU	□	
サケ	サケ	ニッコウイワナ		○								DD	NT	VU		
		ヤマメ		○								NT	NT	DD	●	
メダカ	メダカ	メダカ		○	○							VU	EN	CR+EN	○	
カサゴ	カジカ	カジカ		○	○							EN	NT	VU	●	
スズキ	サンフィッシュ	オオクチバス (ブラックバス)	○													
	ハゼ	トウヨシノボリ	○													

備考 1) 資料調査の A~C は表 2-3-7 及び次に示すとおりである。

A: 「河川環境データベース (河川水辺の国勢調査)」 (国土交通省ホームページ) に示されている対象種

B: 「千曲市レッドデータブック」 (平成 23 年 2 月 千曲市) に示されている対象種

C: 「大切にしたい長野市の自然 (長野市版レッドデータブック)」 (平成 15 年 3 月 長野市) に示されている対象種

備考 2) 注目の根拠の①~⑨は表 2-3-6 及び次に示す法令、文献の番号と一致し、当該法令、文献における指定状況を示している。各指定状況の内容は、略称であり、それぞれ次のことを示している。

① 特天: 特別天然記念物 国天: 国指定天然記念物

② 県天: 県指定天然記念物

③ 千天: 千曲市指定天然記念物 長天: 長野市指定天然記念物

④ 国際: 国際希少野生動植物種 国内: 国内希少野生動植物種 特定: 特定国内希少野生動植物種 緊急: 緊急指定種

⑤ 県特: 特別希少野生動植物種 県指: 指定希少野生動植物種

⑥ EX: 絶滅 EW: 野生絶滅 CR+EN: 絶滅危惧 I 類 CR: 絶滅危惧 I A 類 EN: 絶滅危惧 I B 類 VU: 絶滅危惧 II 類

NT: 準絶滅危惧 DD: 情報不足 LP: 地域個体群

⑦ EX: 絶滅 EW: 野生絶滅 CR+EN: 絶滅危惧 I 類 CR: 絶滅危惧 I A 類 EN: 絶滅危惧 I B 類 VU: 絶滅危惧 II 類

NT: 準絶滅危惧 DD: 情報不足 LP: 地域個体群 N: 留意種

⑧ EX: 絶滅 EW: 野生絶滅 CR+EN: 絶滅危惧 I 類 CR: 絶滅危惧 I A 類 EN: 絶滅危惧 I B 類 VU: 絶滅危惧 II 類

NT: 準絶滅危惧 DD: 情報不足 LP: 地域個体群 N: 留意種

⑨ [身近な減少種] ●: 減少極めて著しい ○: 減少著しい ○: 減少

[注目種] ■: 近年生息を確認できない種 □: 今後の減少が予測される種



表 2-3-15 調査範囲のエビ・カニ類

目名	科名	種名	文献調査			注目の根拠												
			A	B	C	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
ハウネンエビ	ハウネンエビ	ハウネンエビ			○													○
ヨコエビ	ヨコエビ	ニッポンヨコエビ	○															
ワラジムシ	ミズムシ	ミズムシ	○															
エビ	ヌマエビ	ヌカエビ	○		○													○
	テナガエビ	テナガエビ			○													○
		スジエビ				○												
	アメリカザリガニ	アメリカザリガニ	○															
	サワガニ	サワガニ			○													○

備考1) 資料調査のA～Cは表 2-3-7 及び次に示すとおりである。

A: 「河川環境データベース (河川水辺の国勢調査)」(国土交通省ホームページ) に示されている対象種

B: 「千曲市レッドデータブック」(平成 23 年 2 月 千曲市) に示されている対象種

C: 「大切にしたい長野市の自然 (長野市版レッドデータブック)」(平成 15 年 3 月 長野市) に示されている対象種

備考2) 注目の根拠の①～⑨は表 2-3-6 及び次に示す法令、文献の番号と一致し、当該法令、文献における指定状況を示している。各指定状況の内容は、略称であり、それぞれ次のことを示している。

① 特天: 特別天然記念物 国天: 国指定天然記念物

② 県天: 県指定天然記念物

③ 千天: 千曲市指定天然記念物 長天: 長野市指定天然記念物

④ 国際: 国際希少野生動植物種 国内: 国内希少野生動植物種 特定: 特定国内希少野生動植物種 緊急: 緊急指定種

⑤ 県特: 特別希少野生動植物種 県指: 指定希少野生動植物種

⑥ EX: 絶滅 EW: 野生絶滅 CR+EN: 絶滅危惧 I 類 CR: 絶滅危惧 I A 類 EN: 絶滅危惧 I B 類 VU: 絶滅危惧 II 類  
NT: 準絶滅危惧 DD: 情報不足 LP: 地域個体群

⑦ EX: 絶滅 EW: 野生絶滅 CR+EN: 絶滅危惧 I 類 CR: 絶滅危惧 I A 類 EN: 絶滅危惧 I B 類 VU: 絶滅危惧 II 類  
NT: 準絶滅危惧 DD: 情報不足 LP: 地域個体群 N: 留意種

⑧ EX: 絶滅 EW: 野生絶滅 CR+EN: 絶滅危惧 I 類 CR: 絶滅危惧 I A 類 EN: 絶滅危惧 I B 類 VU: 絶滅危惧 II 類  
NT: 準絶滅危惧 DD: 情報不足 LP: 地域個体群 N: 留意種

⑨ [身近な減少種] ●: 減少極めて著しい ◎: 減少著しい ○: 減少

[注目種] ■: 近年生息を確認できない種 □: 今後の減少が予測される種

表 2-3-16 調査範囲の貝類、その他

目名	科名	種名	文献調査			注目の根拠											
			A	B	C	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨			
ザラカイメン	タンスイカイメン	タンスイカイメン科	○														
原始紐舌目	タニシ	マルタニシ		○									NT	NT	NT		
盤足目	カワニナ	カワニナ			○											◎	
基眼目	モノアラガイ	モノアラガイ		○	○								NT	NT	NT	○	
	サカマキガイ	サカマキガイ	○														
	ヒラマキガイ	ヒラマキミズマイマイ											DD				
マルスダレガイ	シジミ	マシジミ	○		○								NT		NT	○	
	ドブシジミガイ	ドブシジミ			○											○	
マイマイ	キバサナギガイ	ヤマトキバサナギガイ		○									VU	VU	CR+EN		
	オナジマイマイ	ミスジマイマイ		○											VU		
	キセルガイモドキ	クリイロキセルガイモドキ			○								NT	CR+EN		●	
	ベッコウマイマイ	スジキビ		○										NT	CR+EN		
ウズムシ	プラナリア	ナガノコガタウズムシ			○								NT	CR+EN		□	
ナガミミズ	ナガミミズ	ナガミミズ目	○														
イトミミズ	イトミミズ	Aulodrilus 属の一種	○														
		Tubifex 属の一種	○														
無物蛭目	イシビル	シマイシビル	○														
ミジンコ	ミジンコ	ハリナガミジンコ			○												○
ホシミドロ	ツツミモ	ミクラステリアス			○												□

備考 1) 資料調査の A~C は表 2-3-7 及び次に示すとおりである。

A: 「河川環境データベース (河川水辺の国勢調査)」 (国土交通省ホームページ) に示されている対象種

B: 「千曲市レッドデータブック」 (平成 23 年 2 月 千曲市) に示されている対象種

C: 「大切にしたい長野市の自然 (長野市版レッドデータブック)」 (平成 15 年 3 月 長野市) に示されている対象種

備考 2) 注目の根拠の①~⑨は表 2-3-6 及び次に示す法令、文献の番号と一致し、当該法令、文献における指定状況を示している。各指定状況の内容は、略称であり、それぞれ次のことを示している。

① 特天: 特別天然記念物 国天: 国指定天然記念物

② 県天: 県指定天然記念物

③ 千天: 千曲市指定天然記念物 長天: 長野市指定天然記念物

④ 国際: 国際希少野生動植物種 国内: 国内希少野生動植物種 特定: 特定国内希少野生動植物種 緊急: 緊急指定種

⑤ 県特: 特別希少野生動植物種 県指: 指定希少野生動植物種

⑥ EX: 絶滅 EW: 野生絶滅 CR+EN: 絶滅危惧 I 類 CR: 絶滅危惧 I A 類 EN: 絶滅危惧 I B 類 VU: 絶滅危惧 II 類 NT: 準絶滅危惧 DD: 情報不足 LP: 地域個体群

⑦ EX: 絶滅 EW: 野生絶滅 CR+EN: 絶滅危惧 I 類 CR: 絶滅危惧 I A 類 EN: 絶滅危惧 I B 類 VU: 絶滅危惧 II 類 NT: 準絶滅危惧 DD: 情報不足 LP: 地域個体群 N: 留意種

⑧ EX: 絶滅 EW: 野生絶滅 CR+EN: 絶滅危惧 I 類 CR: 絶滅危惧 I A 類 EN: 絶滅危惧 I B 類 VU: 絶滅危惧 II 類 NT: 準絶滅危惧 DD: 情報不足 LP: 地域個体群 N: 留意種

⑨ [身近な減少種] ●: 減少極めて著しい ◎: 減少著しい ○: 減少

[注目種] ■: 近年生息を確認できない種 □: 今後の減少が予測される種

## 2 植物

### 1) 植物

対象事業実施区域及びその周囲における現存植生図は、図 2-3-16 に示すとおりである。

また、対象事業実施区域及びその周囲において確認されている、植物の生育状況及び注目する種の状況は表 2-3-17(1)～(5)に示すとおりである。

#### (1) 生育・生息域及び分布の状況

対象事業実施区域及びその周囲は、主に千曲川沿いが河辺・湿原・塩沼地・砂丘植生や人為的な影響を強く受けた植林地、耕作地植生が分布し、それより以遠の東西には、ブナクラス域自然植生やブナクラス代償植生が分布している。

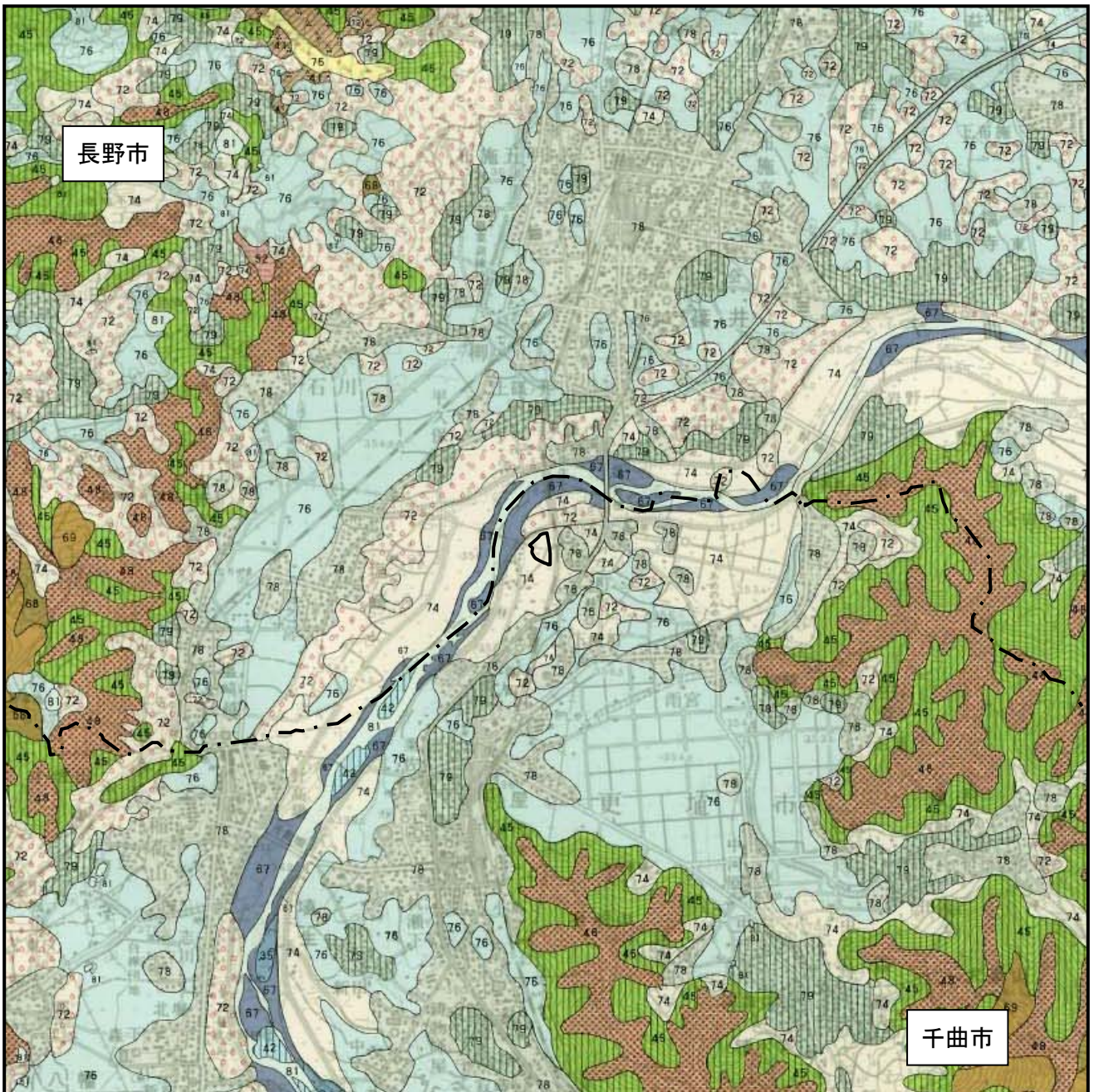
対象事業実施区域は、植林地、耕作地植生に属する“畑地雑草群落”で構成されており、その周囲については、千曲川沿いにヨシクラスや落葉果樹園等が分布する他は、市街地となっている。

なお、対象事業実施区域及びその周囲において確認されている植物種は、「河川環境データベース（河川水辺の国勢調査）」では 174 種、「千曲市レッドデータブック」では 80 種、「大切にしたい長野市の自然（長野市版レッドデータブック）」では 275 種である。

#### (2) 注目すべき植物

長野県の指定希少野生動植物にヤマシャクヤク、ベニバナヤマシャクヤク、ウラシマソウの 3 種が指定されている。また、千曲市戸倉及び倉科のセツブンソウの群生地は、千曲市天然記念物に指定されている。

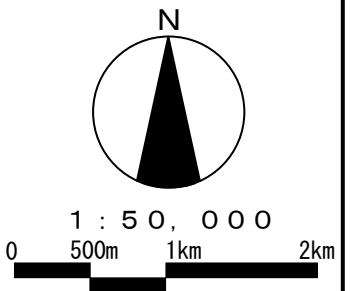
「環境省レッドデータブック」には 21 種、「長野県版レッドデータブック」には 35 種、「千曲市レッドデータブック」には 90 種、「大切にしたい長野市の自然（長野市版レッドデータブック）」には 30 種が掲載されている。



凡 例

対象事業実施区域
 - - - 市境

IV. ブナクラス域自然植生		VIII. 河辺・湿原・塩沼地・砂丘植生(各クラス域共通)	
35 ヤナギ低木群落	67 ヨシクラス		
41 アカマツ群落	42 カワラヨモギ群落		
40 ケヤキ群落			
V. ブナクラス域代償植生		IX. 埴林地, 耕作地植生(各クラス域共通)	X. その他
43 ブナーミズナラ群落	68 スギ・ヒノキ・サワラ植林	78 市街地	
45 カスミザクラ・コナラ群落	69 カラマツ植林	79 緑の多い住宅地	
48 アカマツ群落	72 落葉果樹園	80 造成地	
52 伐跡群落	74 畑地雑草群落	81 開放水域	
	75 牧草地	82 自然裸地	
	76 水田雑草群落		



出典:「第3回自然環境保全基礎調査(植生調査)植生図 長野県「長野」50,000分の1」  
(昭和60年 環境庁)

図 2-3-16 現存植生図

表 2-3-17(1) 調査範囲の植物

区分	科名	種名	文献調査			注目の根拠												
			A	B	C	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
シダ植物	イワヒバ	イワヒバ			○										EN	◎		
	トクサ	スギナ	○															
	ハナヤスリ	アカハナワラビ		○												NT		
		フユノハナワラビ			○												○	
	チャセンシダ	チャセンシダ		○												CR		
	オシダ	シラネワラビ		○												NT		
	ヒメシダ	ゲジゲジシダ		○												VU		
	メシダ	タカネサトメシダ		○												CR		
	デンジソウ	デンジソウ		○	○									VU	EN	VU	●	
	サンショウモ	サンショウモ		○										NT	VU	EN	●	
種子植物	クルミ	オニグルミ	○															
	ヤナギ	ジャヤナギ	○															
		カワヤナギ	○															
		コゴメヤナギ	○															
		タチヤナギ	○															
	ブナ	ブナ		○												VU		
	エノキ	エノキ	○															
	クワ	カナムグラ	○															
		トウグワ	○															
		ヤマグワ	○															
	イラクサ	ホソバイラクサ		○											NT	NT		
	タデ	ヤナギタデ	○															
		シロバナサクラタデ	○															
		オオイヌタデ	○															
		イヌタデ	○															
		イシミカワ	○															
		ママコノシリヌグイ	○															
		ミゾソバ	○															
		スイバ	○															
		ナガバギシギシ	○															
		ノダイオウ		○										NT	NT	VU		
	エゾノギシギシ	○																
	ヤマゴボウ	ヨウシュヤマゴボウ	○															
	スベリヒユ	スベリヒユ	○															
	ナデシコ	ノミノツヅリ	○															
		オランダミミナグサ	○															
		ミミナグサ	○															
		シナノナデシコ		○	○											CR	◎	
		ノミノフスマ	○															
		ウシハコベ	○															
		コハコベ	○															
		ミドリハコベ	○															
	アカザ	シロザ	○															
		アカザ	○															
		ケアリタソウ	○															
		コアカザ	○															
		ゴウシュウアリタソウ	○															
	ヒユ	ヒカゲイノコズチ	○															
		ホソアオゲイトウ	○															
	キンポウゲ	フクジュソウ		○	○										NT	EN	○	
		ニリンソウ		○													NT	
		イチリンソウ		○													VU	
		レンゲショウマ			○												VU	●
		セリバオウレン		○													CR	
		ミスミソウ			○										NT	EN	◎	
		オオミスミソウ		○												EN	CR	
		バイカモ			○												●	
セツブンソウ			○						千天					NT	VU	VU	●	
イワカラマツ			○											VU	VU	VU		
メギ	イカリソウ			○												□		
ウマノスズクサ	ウマノスズクサ		○												VU	VU		
	フタバアオイ			○													○	
	ウスバサイシン		○	○												NT	◎	



表 2-3-17(2) 調査範囲の植物

門	科名	種名	文献調査			注目の根拠											
			A	B	C	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨			
種子植物	ボタン	ヤマシャクヤク			○							県指	NT	VU	CR	●	
		ベニバナヤマシャクヤク			○							県指	VU	CR	CR	●	
	ケシ	クサノオウ	○														
		ミヤマキケマン		○											VU		
	アブラナ	ハルザキヤマガラシ	○														
		セイヨウカラシナ	○														
		セイヨウアブラナ	○														
		ナズナ	○														
		タネツケバナ	○														
		クジラグサ	○														
		イヌナズナ	○														
		マメグンバイナズナ	○														
		スカシタゴボウ	○														
		カキネガラシ	○														
		グンバイナズナ	○														
	ベンケイソウ	チチツバベンケイ		○											VU	EN	
		ツメレンゲ			○									NT	NT	VU	○
	ユキノシタ	タコノアシ		○										NT	VU	CR	○
	バラ	エドヒガン		○													VU
		ノイバラ	○														
	マメ	イタチハギ	○														
		フジキ		○													CR
		フジカンゾウ		○													
		ツルマメ	○														
		コマツナギ	○														
		マルバヤハズソウ	○														
		ヤハズソウ	○														
		メドハギ	○														
		カラメドハギ	○														
		シロバナシナガワハギ	○														
		クズ	○														
		ハリエンジュ	○														
		ムラサキツメクサ	○														
		シロツメクサ	○														
		ヤハズエンドウ	○														
		ミヤマタニワタシ		○											NT	NT	
		ナヨクサフジ	○														
		スズメノエンドウ	○														
		カスマグサ	○														
		ヤブツルアズキ		○													VU
	カタバミ	カタバミ	○														
		オオヤマカタバミ		○										VU	NT	CR	
	トウダイグサ	エノキグサ	○														
		マルミノウルシ		○										NT	CR	VU	
		ニシキソウ		○											VU	NT	
		シラキ		○												VU	
	ウルシ	ヌルデ	○														
	カエデ	メグスリノキ		○												EN	
	クロウメモドキ	ケケンボナシ		○												NT	
	ブドウ	ノブドウ	○														
ヤブガラシ		○															
シナノキ	カラスノゴマ		○													CR	
	オオバボダイジュ		○													NT	
スマレ	マキノスマレ		○													VU	
	ヒゴスマレ		○													NT	
	スマレサイシン		○													VU	
	ゲンジスマレ		○													VU	
	ヒカゲスマレ		○													EN	
ウリ	スズメウリ	○															
	アレチウリ	○															
	キカラスウリ	○															
アカバナ	チョウジタデ	○															
	ミズユキノシタ		○												EN	EN	



表 2-3-17(3) 調査範囲の植物

門	科名	種名	文献調査			注目の根拠												
			A	B	C	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨				
種子植物	アカバナ	メマツヨイグサ	○															
	ウコギ	タラノキ	○															
		トチバニンジン		○													NT	
	セリ	ホタルサイコ		○														EN
		ドクゼリ		○														EN
		セリ	○															
		ヤブヅラミ	○															
	イチャクソウ	ギンリョウソウ		○														EN
		ムラサキヤシオ		○														CR
	ツツジ	ヒカゲツツジ				○												VU
		ユキグニミツバツツジ		○														EN
		ヤブコウジ	ヤブコウジ		○	○												EN
	サクラソウ	ノジトラノオ		○											VU	VU	EN	
	リンドウ	リンドウ			○												CR	
	ミツガシラ	アサザ			○										NT	EN		
	ガガイモ	スズサイコ		○											NT	NT	VU	
		ガガイモ	○															
	アカネ	ヤエムグラ	○															
		ヘクソカズラ	○															
	ヒルガオ	ヒルガオ	○															
		マルバルコウ	○															
	ムラサキ	ハナイバナ		○														VU
		イヌムラサキ		○														CR
		ヒレハリソウ	○															
		キュウリグサ	○															
	シソ	ムシャリンドウ			○										VU	EN	EX	●
		カキドオシ	○															
		ホトケノザ	○															
		ヒメオドリコソウ	○															
	ナス	クコ	○															
		ヤマホロシ		○														NT
		イヌホオズキ	○															
	フジウツギ	フジウツギ		○														NT
	ゴマノハグサ	アゼナ	○															
		サギゴケ		○														NT
		オオヒナノウスツボ		○														NT
		ビロードモウズイカ	○															
		タチイヌノフグリ	○															
		オオイヌノフグリ	○															
		カワヂシャ		○											NT	NT	NT	
	タヌキモ	タヌキモ			○									NT			◎	
	オオバコ	オオバコ	○															
		ヘラオオバコ	○															
	オミナエシ	オミナエシ			○												NT	
	マツムシソウ	マツムシソウ			○												CR	
	キキョウ	ホタルブクロ		○														CR
		シデシヤジン		○														VU
キキョウ			○	○										VU	NT	EN	●	
キク	オオブタクサ	○																
	カワラヨモギ	○																
	ヨモギ	○																
	オオヨモギ	○																
	ヒロハホウキギク	○																
	アメリカセンダングサ	○																
	モミジガサ		○														VU	
	ヒレアザミ	○																
	トキンソウ	○																
	オオアレチノギク	○																
	コスモス	○																
	アメリカタカサブロウ	○																
	ヒメムカシヨモギ	○																
	ハルジオン	○																
	ハキダメギク	○																

表 2-3-17(4) 調査範囲の植物

門	科名	種名	文献調査			注目の根拠														
			A	B	C	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨						
種子植物	キク	キクイモ	○																	
		キツネアザミ	○																	
		ヤナギタンポポ		○														EN		
		アキノノゲシ	○																	
		トゲチシャ	○																	
		コオニタビラコ		○	○													VU	○	
		セイタカアワダチソウ	○																	
		オオアワダチソウ	○																	
		オニノゲシ	○																	
		ノゲシ	○																	
		ヒメジョオン	○																	
		セイヨウタンポポ	○																	
		ウスギタンポポ		○														VU	CR	
		イガオナモミ	○																	
		オオオナモミ	○																	
		ヤクシソウ	○																	
	トチカガミ	ミズオオバコ		○	○										VU	VU	CR	◎		
	ヒルムシロ	ホソバミズヒキモ		○													NT	EN		
	ユリ	カタクリ		○	○													VU	○	
		キバナノアマナ		○														EN		
		クルマユリ			○														◎	
		アマナ		○	○												EN	EN	○	
	ヒガンバナ	キツネノカミソリ		○														VU		
	ヤマノイモ	ヤマノイモ	○																	
	アヤメ	キショウブ	○																	
	ツユクサ	ツユクサ	○																	
	イネ	カモジグサ	○																	
		コヌカグサ	○																	
		ノハラスズメノテッポウ	○																	
		スズメノテッポウ	○																	
		カズノコグサ		○															CR	
		ヤクナガイヌムギ	○																	
		イヌムギ	○																	
		スズメノチャヒキ	○																	
		ヒゲナガスズメノチャヒキ	○																	
		アレチノチャヒキ	○																	
		ウマノチャヒキ	○																	
		ギョウギシバ	○																	
		メヒシバ	○																	
		アキメヒシバ	○																	
		イヌビエ	○																	
		ケイヌビエ	○																	
		オヒシバ	○																	
		スズメガヤ	○																	
		シナダレスズメガヤ	○																	
		カゼクサ	○																	
		ニワホコリ	○																	
		コスズメガヤ	○																	
		オニウシノケグサ	○																	
		ヒロハノウシノケグサ	○																	
		ムギクサ	○																	
チガヤ		○																		
アシカキ			○														NT	VU		
ネズミムギ		○																		
ホソムギ		○																		
オギ		○																		
ススキ		○																		
ヌカキビ		○																		
オオクサキビ		○																		
クサヨシ	○																			
ヨシ	○																			
ツルヨシ	○																			

表 2-3-17(5) 調査範囲の植物

門	科名	種名	文献調査			注目の根拠															
			A	B	C	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨							
種子植物	イネ	スズメノカタビラ	○																		
		ナガハグサ	○																		
		イチゴツナギ	○																		
		オオスズメノカタビラ	○																		
		アキノエノコログサ	○																		
		キンエノコロ	○																		
		エノコログサ	○																		
		ムラサキエノコロ	○																		
		メガルカヤ		○																	CR
		ナギナタガヤ	○																		
	サトイモ	ウラシマソウ		○								県指				VU		CR			
	カヤツリグサ	メアオスゲ	○																		
		ヌマガヤツリ		○													EN		EN		
		コゴメガヤツリ	○																		
		カヤツリグサ	○																		
		アオガヤツリ	○																		
	ラン	ギンラン		○	○												NT		VU	◎	
		ササバギンラン			○															◎	
		サイハイラン		○															EN		
		シュンラン		○															VU		
		カキラン			○												NT			●	
シロテンマ			○											CR			CR				
ミヤマモジズリ				○													EN		●		

備考1) 資料調査のA～Cは表2-3-7及び次に示すとおりである。

A:「河川環境データベース(河川水辺の国勢調査)」(国土交通省ホームページ)に示されている対象種

B:「千曲市レッドデータブック」(平成23年2月 千曲市)に示されている対象種

C:「大切にしたい長野市の自然(長野市版レッドデータブック)」(平成15年3月 長野市)に示されている対象種

備考2) 注目の根拠の①～⑨は表2-3-6及び次に示す法令、文献の番号と一致し、当該法令、文献における指定状況を示している。各指定状況の内容は、略称であり、それぞれ次のことを示している。

① 特天:特別天然記念物 国天:国指定天然記念物

② 県天:県指定天然記念物

③ 千天:千曲市指定天然記念物 長天:長野市指定天然記念物

④ 国際:国際希少野生動植物種 国内:国内希少野生動植物種 特定:特定国内希少野生動植物種 緊急:緊急指定種

⑤ 県特:特別希少野生動植物種 県指:指定希少野生動植物種

⑥ EX:絶滅 EW:野生絶滅 CR+EN:絶滅危惧I類 CR:絶滅危惧IA類 EN:絶滅危惧IB類 VU:絶滅危惧II類  
NT:準絶滅危惧 DD:情報不足 LP:地域個体群

⑦ EX:絶滅 EW:野生絶滅 CR+EN:絶滅危惧I類 CR:絶滅危惧IA類 EN:絶滅危惧IB類 VU:絶滅危惧II類  
NT:準絶滅危惧 DD:情報不足 LP:地域個体群 N:留意種

⑧ EX:絶滅 EW:野生絶滅 CR+EN:絶滅危惧I類 CR:絶滅危惧IA類 EN:絶滅危惧IB類 VU:絶滅危惧II類  
NT:準絶滅危惧 DD:情報不足 LP:地域個体群 N:留意種

⑨ [身近な減少種] ●:減少極めて著しい ◎:減少著しい ○:減少

[注目種] ■:近年生息を確認できない種 □今後の減少が予測される種

## 2) 特定植物群落

「長野県自然環境情報図（第3回自然環境保全基礎調査）」（平成元年 環境庁）によると、対象事業実施区域及びその周囲における特定植物群落の分布状況は、図 2-3-17 に示すとおりである。

対象事業実施区域 4 km 圏内には特定植物群落は存在していないものの、南西約 5 km に“武水別神社のケヤキ林（図中番号A）”が存在している。

## 3) 巨樹・巨木林

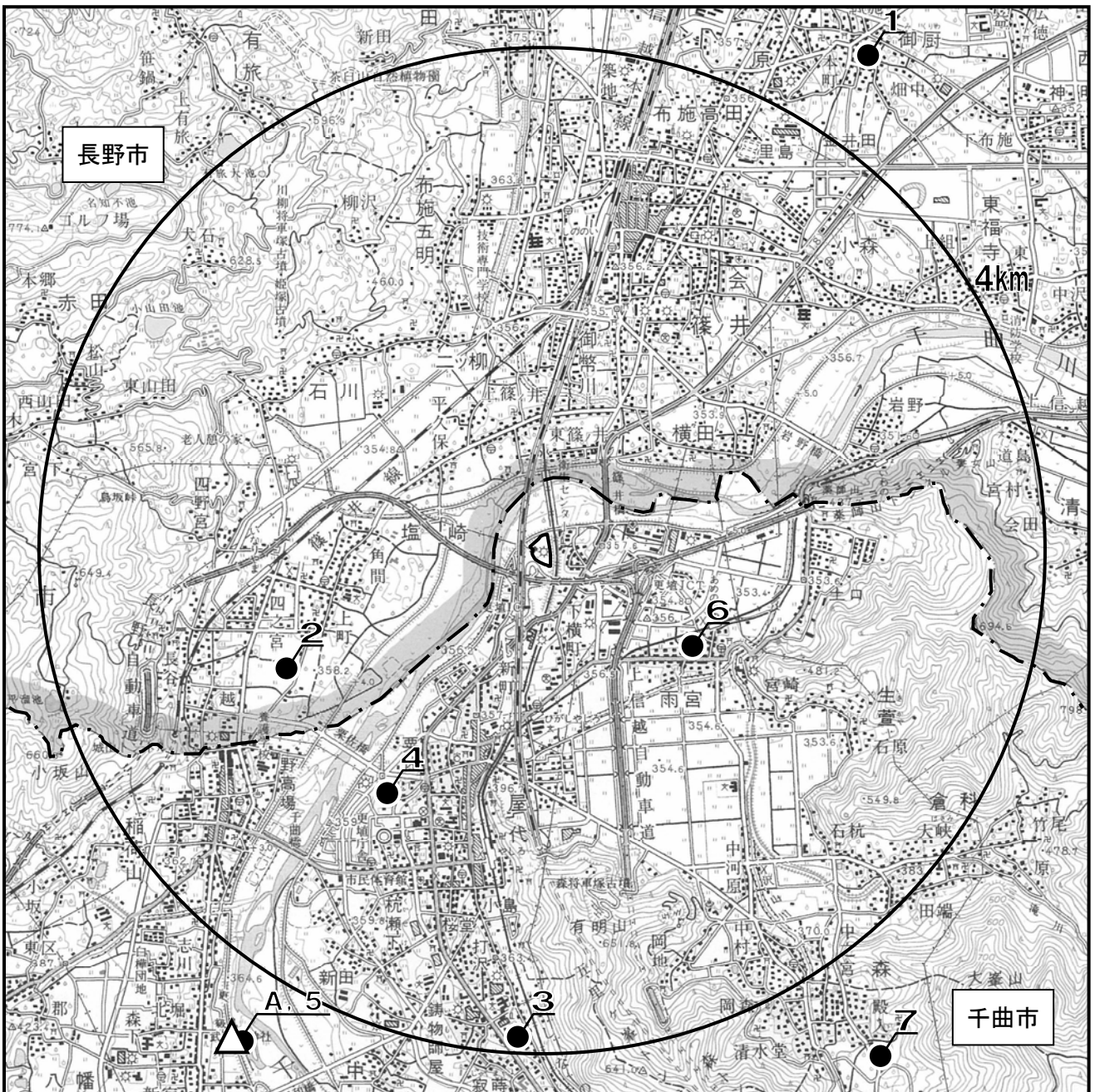
「長野県自然環境情報図（第4回自然環境保全基礎調査）」（平成7年 環境庁）によると、対象事業実施区域及びその周囲における巨樹・巨木林の分布状況は、図 2-3-16 及び表 2-3-18 に示すとおりである。

表 2-3-18 巨樹・巨木林

図中番号	樹種名	所在地	呼称
1	ケヤキ	長野市平井組	—
2	ケヤキ	長野市上町	—
3	ケヤキ	更埴市寂蒔	—
4	ケヤキ	更埴市粟佐	—
5	ケヤキ	更埴市武水別神社	武水別神社社叢
6	ケヤキ	更埴市雨宮法倫寺	—
7	ケヤキ	更埴市森上平	—

注) 更埴市は、平成 15 年 9 月の合併に伴い、現在千曲市となっている。

出典：「長野県自然環境情報図（第4回自然環境保全基礎調査）」（平成7年 環境庁）



凡 例

- 対象事業実施区域
- 市界
- 特定植物群落
- 巨樹・巨木林

出典：次の出典を基に作成した。

- 「長野県自然環境情報図（第3回自然環境保全基礎調査）」  
(平成元年 環境庁)
- 「長野県自然環境情報図（第4回自然環境保全基礎調査）」  
(平成7年 環境庁)

この地図は、50,000分の1「千曲市全図」（平成20年8月 千曲市）及び国土  
地理院50,000分の1「長野」（平成10年2月）を使用したものである。

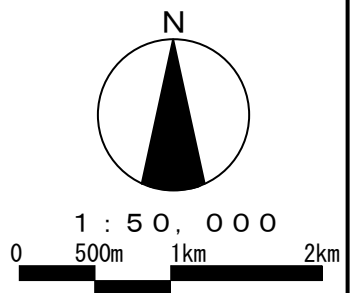


図 2-3-17 対象事業実施区域及びその周囲における  
特定植物群落及び巨樹・巨木林の状況

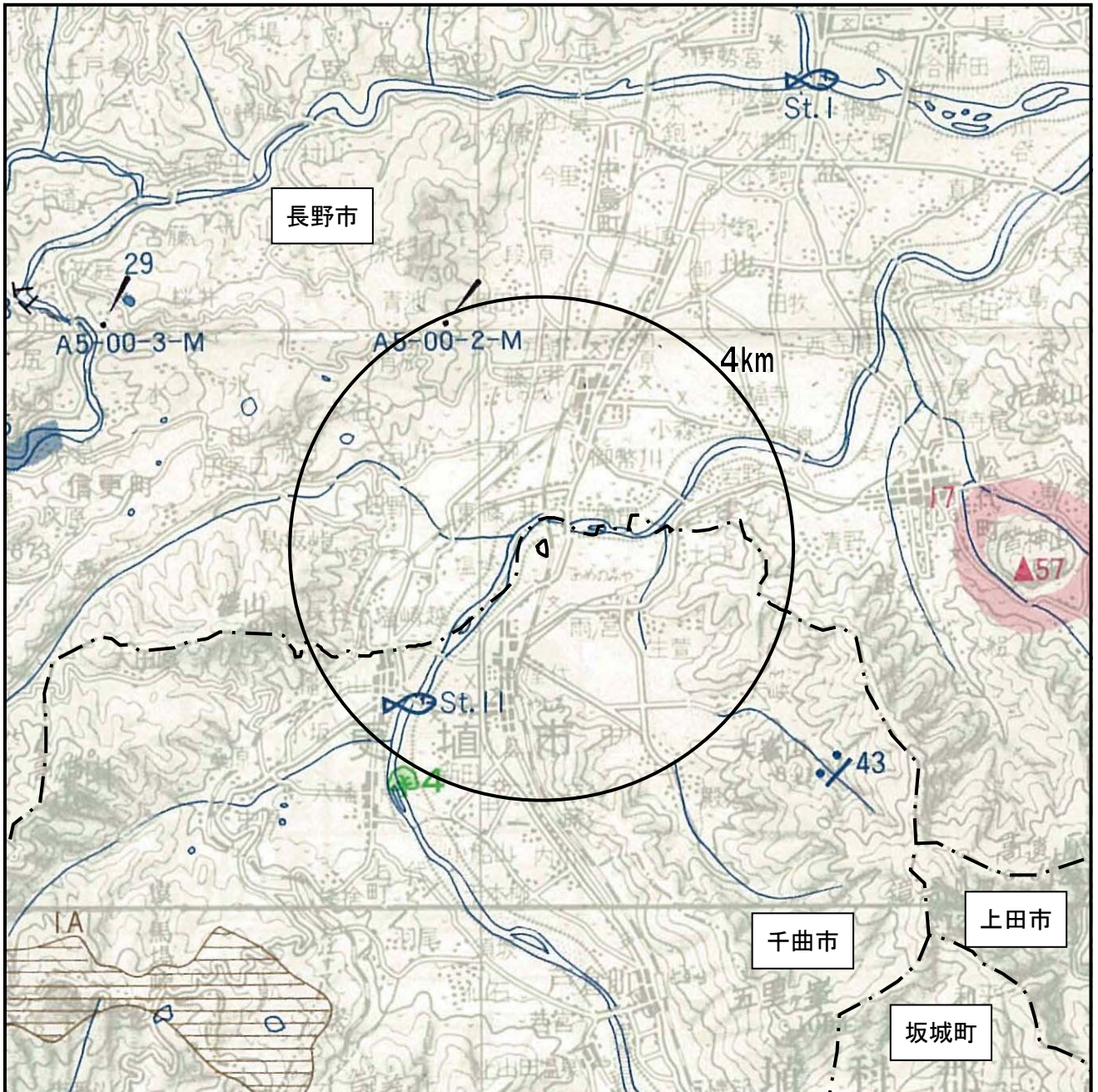


## 2.3.5 景観、文化財の状況

### 1 自然景観資源

対象事業実施区域及びその周囲の自然景観資源は、図 2-3-18 に示すとおりである。

「長野県自然環境情報図（第3回自然環境保全基礎調査）」（平成元年 環境庁）によると、対象事業実施区域及びその周囲に自然景観資源は存在しない。



凡 例

対象事業実施区域     
  市町境

		特定植物群落	4	武水別神社のケヤキ林
	A1-01	火山郡	17	皆神山
	A1-02	火山	57	皆神山
	A2-03	非火山性高原(台地状)	1A	聖高原
	A5-00	地滑り・山崩れ		
	B1-10	滝	43	三滝
	B2-01	湖沼	29	涌池
		魚類調査地点(番号)		

出典：200,000分の1「第3回自然環境保全基礎調査 長野県自然環境情報図」  
 (平成元年 環境庁)

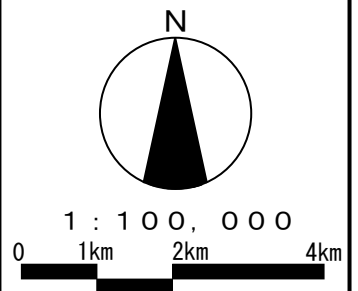


図 2-3-18 対象事業実施区域及びその周囲における主な自然景観資源

## 2 主な眺望点

対象事業実施区域及びその周囲における主な眺望点は、表 2-3-19 及び図 2-3-19 に示すとおりである。

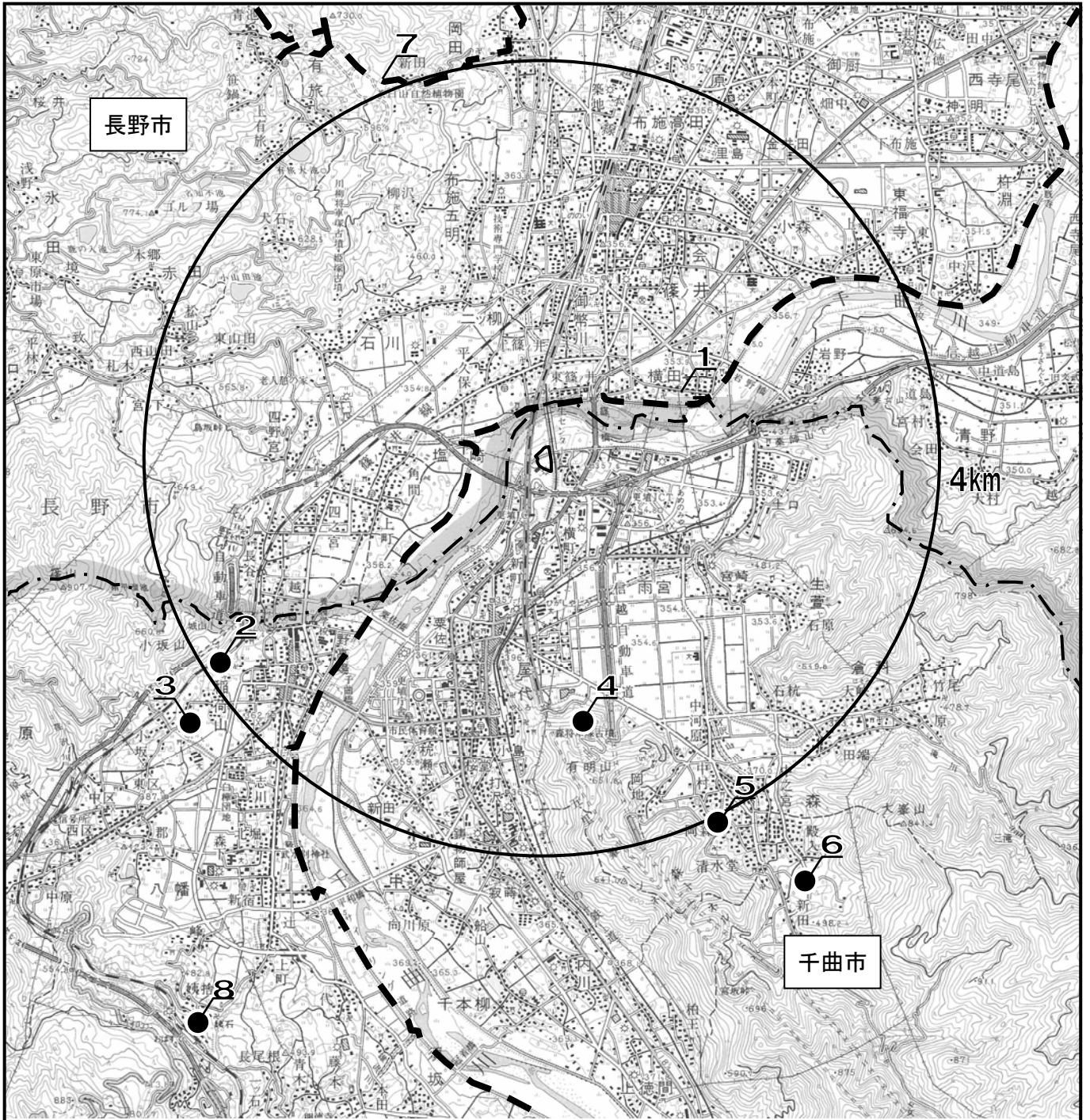
また、対象事業実施区域から約 6.5km の地点に、姨捨の棚田がある。姨捨の棚田は、日本の棚田百選に選定されている。また、その一部は国の重要文化的景観「姨捨の棚田」に選定されているとともに、国の名勝「姨捨（田毎の月）」に指定されている。

表 2-3-19 主な眺望点の状況

番号	名称
1	千曲川サイクリングロード (県道上田千曲長野自転車道線)
2	稲荷山公園
3	治田公園
4	森將軍塚古墳
5	薬師山展望台
6	上平屋展望台
7	篠ノ井茶臼山トレッキングコース
8	姨捨の棚田

出典：「ながのトレッキングマップ」(長野広域連合)  
「篠ノ井茶臼山トレッキングコース」(長野市)  
「信州千曲市」(千曲市経済部観光課)  
「千曲市ご案内図 飲食店・観光案内マップ」(千曲市観光協会)





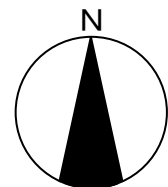
凡 例

- 対象事業実施区域
- 主な眺望点
- 市境

出典：次の出典を基に作成した。

- 「ながのトレッキングマップ」(長野広域連合)
- 「篠ノ井茶臼山トレッキングコース」(長野市)
- 「信州千曲市」(千曲市経済部観光課)
- 「千曲市ご案内図 飲食店・観光案内マップ」(千曲市観光協会)

この地図は、50,000分の1「千曲市全図」(平成20年8月 千曲市)及び国土地理院50,000分の1「長野」(平成10年2月)を使用したものである。



1 : 60,000

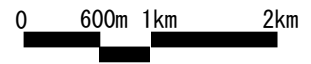


図 2-3-19 対象事業実施区域及びその周囲における主な眺望点

### 3 文化財

対象事業実施区域及びその周囲における文化財の分布状況は、表 2-3-20 及び図 2-3-20 に示すとおりである。

表 2-3-20 対象事業実施区域及びその周囲における文化財

番号	区分		名称	所在地								
1	国指定	記念物	史跡	埴科古墳群 (森將軍塚古墳、有明山將軍塚古墳、 倉科將軍塚古墳、土口將軍塚古墳)	千曲市大字森 長野市松代町岩野 ほか							
2				川柳將軍塚、姫塚古墳	長野市篠ノ井石川							
3				特別天然記念物	カモシカ	地域を定めず						
4					ライチョウ	地域を定めず						
5				天然記念物	天然記念物	柴犬	地域を定めず					
6						イヌワシ	地域を定めず					
7						ヤマネ	地域を定めず					
8	国登録	有形文化財	登録有形文化財(建造物)	龍洞院架道橋	千曲市大字桑原字小坂							
9				滝沢川橋梁	千曲市大字稲荷山							
10				日本クレーン協会長野支部博物館 (旧池田警察署庁舎)	長野市篠ノ井布施五明							
11	県指定	有形文化財	県宝(建造物)	武水別神社摂社高良社本殿	千曲市大字八幡							
12				松田家住宅主屋	千曲市大字八幡							
13				林正寺本堂および表門	長野市松代町清野							
14		記念物	史跡	武水別神社松田家館跡	千曲市大字八幡							
15				土口將軍塚古墳	長野市松代町岩野							
16				天然記念物	天然記念物	武水別神社社叢	千曲市大字八幡					
17						ミヤマモンキチョウ	地域を定めず					
18						ミヤマシロチョウ	地域を定めず					
19						クモマツマキチョウ	地域を定めず					
20						タカネヒカゲ	地域を定めず					
21						ベニヒカゲ	地域を定めず					
22						クモマベニヒカゲ	地域を定めず					
23						オオイチモンジ	地域を定めず					
24						コヒオドシ	地域を定めず					
25						タカネキマダラセセリ	地域を定めず					
26						ヤリガタケシジミ	地域を定めず					
27						ホンシュウモモンガ	地域を定めず					
28						ホンドオコジョ	地域を定めず					
29						ヤツガシラ	地域を定めず					
30						ブッポウソウ	地域を定めず					
31						市指定	有形文化財	建造物	屋代小学校旧本館	千曲市大字屋代		
32									武水別神社神宮 松田邸	千曲市大字八幡		
33									石造多層塔	長野市篠ノ井二ツ柳		
34									有旅の高札場	長野市篠ノ井有旅		
35									記念物	史跡	屋代城跡	千曲市大字屋代
36											塚穴古墳	千曲市大字稲荷山
37							北山古墳	千曲市大字生萱				
38							白塚古墳	千曲市大字森				
39							中郷神社前方後円墳	長野市篠ノ井塩崎				
40							鶴萩古墳	長野市篠ノ井塩崎				
41	池ノ上古墳	長野市篠ノ井塩崎										
42	丸山古墳群第4号墳	長野市篠ノ井石川										
43	越將軍塚古墳	長野市篠ノ井塩崎										
44	横田城跡	長野市篠ノ井会										
45	天然記念物	天然記念物	お稲荷様の櫓	千曲市大字森								
46			中郷神社の社叢	長野市篠ノ井塩崎								

注) 表中の文化財は、主に屋外に存在している有形文化財(建造物)、記念物(史跡、天然記念物)とした。

出典: 「国指定文化財等データベース」(文化庁ホームページ)

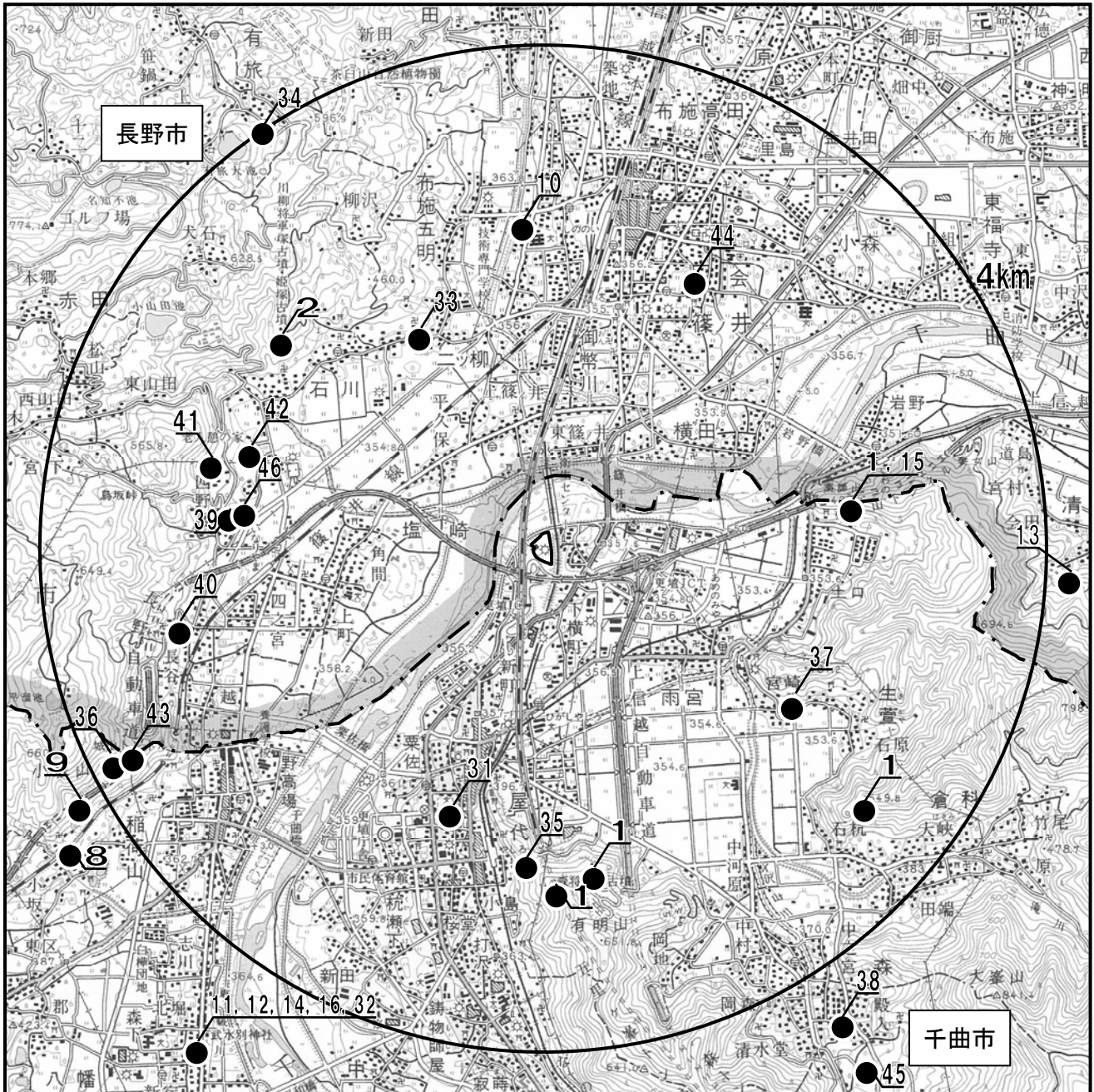
「信州の文化財検索」(公益財団法人八十二文化財団ホームページ)

「文化財情報」(長野県ホームページ)

「千曲市文化財一覧」(千曲市ホームページ)

「長野市の文化財リスト」(長野市ホームページ)





凡 例

- 対象事業実施区域
- 市界
- 文化財位置

出典：次の出典を基に作成した。

- 「国指定文化財等データベース」（文化庁ホームページ）
- 「信州の文化財検索」（公益財団法人八十二文化財団ホームページ）
- 「文化財情報」（長野県ホームページ）
- 「千曲市文化財一覧」（千曲市ホームページ）
- 「長野県千曲市遺跡分布図」（平成 20 年 3 月 千曲市教育委員会）
- 「長野市の文化財リスト」（長野市ホームページ）

この地図は、50,000 分の 1「千曲市全図」（平成 20 年 8 月 千曲市）及び国土地理院 50,000 分の 1「長野」（平成 10 年 2 月）を使用したものである。

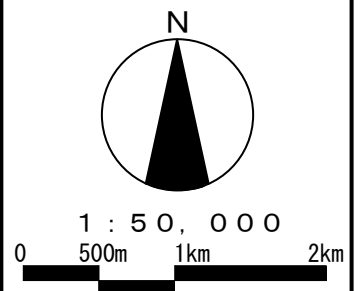


図 2-3-20 対象事業実施区域及びその周囲における文化財の位置

また、対象事業実施区域及びその周囲における周知の埋蔵文化財包蔵地の分布状況は、表 2-3-21 及び図 2-3-21 に示すとおりである。

対象事業実施区域内に周知の埋蔵文化財包蔵地は確認されていない。

表 2-3-21 対象事業実施区域及びその周囲における周知の埋蔵文化財包蔵地

No.	遺跡名	所在地	種別	年代	備考
A	城ノ内遺跡	千曲市大字屋代字城ノ内	集落跡	縄～中	遺跡の存在が確認されている。
B	竜王遺跡	千曲市大字屋代字高畑	散布地	弥～平	遺跡の内容が不確定及び破壊されている。

注) 年代の記号の詳細は、次のとおりである。

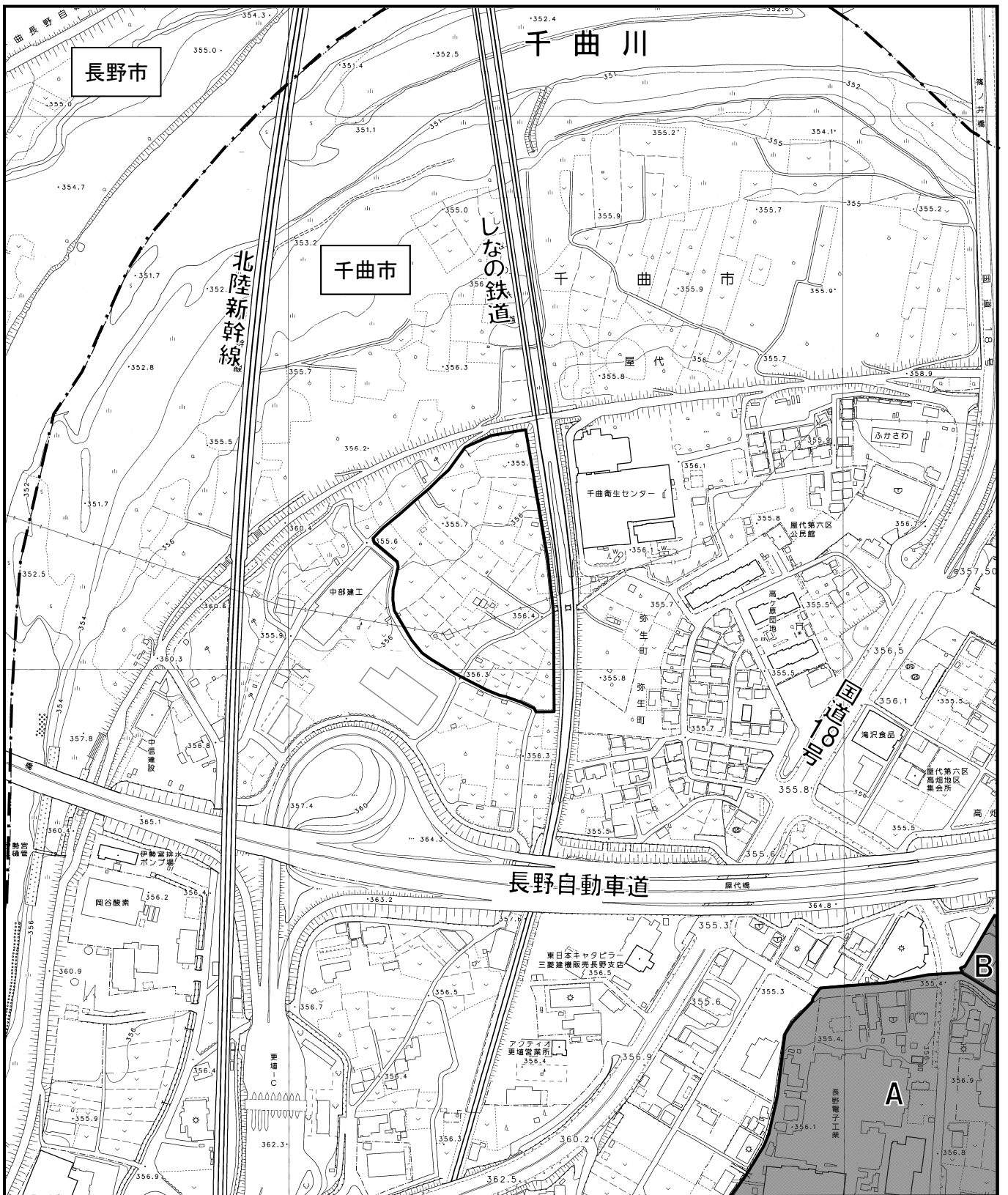
縄：縄文時代

弥：弥生時代




平：平安時代

中：中世（鎌倉時代、室町時代、安土桃山時代）

出典：「長野県千曲市遺跡分布図」（平成 20 年 3 月 千曲市教育委員会）

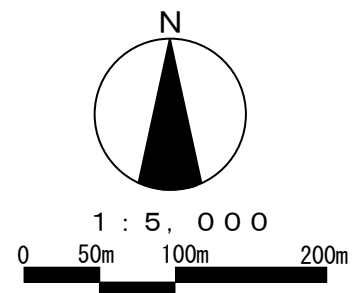


凡 例

-  対象事業実施区域
-  市界
-  周知の埋蔵文化財包蔵地

出典：「長野県千曲市遺跡分布図」（平成 20 年 3 月 千曲市教育委員会）を基に作成  
 この地図は、2,500 分の 1「千曲市都市計画基本図No.1、No.8」（平成 18 年 千曲市）に  
 加筆したものである。

図 2-3-21 対象事業実施区域及びその周囲における  
 周知の埋蔵文化財包蔵地の位置



## 2.3.6 触れ合い活動の場の状況

### 1 主な人と自然との触れ合い活動の場の状況

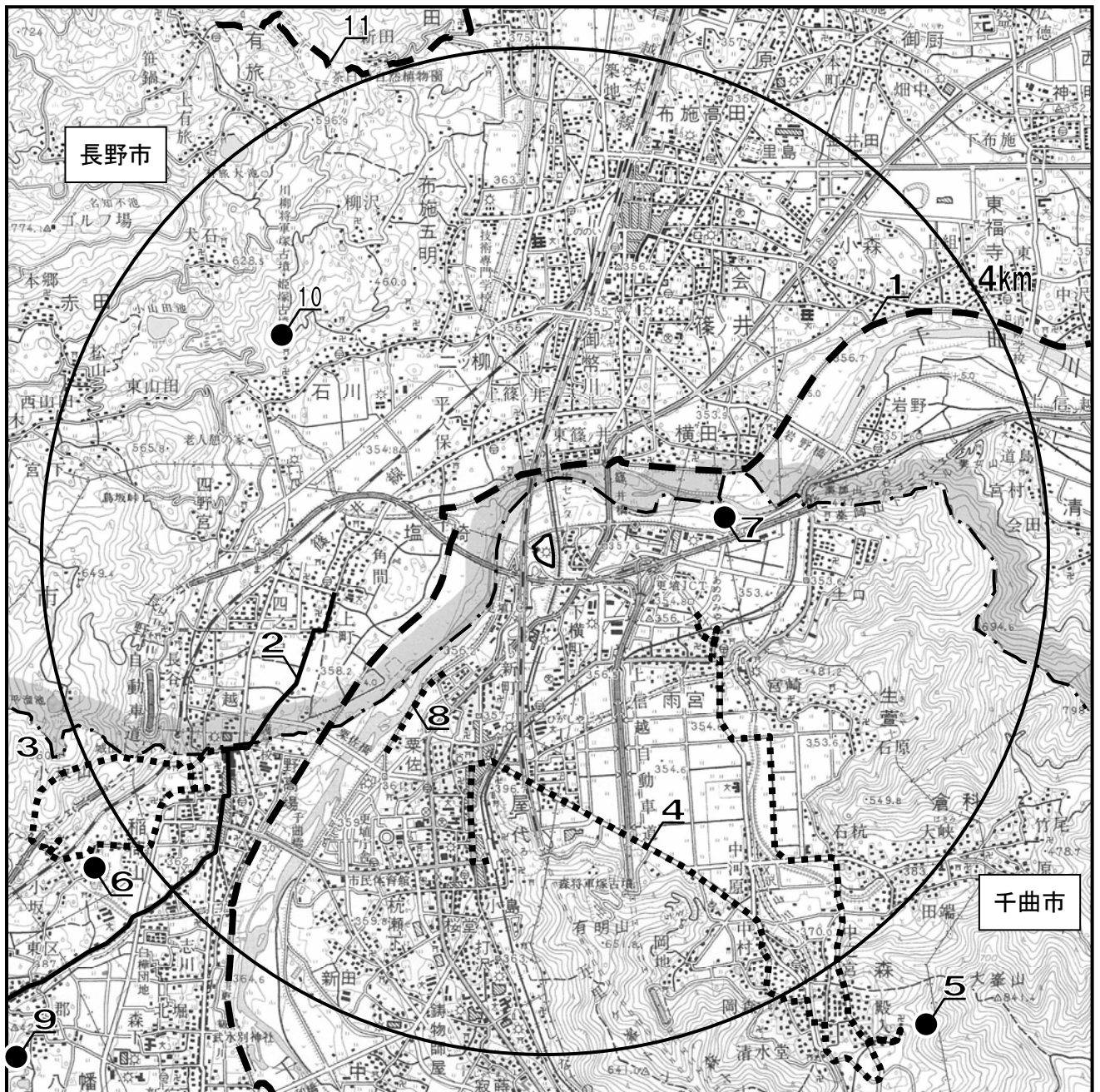
対象事業実施区域及びその周囲における主な人と自然との触れ合い活動の場は、表 2-3-22 及び図 2-3-22 に示すとおりである。

対象事業実施区域に最寄の人と自然との触れ合い活動の場としては、千曲川サイクリングロード(県道上田千曲長野自転車道線)があげられる。




表 2-3-22 主な人と自然との触れ合い活動の場の状況

番号	名称
1	千曲川サイクリングロード (県道上田千曲長野自転車道線)
2	トレッキングコース(善光寺通コース)
3	篠山トレッキングコース
4	あんずの里のハイキングコース
5	観龍寺大峰自然探勝園
6	治田公園
7	千曲川ふれあい緑地
8	栗佐桜つつみ
9	大雲寺自然探勝園
10	川柳将軍塚自然探勝園
11	篠ノ井茶臼山トレッキングコース

出典：「ながのトレッキングマップ」(長野広域連合)  
「篠ノ井茶臼山トレッキングコース」(長野市)  
「信州千曲市」(千曲市経済部観光課)  
「千曲市ご案内図 飲食店・観光案内マップ」(千曲市観光協会)



凡 例

-  対象事業実施区域
-  市界
-  主な人と自然との触れ合い活動の場

出典：次の出典を基に作成した。  
 「ながのトレッキングマップ」（長野広域連合）  
 「篠ノ井茶臼山トレッキングコース」（長野市）  
 「信州千曲市」（千曲市経済部観光課）  
 「千曲市ご案内図 飲食店・観光案内マップ」（千曲市観光協会）

この地図は、50,000分の1「千曲市全図」（平成20年8月 千曲市）及び国土地理院50,000分の1「長野」（平成10年2月）を使用したものである。

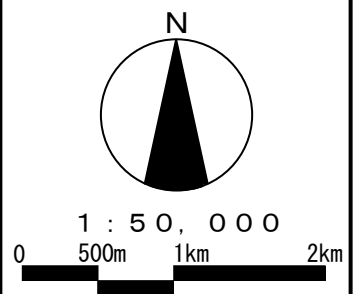


図 2-3-22 対象事業実施区域及びその周囲における  
 主な人と自然との触れ合い活動の場

## 2 自然公園

「長野県環境白書」によると長野県には、国立公園が4地域、国定公園が3地域及び県立自然公園が6地域指定されているが、対象事業実施区域及びその周囲に自然公園に指定された地域はない。

## 3 自然環境保全地域

対象事業実施区域及びその周囲において、自然環境保全地域に指定されている地域はない。なお、最寄りの自然環境保全地域としては、長野市北部の逆谷地湿原が指定されている。

## 4 郷土環境保全地域

対象事業実施区域及びその周囲における郷土環境保全地域は、表 2-3-23 及び図 2-3-23 に示すとおりである。

対象事業実施区域及びその周囲では、3つの地域が郷土環境保全地域に指定されている。

表 2-3-23 郷土環境保全地域

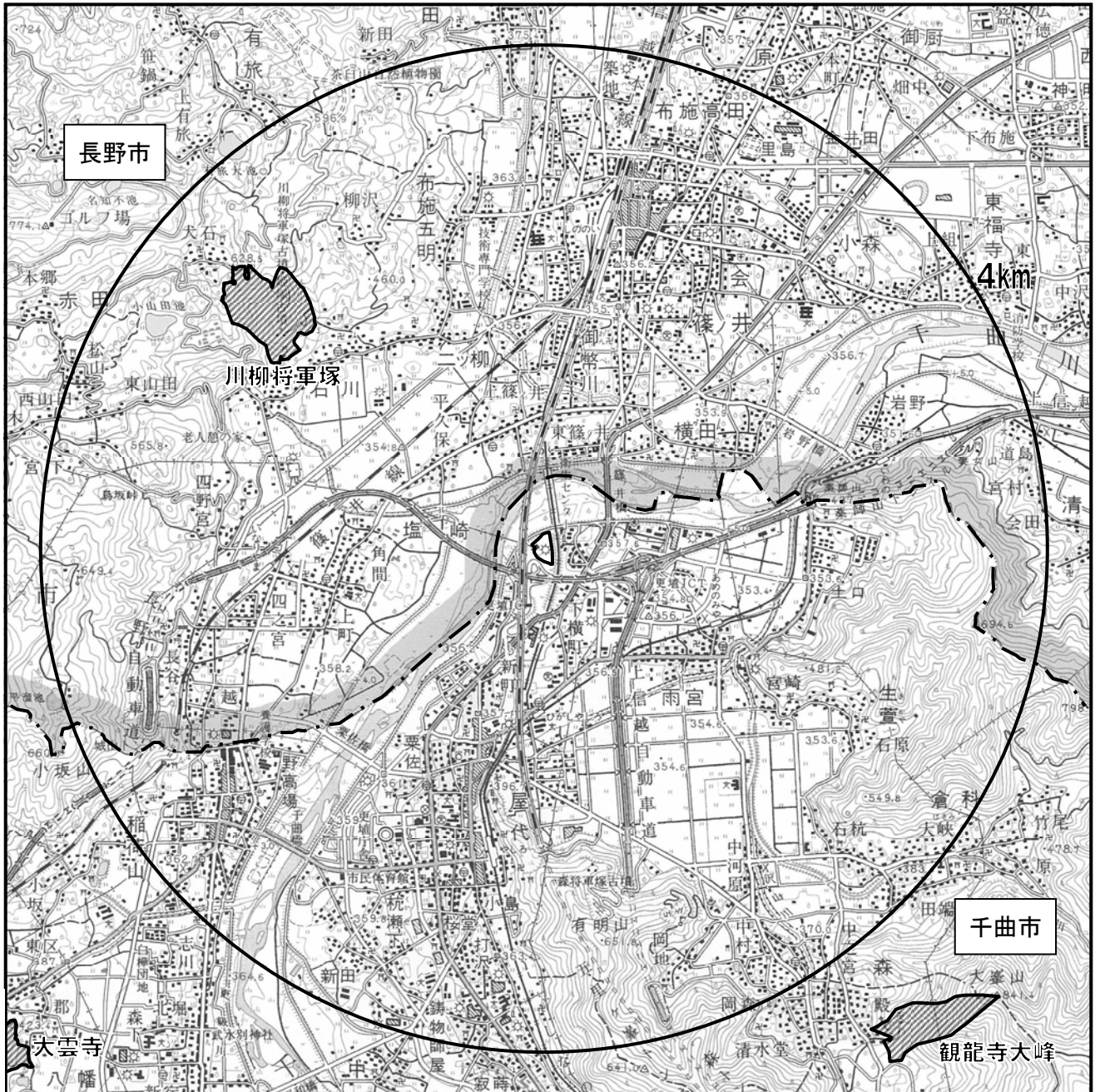
地域名	面積	指定年月日	指定理由
観龍寺大峰	22.93ha	昭和54年10月1日	郷土的・歴史的
大雲寺	9.80ha	昭和57年9月30日	市街地周辺・郷土的・歴史的
川柳将軍塚	34.80ha	昭和55年3月31日	郷土的・歴史的

出典：「長野県統合型地理情報システム」（長野県ホームページ）




## 5 風致地区

対象事業実施区域及びその周囲に、風致地区に指定された地域はない。





凡 例

-  対象事業実施区域
-  市界
-  郷土環境保全地域

出典：「しんしゅうくらしのマップ」（長野県ホームページ）を基に作成

この地図は、50,000分の1「千曲市全図」（平成20年8月 千曲市）及び国土地理院50,000分の1「長野」（平成10年2月）を使用したものである。

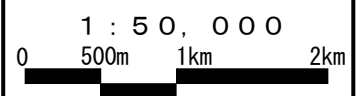
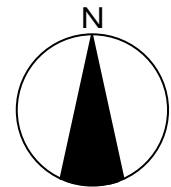


図 2-3-23 郷土環境保全地域の位置

## 2.3.7 大気質・水質等の状況

### 1 公害苦情の現況

対象事業実施区域を含む千曲市における、公害に関する苦情件数の推移は表 2-3-24 及び図 2-3-24 に示すとおりである。

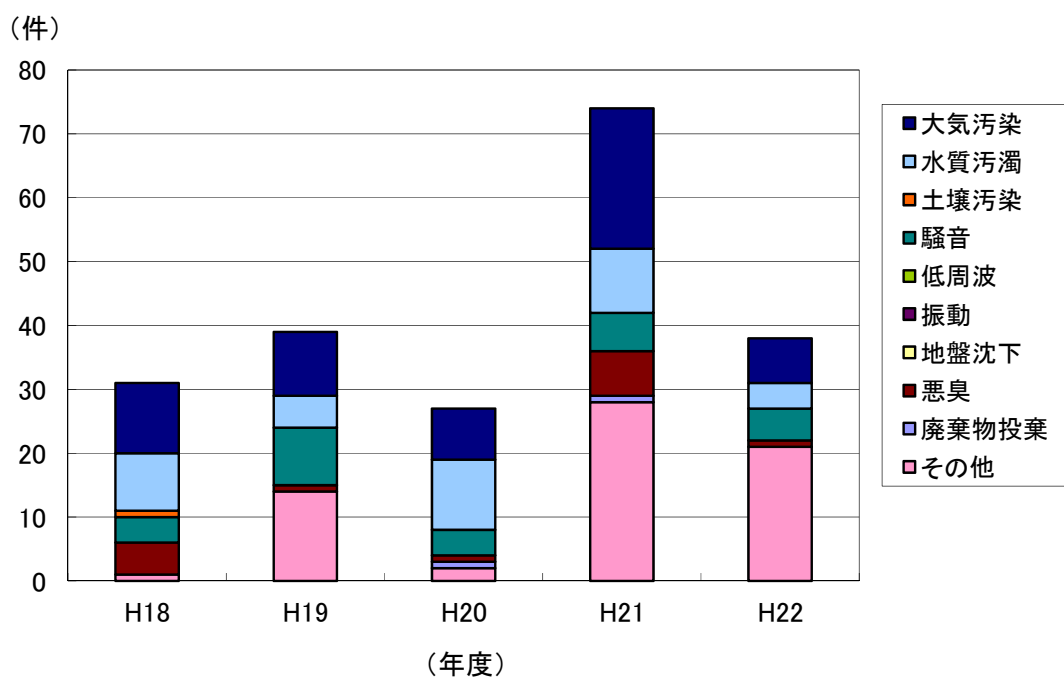
平成 22 年度の公害に関する苦情の受付件数は 38 件である。苦情の種別としては“その他”が最も多く、次いで“大気汚染”、“騒音”となっている。

表2-3-24 千曲市における公害苦情件数（平成18～22年度）

単位：件

区分		平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
典型 7 公害	大気汚染	11	10	8	22	7
	水質汚濁	9	5	11	10	4
	土壌汚染	1	0	0	0	0
	騒音	4	9	4	6	5
	低周波	0	0	0	0	0
	振動	0	0	0	0	0
	地盤沈下	0	0	0	0	0
	悪臭	5	1	1	7	0
そ の 他	廃棄物投棄	0	0	1	1	1
	その他	1	14	2	28	21

出典：「市町村別・公害の種類別苦情件数」（千曲市提供資料）



出典：「市町村別・公害の種類別苦情件数」（千曲市提供資料）を基に作成

図2-3-24 千曲市における公害苦情件数の推移（平成18～22年度）

## 2 大気質

### 1) 大気汚染調査の状況

事業実施区域及びその周囲における大気汚染調査の状況は表 2-3-25 及び図 2-3-25 に示すとおりである。一般環境大気測定局（以下、「一般局」という）が1局、自動車排ガス測定局（以下、「自排局」という）が1局配置されており、大気汚染に関する常時監視が行われている。

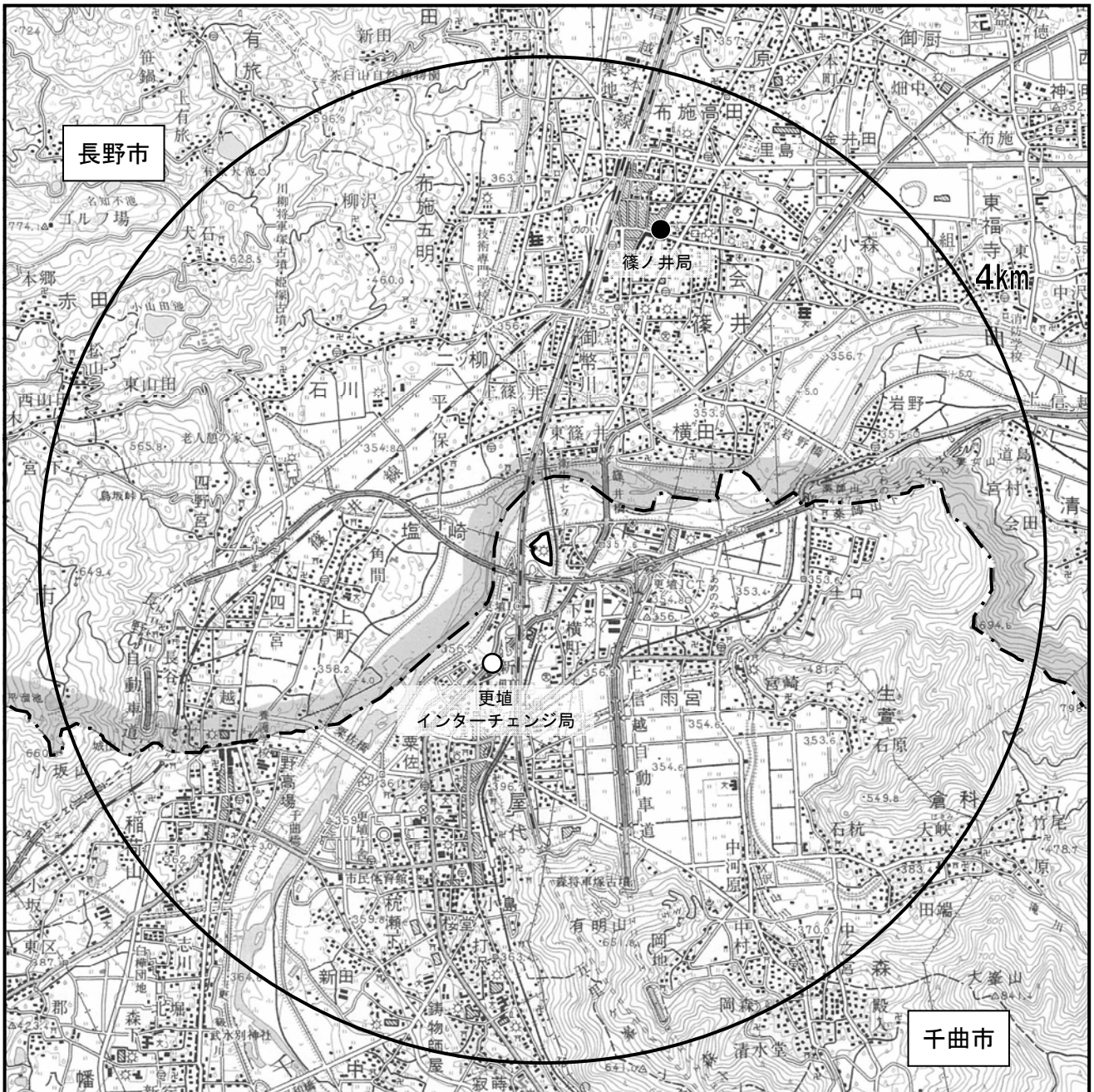
表 2-3-25 大気常時監視局所在地と測定項目

測定局			住所 (施設名 又は所在地)	測定項目										調査 機関
種別	局の名称	用途 地域の 区分		二酸化硫黄	一酸化窒素	二酸化窒素	浮遊粒子状物質	一酸化炭素	光化学オキシダント	微小粒子状物質	有害大気汚染物質	風向	風速	
一般局	篠ノ井局	第1種 住居地域	長野市篠ノ井 布施高田 701-1	○	○	○	○	-	○	-	○	○	○	長野市
自排局	更埴インター チェンジ局	準工業 地域	千曲市栗佐 1064-4	-	○	○	○	-	-	○	-	○	○	長野県

出典：「平成 22 年度の水質、大気及び化学物質測定結果について」（長野県ホームページ）

長野県提供資料

長野市提供資料



凡 例

- 対象事業実施区域
- 市境
- 一般局
- 自排局

出典：次の資料を基に作成。

「平成 22 年度の水質、大気及び化学物質測定結果について」（長野県ホームページ）  
 長野県提供資料  
 長野市提供資料

この地図は、50,000 分の 1「千曲市全図」（平成 20 年 8 月 千曲市）及び国土地理院 50,000 分の 1「長野」（平成 10 年 2 月）を使用したものである。

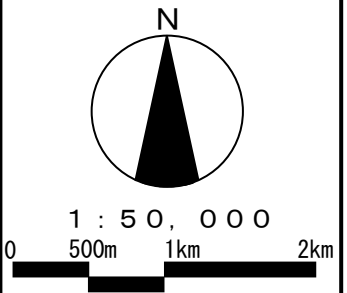


図 2-3-25 大気常時監視局の位置

2) 環境基準の達成状況

事業実施区域及びその周囲における平成 22 年度の環境基準の達成状況は、表 2-3-26 に示すとおりである。

表 2-3-26 大気汚染に係る環境基準と基準値適合状況（平成 22 年度）

項目		二酸化硫黄		二酸化窒素	浮遊粒子状物質		一酸化炭素		光化学オキシダント	微小粒子状物質	
基準値		日平均値が 0.04ppm 以下かつ 1 時間値が 0.1ppm 以下		日平均値が 0.04ppm～0.06ppm のゾーン内またはそれ以下	日平均値が 0.10mg/m <sup>3</sup> 以下かつ 1 時間値が 0.20 mg/m <sup>3</sup> 以下		日平均値が 10ppm 以下かつ 8 時間平均値が 20ppm 以下		1 時間値が 0.06ppm 以下	1 年平均値が 15 μg/m <sup>3</sup> 以下であり、かつ、1 日平均値が 35 μg/m <sup>3</sup> 以下	
評価方法		長期的評価	短期的評価	長期的評価	長期的評価	短期的評価	長期的評価	短期的評価	短期的評価	長期的評価	
										長期基準	短期基準
一般局	篠ノ井局	○	○	○	○	○	-	-	×	-	-
自排局	更埴インターチェンジ局	-	-	○	○	○	-	-	-	○	○

注 1) ○：環境基準に適合 ×：環境基準に不適合 -：調査なし

注 2) 環境基準の評価方法

<長期的評価>

- ・二酸化硫黄、浮遊粒子状物質、一酸化炭素  
年間における 1 日平均値の高いほうから 2% の値を除外した値で評価。  
ただし、1 日平均値が 2 日以上連続して環境基準を超えた時は基準超過とする。
- ・二酸化窒素  
年間における 1 日平均値の低いほうから 98% の値で評価。
- ・微小粒子状物質  
1 年平均値（長期基準）及び日平均値の代表値としての年間 98% 値（短期基準）により評価。

<短期的評価>

- ・二酸化硫黄、浮遊粒子状物質  
1 日平均値、1 時間値で評価
- ・一酸化炭素  
1 日平均値、8 時間平均値で評価
- ・光化学オキシダント  
1 時間値で評価

なお、大気汚染防止の施策等の効果の判定は、長期的評価で行う。

出典：「平成22年度の水質、大気及び化学物質測定結果について」（長野県ホームページ）

長野県提供資料

長野市提供資料

(1) 二酸化硫黄

対象事業実施区域の周囲における二酸化硫黄の測定結果（平成22年度）は表2-3-27に、過去5年間における日平均値の2%除外値の推移は図2-3-26に示すとおりである。

篠ノ井局では、いずれの年度においても環境基準を達成している。

表2-3-27 二酸化硫黄（SO<sub>2</sub>）の測定結果（平成22年度）

測定局	有効測定日数	測定時間	年平均値	環境基準の評価									
				長期的評価					短期的評価				
				日平均値の2%除外値	日平均値が0.04ppmを超えた日が2日以上連続の有無とその回数		評価 <sup>注1)</sup>	1時間値が0.1ppmを超えた時間数とその割合		日平均値が0.04ppmを超えた日数とその割合		1時間値の最高値	評価 <sup>注2)</sup>
日	時間	ppm	ppm	有無	回	○×	時間	%	日	%	ppm	○×	
一般局 篠ノ井局	356	8,500	0.002	0.003	無	0	○	0	0.0	0	0.0	0.024	○

注1) 環境基準の長期的評価・・・次の①及び②に適合した場合「達成」と評価し○で表示、①または②のどちらかに適合しなかった場合「非達成」と評価し×で表示した。

①日平均値の2%除外値が0.04ppm以下、②日平均値が0.04ppmを超えた日が2日以上連続しないこと。

注2) 環境基準の短期的評価・・・次の①及び②の両方に適合した場合「達成」と評価し○で表示、①または②のどちらかに適合しなかった場合「非達成」と評価し×で表示した。

①1時間値が0.1ppm以下、②日平均値がすべての有効日数で0.04ppm以下。

出典：「平成22年度の水質、大気及び化学物質測定結果について」（長野県ホームページ）

長野市提供資料

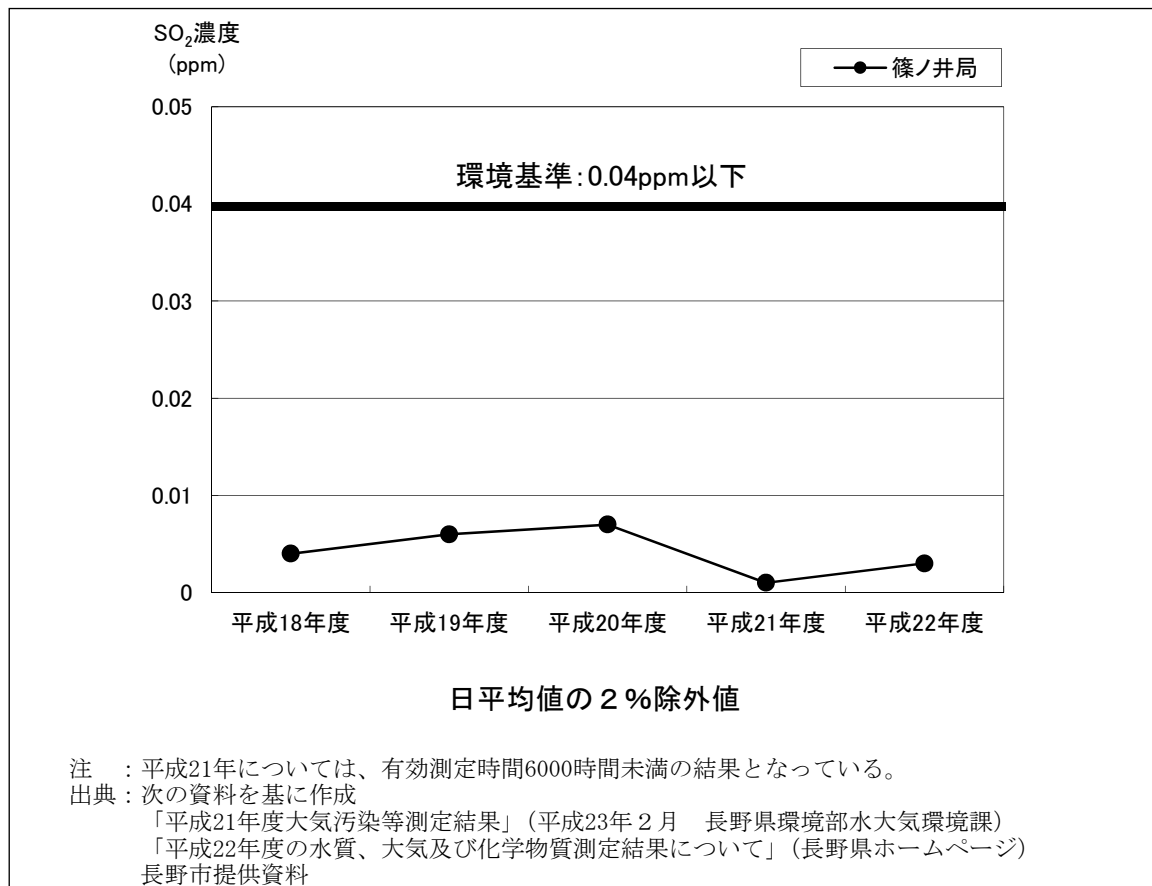


図2-3-26 二酸化硫黄（SO<sub>2</sub>）の経年変化



(2) 二酸化窒素

対象事業実施区域の周囲における二酸化窒素の測定結果（平成22年度）は表2-3-28に、過去5年間に於ける年間98%値の推移は図2-3-27に示すとおりである。

各測定局とも、いずれの年度においても環境基準を達成している。

表2-3-28 二酸化窒素（NO<sub>2</sub>）の測定結果（平成22年度）

測定局	有効測定日数	測定時間	年平均値	環境基準の評価						
				日平均値が0.06ppmを超えた日数とその割合		日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数とその割合		1時間値の最高値	日平均値の年間98%値	評価 <sup>注)</sup>
				日	%	日	%			
一般局 篠ノ井局	363	8,625	0.011	0	0.0	0	0.0	0.060	0.027	○
自排局 更埴インターチェンジ局	363	8,726	0.018	0	0.0	3	0.8	0.061	0.038	○

注) 環境基準の評価・・・次の①に適合した場合「達成」と評価し○で表示し、適合しなかった場合「非達成」と評価し×で表示した。

① 1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。

出典：「平成22年度の水質、大気及び化学物質測定結果について」（長野県ホームページ）

長野県提供資料

長野市提供資料

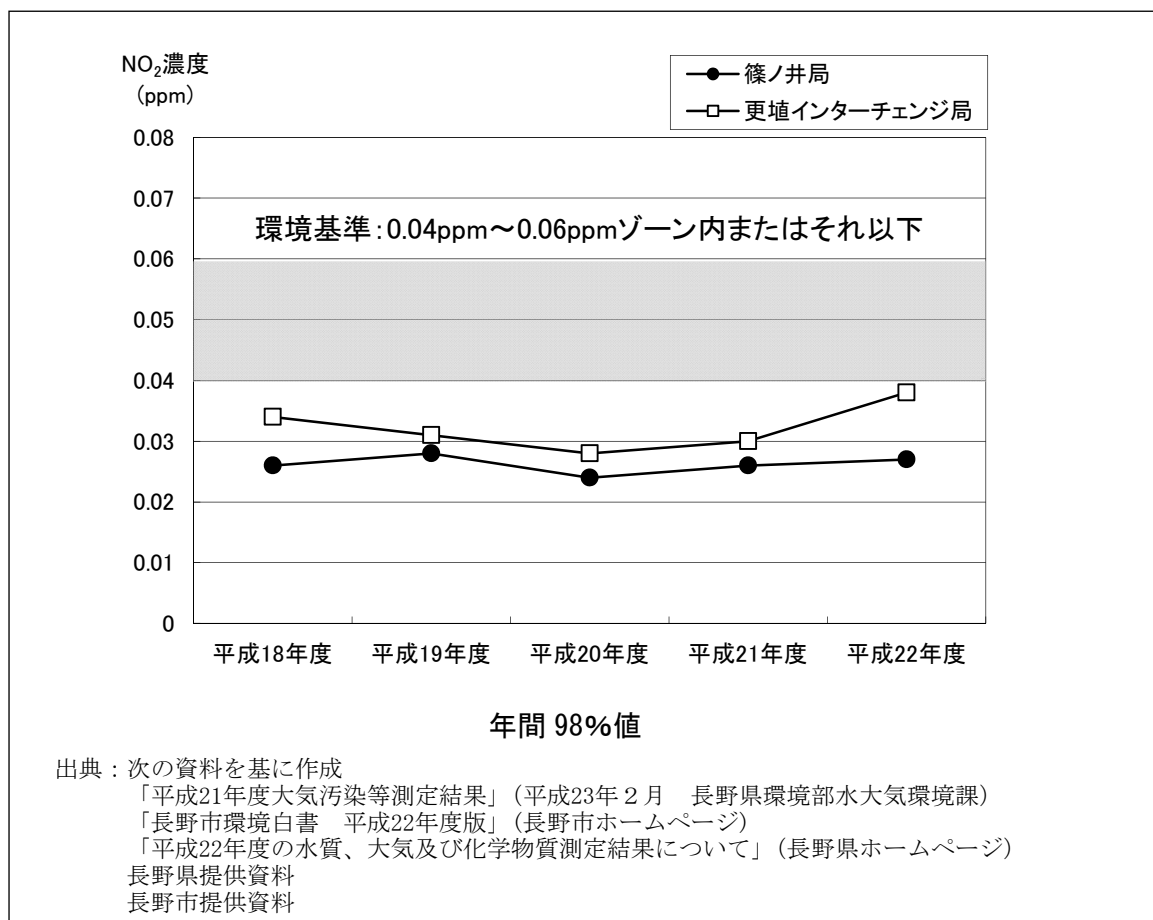


図2-3-27 二酸化窒素（NO<sub>2</sub>）の経年変化（平成18年度～22年度）

(3) 浮遊粒子状物質

対象事業実施区域の周囲における浮遊粒子状物質の測定結果（平成22年度）は表2-3-29に、過去5年間における日平均値の2%除外値の推移は図2-3-28に示すとおりである。

各測定局とも、いずれの年度においても環境基準を達成している。

表2-3-29 浮遊粒子状物質（SPM）の測定結果（平成22年度）

測定局		有効測定日数	測定時間	年平均値	環境基準の評価									
					長期的評価				短期的評価					
					日平均値の2%除外値	日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数が2日以上連続の有無とその回数		評価 <sup>注1)</sup>	1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> を超えた時間数とその割合		日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日数とその割合		1時間値の最高値	評価 <sup>注2)</sup>
						mg/m <sup>3</sup>	有無		回	時間	%	日		
日	時間	mg/m <sup>3</sup>	mg/m <sup>3</sup>	有無	回	○×	時間	%	日	%	mg/m <sup>3</sup>	○×		
一般局	篠ノ井局	333	8,049	0.020	0.048	無	0	○	0	0.0	0	0.0	0.135	○
自排局	更埴インターチェンジ局	361	8,635	0.024	0.054	無	0	○	0	0.0	0	0.0	0.159	○

注1) 環境基準の長期的評価・・・次の①及び②に適合した場合「達成」と評価し○で表示、①または②のどちらかに適合しなかった場合「非達成」と評価し×で表示した。

①日平均値の2%除外値が0.10mg/m<sup>3</sup>以下、②日平均値が0.10mg/m<sup>3</sup>を超えた日数が2日以上連続しないこと。

注2) 環境基準の短期的評価・・・次の①及び②の両方に適合した場合「達成」と評価し○で表示、①または②のどちらかに適合しなかった場合「非達成」と評価し×で表示した。

①1時間値が0.20mg/m<sup>3</sup>以下、②日平均値がすべての有効日数で0.10mg/m<sup>3</sup>以下。

出典：「平成22年度の水質、大気及び化学物質測定結果について」（長野県ホームページ）

長野県提供資料  
長野市提供資料

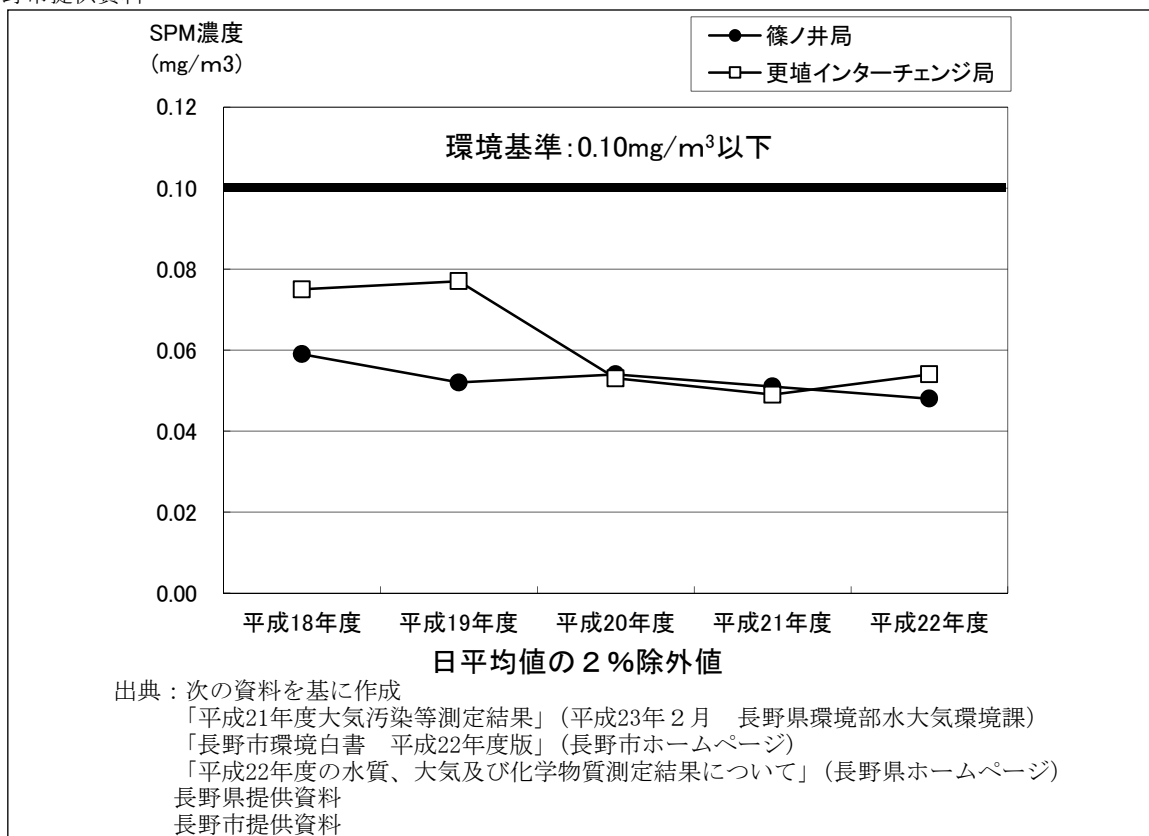


図2-3-28 浮遊粒子状物質（SPM）の経年変化（平成18年度～22年度）

(4) 一酸化炭素

対象事業実施区域の周囲に、一酸化炭素の測定が行われている測定地点はない。

(5) 光化学オキシダント

対象事業実施区域の周囲における光化学オキシダントの測定結果（平成 22 年度）は表 2-3-30 に、過去 5 年間における昼間 1 時間値の最高値の推移は図 2-3-29 に示すとおりである。

篠ノ井局では、いずれの年度も環境基準が非達成の状況となっている。なお、光化学オキシダントについて、近年の環境基準の達成状況が低いのは、当該地域特有ではなく全国的な傾向である。

表2-3-30 光化学オキシダント（Ox）の測定結果（平成22年度）

測定局	有効測定日数	測定時間	昼間1時間値の年平均値	環境基準の評価										
				昼間の1時間値が0.06ppmを超えた時間数及び日数とその割合				昼間の1時間値が0.12ppmを超えた時間数及び日数とその割合				昼間の1時間値の最高値	評価	
				時間	%	日	%	時間	%	日	%			ppm
一般局	篠ノ井局	365	5,467	0.035	414	7.6	84	23.0	0	0.0	0	0.0	0.094	×

注) 環境基準の評価・・・次の①に適合した場合「達成」と評価し○で表示し、適合しなかった場合「非達成」と評価し×で表示した。

①昼間の1時間値が0.06ppm以下であること。

出典：「平成22年度の水質、大気及び化学物質測定結果について」（長野県ホームページ）  
長野市提供資料

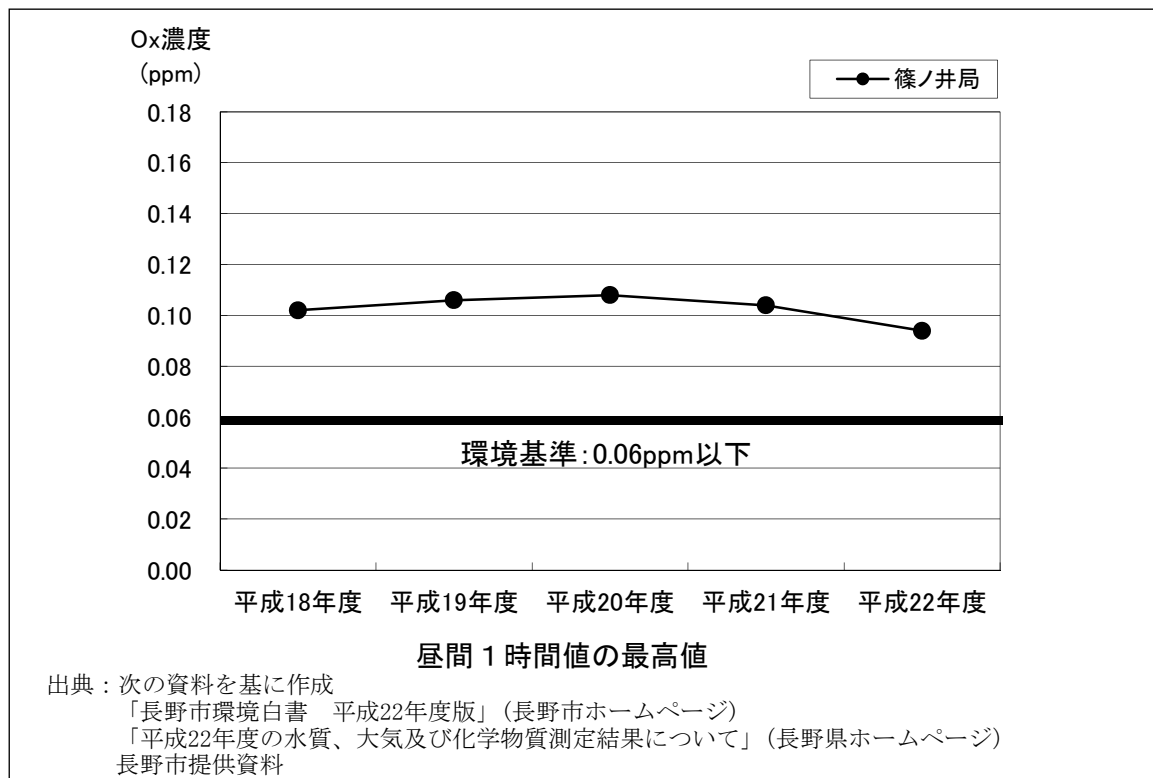


図2-3-29 光化学オキシダント（Ox）の経年変化（平成18年度～22年度）

(6) 微小粒子状物質

対象事業実施区域の周囲における微小粒子状物質の測定結果（平成 22 年度）は表 2-3-31 に示すとおりである。

更埴インターチェンジ局では平成 22 年度から調査が行われており、短期基準、長期基準ともに環境基準を達成している。

表2-3-31 微小粒子状物質（PM2.5）の測定結果（平成22年度）

測定局		有効測定日数	測定時間	1時間値の最高値	長期的評価				
					長期基準		短期基準		
					年平均値	評価 <sup>注1)</sup>	日平均値の年間98%値	98%値による日平均値が35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えた日数	評価 <sup>注2)</sup>
日	時間	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	○×	$\mu\text{g}/\text{m}^3$	日	○×		
自排局	更埴インターチェンジ局	365	8,760	257	14.0	○	35.0	0	○

注1) 環境基準の長期基準・・・次の①に適合した場合「達成」と評価し○で表示、適合しなかった場合「非達成」と評価し×で表示した。

①1年平均値が15 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下。

注2) 環境基準の短期基準・・・次の①に適合した場合「達成」と評価し○で表示、適合しなかった場合「非達成」と評価し×で表示した。

①日平均値の98%値が35 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下。

出典：長野県提供資料

(7) 有害大気汚染物質

有害大気汚染物質については、ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン及びジクロロメタンの4物質については環境基準が定められている。さらに、アクリロニトリル、塩化ビニルモノマー、水銀及びその化合物、ニッケル化合物、クロロホルム、1,2-ジクロロエタン、1,3-ブタジエン、ヒ素及び無機ヒ素化合物については健康リスクの低減を図るための指針となる数値（指針値）が設定されている。

篠ノ井局の結果は、表 2-3-32 に示すとおりである。いずれの物質においても、全ての年度で環境基準及び指針値を満足している。

表2-3-32 有害大気汚染物質の測定結果（平成18年度～22年度）

単位：μg/m<sup>3</sup>

測定地点	篠ノ井局					環境基準値	指針値
	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度		
ベンゼン	1.6	1.2	1.2	0.98	0.92	3	-
トリクロロエチレン	0.9	0.9	0.7	0.4	0.4	200	-
テトラクロロエチレン	<0.17	<0.17	<0.17	<0.17	<0.17	200	-
ジクロロメタン	1.9	1.0	0.8	0.8	0.8	150	-
アクリロニトリル	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	-	2
塩化ビニルモノマー	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	-	10
水銀	0.001	0.002	0.002	0.002	0.002	-	0.04
ニッケル	0.003	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-	0.025
クロロホルム	0.15	0.10	0.09	0.07	0.10	-	18
1,2-ジクロロエタン	0.07	0.04	0.06	0.06	0.09	-	1.6
1,3-ブタジエン	0.21	0.13	0.13	0.08	0.09	-	2.5
ヒ素	0.0011	0.0011	0.0024	0.0006	0.0005	-	0.006

出典：「平成22年度、23年度版長野市環境白書」（長野市ホームページ）

(8) ダイオキシン類

対象事業実施区域の周囲におけるダイオキシン類の測定結果のうち、最新の調査結果（平成22年度）は表2-3-33に、各地点の過去5年間の測定結果は表2-3-34に、調査地点の位置は図2-3-30に示すとおりである。

いずれの地点とも、全ての年度において環境基準を満足している。

表2-3-33 最新のダイオキシン類（大気）調査結果（平成22年度）

区分	地点番号	調査地点名	調査期間	大気 (pg-TEQ/m <sup>3</sup> )		
				測定値	平均値	環境基準
一般環境	1	通明小学校	平成22年4月21日～28日	0.019	0.018	0.6
			平成22年7月9日～16日	0.015		
			平成22年10月7日～14日	0.012		
			平成23年1月11日～18日	0.026		
廃棄物焼却炉周辺	2	千曲衛生センター	平成22年12月3日～10日	0.095	-	

出典：「平成23年度版長野市環境白書」（長野市ホームページ）  
 「平成22年度ダイオキシン類測定調査業務報告書<大気>」（平成23年2月 千曲市）

表2-3-34 ダイオキシン類（大気）調査結果（平成18～22年度）

単位：pg-TEQ/m<sup>3</sup>

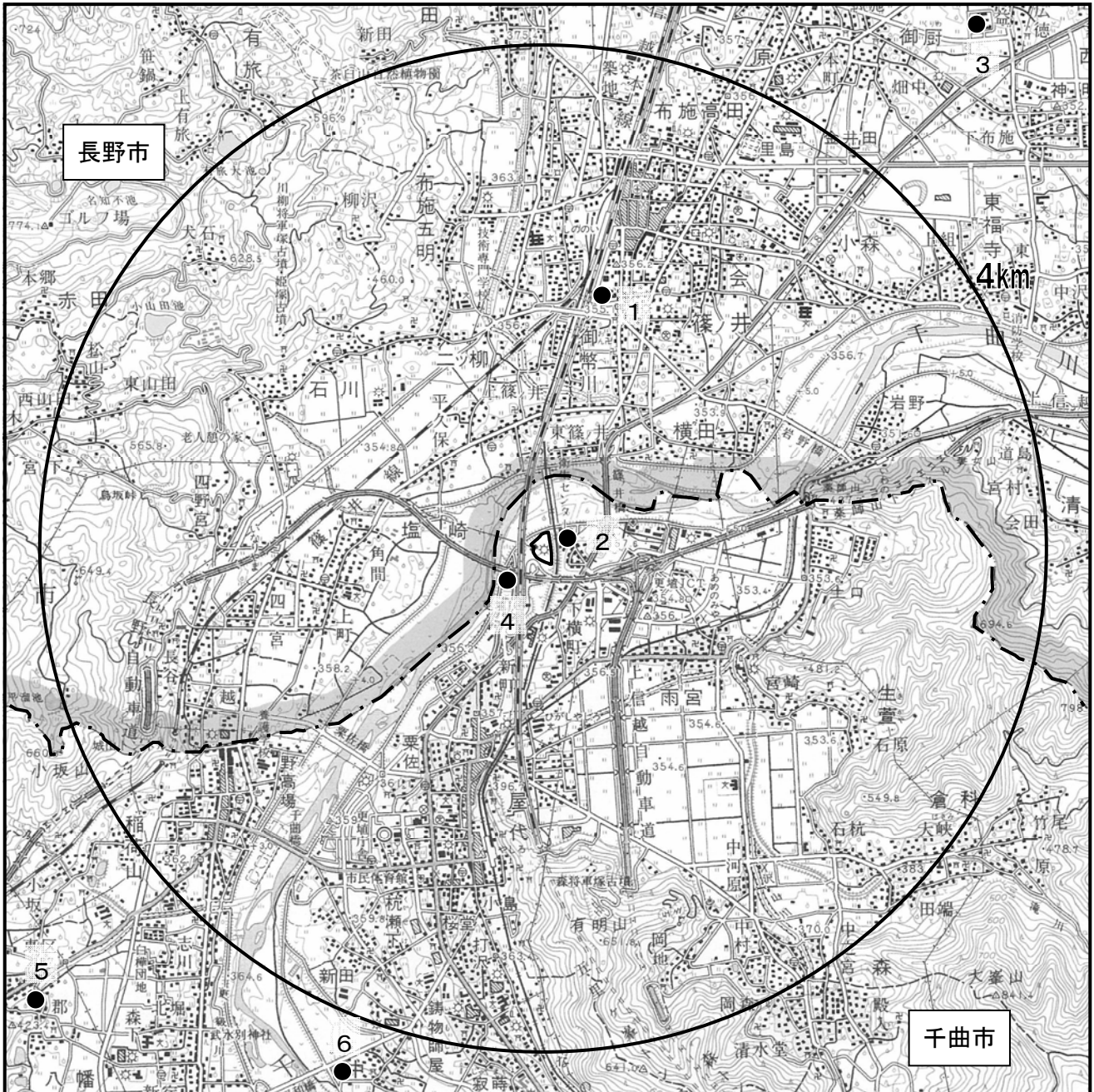
区分	地点番号	調査地点名	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
一般環境	1	通明小学校	0.097	0.049	0.030	0.038	0.018
廃棄物焼却炉周辺	2	千曲衛生センター	0.050	0.053	0.41	0.059	0.095
	3	広徳中学校	-	-	-	0.059	-
	4	屋代排水ポンプ場	-	0.51	-	-	-
	5	桑原東公民館	0.035	-	-	-	-
	6	雇用促進住宅	0.049	0.051	-	-	-

注1) -：測定なし

注2) 結果は年平均値。

出典：「平成18年度～21年度大気汚染等測定結果」（長野県環境部水大気環境課）  
 「長野県のダイオキシン類対策」（長野県ホームページ）  
 「平成19年度版～23年度版長野市環境白書」（長野市ホームページ）  
 「平成18年度～22年度ダイオキシン類測定調査業務報告書<大気>」（千曲市）





凡 例

- 対象事業実施区域
- 市境
- ダイオキシン類（大気）調査地点

出典：次の資料を基に作成。

- 「平成18年度～21年度大気汚染等測定結果」（長野県環境部水大気環境課）
- 「長野県のダイオキシン類対策」（長野県ホームページ）
- 「平成19年度版～23年度版長野市環境白書」（長野市ホームページ）
- 「平成18年度～22年度ダイオキシン類測定調査業務報告書〈大気〉」（千曲市）

この地図は、50,000分の1「千曲市全図」（平成20年8月千曲市）及び国土地理院50,000分の1「長野」（平成10年2月）を使用したものである。

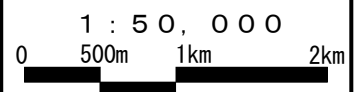
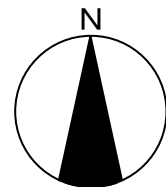


図 2-3-30 ダイオキシン類（大気）調査地点位置図

### 3 騒音

対象事業実施区域及びその周囲において、環境騒音の調査は実施されていない。

道路交通騒音については、面的評価と地点ごとの一般道路騒音・高速道路騒音調査が実施されている。

#### 1) 面的評価

長野市によって道路交通騒音の面的評価が行われており、対象事業実施区域及びその周囲で実施された最新の調査は平成 20 年度である。面的評価の結果は表 2-3-35 に示すとおりである。

表 2-3-35 道路交通騒音 面的評価結果（平成 20 年度）

路線名	区間	住宅等 戸数	昼夜とも 基準値以下 戸数	昼のみ 基準値以下 戸数	夜のみ 基準値以下 戸数	昼夜とも 基準値超過 戸数
		戸	戸 (%)	戸 (%)	戸 (%)	戸 (%)
長野信州新線	長野市篠ノ井御幣川 ～長野市篠ノ井石川	464	387 (83%)	0 (0%)	1 (0%)	78 (16%)
	長野市信更町赤田 ～長野市信更町吉原	125	125 (100%)	0 (0%)	0 (0%)	0 (0%)
清野篠ノ井停車場線	長野市篠ノ井御幣川 ～長野市篠ノ井布施高田	244	194 (80%)	0 (0%)	1 (0%)	49 (20%)

出典：「平成 21 年度版長野市環境白書」（長野市ホームページ）

#### 2) 一般道路騒音・高速道路騒音

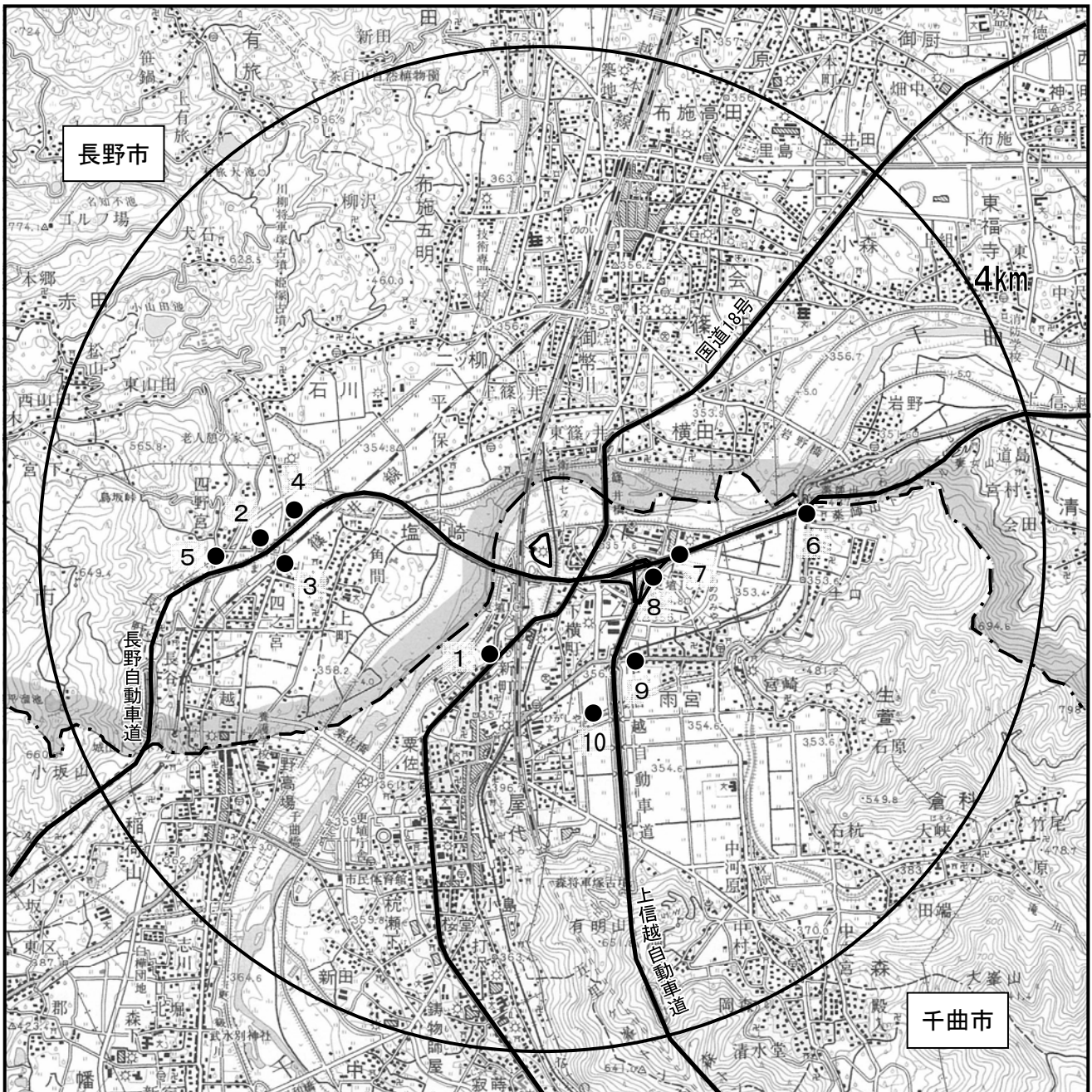
対象事業実施区域の周囲における平成 21 年度及び 22 年度の一般道路騒音及び高速道路騒音について、調査地点は図 2-3-31 に、調査結果は表 2-3-36 に示すとおりである。

表 2-3-36 一般道路騒音・高速道路騒音調査結果

地点 番号	路線名	測定場所	測定 年	類型・区分			測定値 (デシベル)		調査 主体
				用途 地域	環境 基準	騒音 規制法	昼間	夜間	
2	長野自動車道	長野市篠ノ井塩崎四野宮	H22	7	B	b	55	54	長野市
3		長野市篠ノ井塩崎四之宮	H22	3	B	b	56	54	長野市
4		長野市篠ノ井塩崎四野宮	H22	7	B	b	58	56	長野市
5		長野市篠ノ井塩崎四野宮	H22	7	B	b	53	50	長野市
6		千曲市大字土口 705-1	H21	7	A	-	54	52	千曲市
7	上信越自動車道	千曲市大字雨宮 2393	H21	7	A	-	53	52	千曲市
8		千曲市大字雨宮 647-4	H21	5	C	-	54	54	千曲市
9		千曲市大字雨宮 256-3	H21	7	A	-	59	55	千曲市
10		千曲市大字屋代 880-7	H21	7	A	-	56	55	千曲市

備考) 用途地域 1: 第 1 種・第 2 種低層住居専用地域  
2: 第 1 種・第 2 種中高層住居専用地域  
3: 第 1 種・第 2 種住居地域、準住居地域  
4: 近隣商業地域・商業地域  
5: 準工業地域・工業地域  
6: 工業専用地域  
7: その他

出典：「平成 21 年度大気汚染等測定結果」（平成 23 年 2 月 長野県環境部水大気環境課）  
長野市提供資料



凡 例

- 対象事業実施区域
- 市境
- 一般道路騒音・高速道路騒音調査地点
- 調査対象路線

出典：次の資料を基に作成  
 「平成21年度大気汚染等測定結果」（平成23年2月 長野県環境部水大気環境課）  
 長野県提供資料  
 長野市提供資料

この地図は、50,000分の1「千曲市全図」（平成20年8月 千曲市）及び国土地理院50,000分の1「長野」（平成10年2月）を使用したものである。

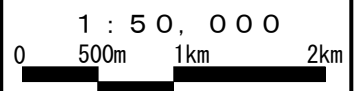
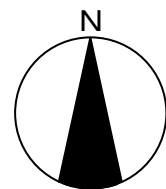


図 2-3-31 一般道路騒音・高速道路騒音調査地点位置図

#### 4 振動

対象事業実施区域及びその周囲において、環境振動及び道路交通振動の調査は実施されていない。

#### 5 低周波音

対象事業実施区域及びその周囲において、低周波音の調査は実施されていない。

#### 6 悪臭

対象事業実施区域及びその周囲において、悪臭の調査は実施されていない。

#### 7 水質

##### 1) 水質調査結果

対象事業実施区域及びその周囲で実施されている水質調査の調査地点は、表 2-3-37 及び図 2-3-32 に示すとおりである。

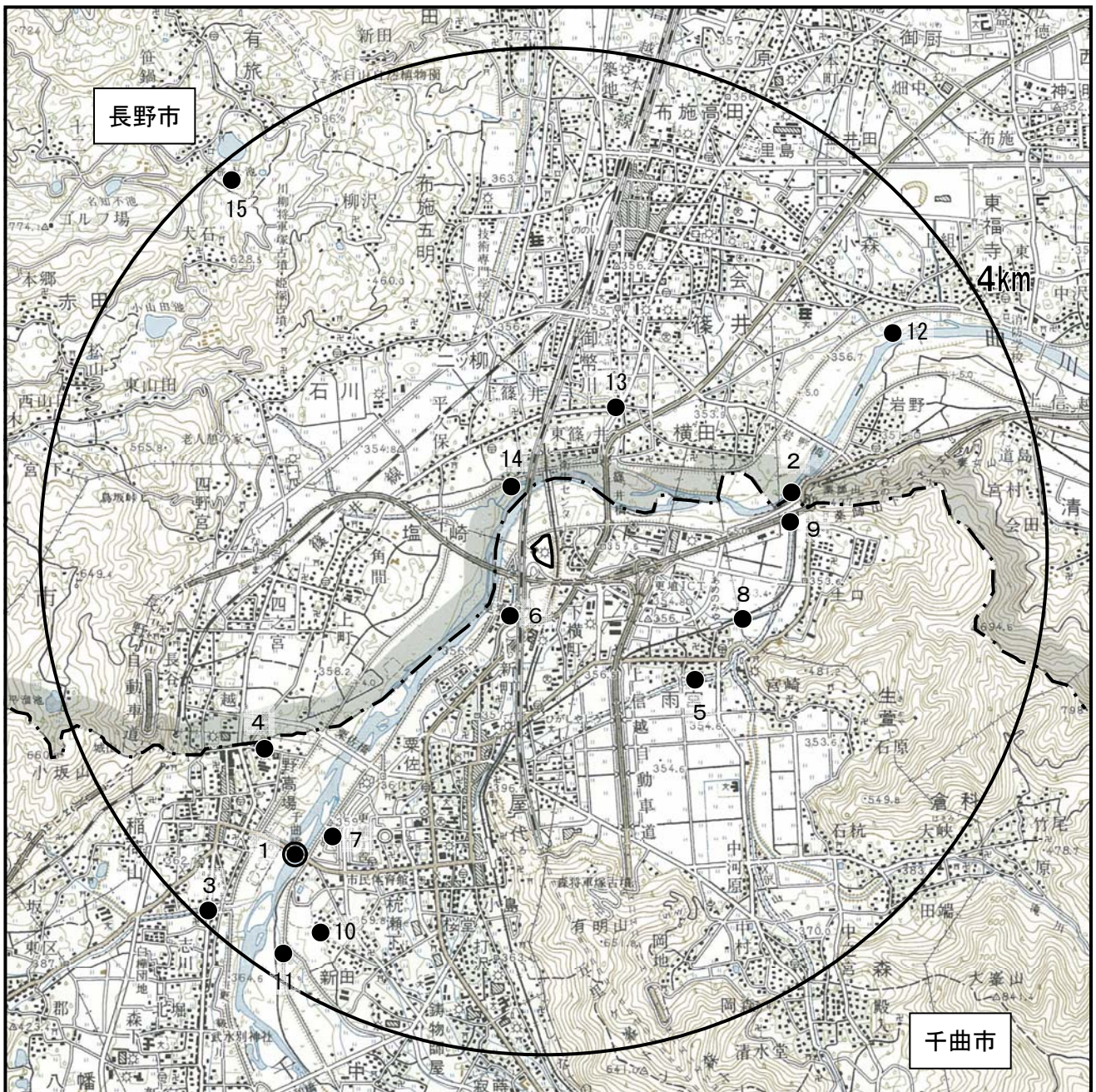
表2-3-37 調査地点における測定項目（平成22年度）

	地点番号	河川・調査地点名	測定項目	
			生活環境項目	健康項目
河川	1	千曲川（千曲橋）	○	○
	2	千曲川（土口）	○	-
	3	佐野川	○	-
	4	治田川	○	-
	5	五十里川	○	-
	6	伊勢宮川	○	-
	7	尾米川	○	-
	8	一丁田川	○	-
	9	沢山川	○	一部
	10	新田用水	○	-
	11	三ヶ用水	○	-
	12	大払堰	○	○
	13	岡田川	○	○
	14	聖川	○	○
湖沼	15	有旅大池	○	-

注）生活環境項目とは、「生活環境の保全に関する環境基準」の項目、健康項目とは、「人の健康の保護に関する環境基準」の項目のことである。

出典：「平成 22 年度地点別公共用水域水質常時監視結果」（長野県ホームページ）  
「平成 22 年度千曲市主要河川環境調査」（平成 23 年 2 月 千曲市）  
長野市提供資料





凡 例



対象事業実施区域



市境



水質調査地点（環境基準点）



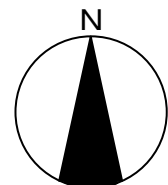
出典：次の資料を基に作成。

「平成 22 年度地点別公共用水域水質常時監視結果」（長野県ホームページ）

「平成 22 年度千曲市主要河川環境調査」（平成 23 年 2 月 千曲市）

長野市提供資料

この地図は、50,000 分の 1「千曲市全図」（平成 20 年 8 月 千曲市）及び国土地理院 50,000 分の 1「長野」（平成 10 年 2 月）を使用したものである。



1 : 50,000



図 2-3-32 水質調査地点位置図

千曲川（千曲橋）は環境基準点となっており、河川A類型の環境基準が適用される。過去5年分における調査結果の経年変化は表 2-3-38 に、水質汚濁の指標とされるBODの経年変化は図 2-3-33 に示すとおりである。

いずれの年度も、大腸菌群数が基準値を超過しているほかは、全ての項目において環境基準を満足している。

表2-3-38 環境基準点における調査結果（平成18年度～22年度）

項目	河川・調査地点名	基準値 (河川A類型)	千曲川（千曲橋）				
			平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
生活環境項目	pH	6.5以上8.5以下	6.8～8.5	7.0～8.5	7.3～8.4	6.7～8.2	6.6～8.4
	BOD <sup>注1)</sup> (mg/l)	2以下	1.3 (1.6)	1.5 (1.8)	1.0 (1.1)	1.5 (1.7)	1.4 (1.6)
	SS (mg/l)	25以下	6.0	5.0	6.0	9.0	8.0
	DO (mg/l)	7.5以上	10	11	11	11	10
	大腸菌群数 (MPN/100ml)	1,000以下	9,100	40,000	19,000	19,000	9,800
	全窒素 (mg/l)	-	-	1.9	-	-	-
	全磷 (mg/l)	-	-	0.082	-	-	-
健康項目	カドミウム (mg/l)	0.01以下	<0.005	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	全シアン (mg/l)	検出されないこと	ND	ND	ND	<0.1	<0.1
	鉛 (mg/l)	0.01以下	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
	六価クロム (mg/l)	0.05以下	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
	砒素 (mg/l)	0.01以下	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
	総水銀 (mg/l)	0.0005以下	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	アルキル水銀 (mg/l)	検出されないこと	-	-	-	-	-
	PCB (mg/l)	検出されないこと	ND	ND	ND	<0.0005	<0.0005
	ジクロロメタン (mg/l)	0.02以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	四塩化炭素 (mg/l)	0.002以下	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
	1,2-ジクロロエタン (mg/l)	0.004以下	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004
	1,1-ジクロロエチレン (mg/l)	0.02以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	-
		0.1以下	-	-	-	-	<0.01
	シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)	0.004以下	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
	1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)	1以下	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)	0.006以下	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
	トリクロロエチレン (mg/l)	0.03以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	テトラクロロエチレン (mg/l)	0.01以下	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	1,3-ジクロロプロペン (mg/l)	0.002以下	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
	チウラム (mg/l)	0.006以下	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
	シマジン (mg/l)	0.003以下	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
	チオベンカルブ (mg/l)	0.02以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	ベンゼン (mg/l)	0.01以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	セレン (mg/l)	0.001以下	<0.0002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/l)	10以下	1.5	1.4	1.6	1.4	1.5
	ふっ素 (mg/l)	0.8以下	0.12	-	0.16	0.10	0.10
	ほう素 (mg/l)	1以下	<0.02	-	0.06	0.03	0.06
	1,4-ジオキサン (mg/l)	0.05以下	-	-	-	-	<0.005

注1) ()内は75%値を示す。BODについては基準値と75%値を比較し評価を行う。

注2) ND：未検出 -：調査なし

備考) 公共用水域の水質汚濁に係る環境基準（健康項目）については、平成21年11月30日付の環境省告示第78号において1,1-ジクロロエチレンの基準値の変更及び健康項目に1,4-ジオキサンが追加されている。また、平成23年10月27日付の環境省告示第94号においてカドミウムの基準値の変更が行われている。

出典：「平成21年度水質測定結果」（平成22年9月 長野県）

「平成22年度地点別公共用水域水質常時監視結果」（長野県ホームページ）



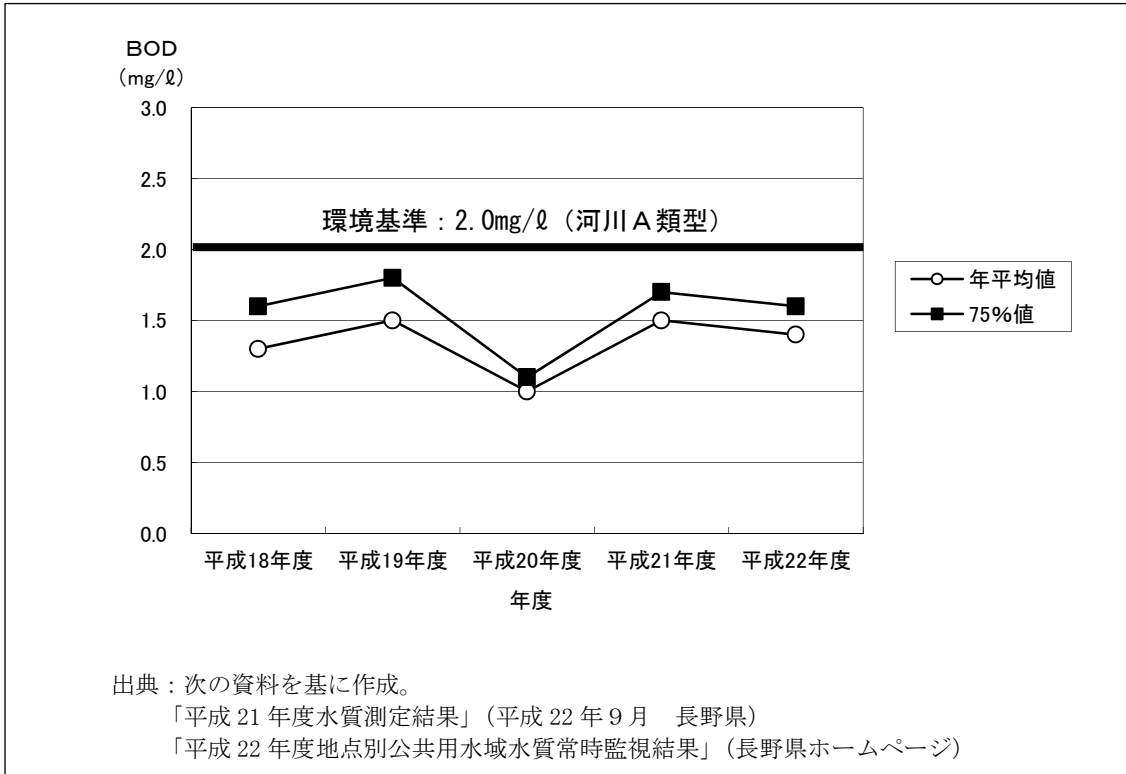


図2-3-33 千曲川（千曲橋）におけるBODの経年変化（平成18年度～22年度）

環境基準点以外の地点における水質調査結果については、表 2-3-39(1)、(2)に示すとおりである。

表2-3-39(1) 水質調査結果（平成22年度 千曲市実施分）

項目		千曲川（土口）		佐野川		治田川		五十里川	
		H22. 07. 22	H22. 11. 30	H22. 07. 22	H22. 11. 30	H22. 07. 22	H22. 11. 30	H22. 07. 22	H22. 11. 30
生活環境項目	pH	7.7	7.9	4.6	4.8	7.3	7.4	8.7	8.5
	BOD (mg/l)	2.2	2.0	0.7	0.8	1.1	1.3	0.9	1.7
	COD (mg/l)	-	-	-	-	-	-	-	-
	SS (mg/l)	11	3	8	8	8	3	7	3
	DO (mg/l)	-	-	-	-	-	-	-	-
	大腸菌群数 (MPN/100ml)	4,300	3,500	800	100	26,000	31,000	10,000	1,800
	全窒素 (mg/l)	-	-	-	-	-	-	-	-
	全燐 (mg/l)	-	-	-	-	-	-	-	-
健康項目	亜鉛 (mg/l)	-	-	-	-	-	-	-	-
	カドミウム (mg/l)	-	-	-	-	-	-	-	-
	全シアン (mg/l)	-	-	-	-	-	-	-	-
	鉛 (mg/l)	-	-	-	-	-	-	-	-
	六価クロム (mg/l)	-	-	-	-	-	-	-	-
	砒素 (mg/l)	-	-	-	-	-	-	-	-
水銀 (mg/l)	-	-	-	-	-	-	-	-	

項目		伊勢宮川		尾米川		一丁田川		沢山川	
		H22. 07. 22	H22. 11. 30	H22. 07. 22	H22. 11. 30	H22. 07. 22	H22. 11. 30	H22. 07. 22	H22. 11. 30
生活環境項目	pH	8.2	8.0	7.7	7.9	8.3	7.5	8.4	7.9
	BOD (mg/l)	0.8	1.4	2.2	2.0	2.1	4.7	2.1	3.6
	COD (mg/l)	-	-	-	-	-	-	-	-
	SS (mg/l)	7	3	11	3	6	9	17	3
	DO (mg/l)	-	-	-	-	-	-	-	-
	大腸菌群数 (MPN/100ml)	16,000	2,400	4,300	3,500	28,000	5,400	18,000	3,500
	全窒素 (mg/l)	-	-	-	-	-	-	3.4	4.5
	全燐 (mg/l)	-	-	-	-	-	-	0.15	0.094
健康項目	亜鉛 (mg/l)	-	-	-	-	-	-	-	-
	カドミウム (mg/l)	-	-	-	-	-	-	<0.005	-
	全シアン (mg/l)	-	-	-	-	-	-	ND(<0.01)	-
	鉛 (mg/l)	-	-	-	-	-	-	<0.01	-
	六価クロム (mg/l)	-	-	-	-	-	-	<0.02	-
	砒素 (mg/l)	-	-	-	-	-	-	<0.002	-
水銀 (mg/l)	-	-	-	-	-	-	<0.0005	-	

項目		新田用水		三ヶ用水	
		H22. 07. 22	H22. 11. 30	H22. 07. 22	H22. 11. 30
生活環境項目	pH	8.3	8.5	7.7	7.9
	BOD (mg/l)	1.2	1.2	1.4	2.1
	COD (mg/l)	-	-	-	-
	SS (mg/l)	12	2	10	11
	DO (mg/l)	-	-	-	-
	大腸菌群数 (MPN/100ml)	12,000	1,100	12,000	9,000
	全窒素 (mg/l)	-	-	-	-
	全燐 (mg/l)	-	-	-	-
健康項目	亜鉛 (mg/l)	-	-	-	-
	カドミウム (mg/l)	-	-	-	-
	全シアン (mg/l)	-	-	-	-
	鉛 (mg/l)	-	-	-	-
	六価クロム (mg/l)	-	-	-	-
	砒素 (mg/l)	-	-	-	-
水銀 (mg/l)	-	-	-	-	

出典：「平成22年度千曲市主要河川環境調査」（平成23年2月 千曲市）

表2-3-39(2) 水質調査結果（平成22年度 長野市実施分）

項目	河川・調査地点名	大払堰	岡田川	聖川	有旅大池
		年平均	年平均	年平均	年平均
生活環境項目	pH	8.2	8.2	8.3	8.6
	BOD (mg/l)	1.4	0.9	0.8	3.2
	COD (mg/l)	2.5	4.3	3.2	8.3
	SS (mg/l)	9	63	13	6
	DO (mg/l)	11	11	11	12
	大腸菌群数 (MPN/100ml)	16,000	17,000	5,600	330
	全窒素 (mg/l)	1.2	2.2	1.6	0.93
	全磷 (mg/l)	0.12	0.47	0.13	0.072
	亜鉛 (mg/l)	0.010	0.035	0.010	-
健康項目	カドミウム (mg/l)	<0.001	<0.001	<0.001	-
	全シアン (mg/l)	ND	ND	ND	-
	鉛 (mg/l)	<0.005	<0.005	<0.005	-
	六価クロム (mg/l)	<0.02	<0.02	<0.02	-
	砒素 (mg/l)	<0.005	<0.005	<0.005	-
	総水銀 (mg/l)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	-
	アルキル水銀 (mg/l)	-	-	-	-
	PCB (mg/l)	-	-	-	-
	ジクロロメタン (mg/l)	<0.002	<0.002	<0.002	-
	四塩化炭素 (mg/l)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	-
	1,2-ジクロロエタン (mg/l)	<0.0004	<0.0004	<0.0004	-
	1,1-ジクロロエチレン (mg/l)	<0.002	<0.002	<0.002	-
	シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/l)	<0.004	<0.004	<0.004	-
	1,1,1-トリクロロエタン (mg/l)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	-
	1,1,2-トリクロロエタン (mg/l)	<0.0006	<0.0006	<0.0006	-
	トリクロロエチレン (mg/l)	<0.002	<0.002	<0.002	-
	テトラクロロエチレン (mg/l)	<0.0005	<0.0005	<0.0005	-
	1,3-ジクロロプロペン (mg/l)	<0.0002	<0.0002	<0.0002	-
	チウラム (mg/l)	<0.0006	<0.0006	<0.0006	-
	シマジン (mg/l)	<0.0003	<0.0003	<0.0003	-
	チオベンカルブ (mg/l)	<0.002	<0.002	<0.002	-
	ベンゼン (mg/l)	<0.001	<0.001	<0.001	-
	セレン (mg/l)	<0.002	<0.002	<0.002	-
	硝酸性窒素 (mg/l)	1.3	1.3	0.66	-
	亜硝酸性窒素 (mg/l)	<0.02	<0.02	<0.02	-
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素 (mg/l)	1.4	1.3	0.68	-
	ふっ素 (mg/l)	0.16	0.14	<0.08	-
	ほう素 (mg/l)	0.041	0.037	<0.02	-
1,4-ジオキサン (mg/l)	<0.005	<0.005	<0.005	-	

注) ND: 未検出 - : 調査なし

出典: 長野市提供資料

2) 水質及び底質のダイオキシン類調査結果

対象事業実施区域及びその周囲における、過去5年間の水質及び底質のダイオキシン類調査地点は図2-3-34に、調査結果は表2-3-40に示すとおりである。

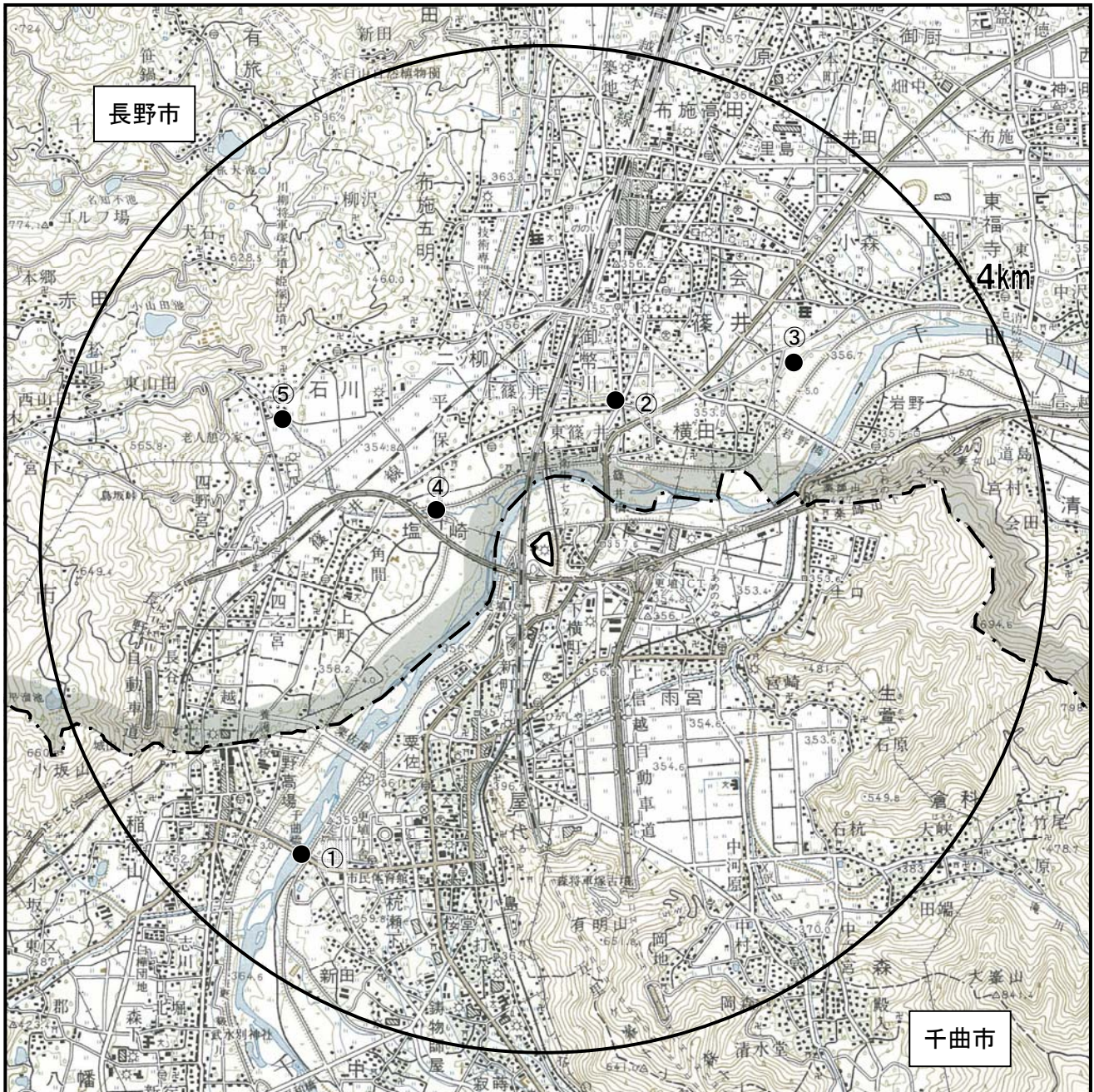
水質と底質ともに、いずれの地点においても環境基準を満足している。

表2-3-40 ダイオキシン類（水質及び底質）調査結果（平成18年度～22年度）

地点 番号	河川名・調査地点	年度	水質 (pg-TEQ/l)		底質 (pg-TEQ/g)	
			測定値	環境基準	測定値	環境基準
①	千曲川 千曲橋	H18	0.50	1	-	150
		H20	0.29		9.3	
②	岡田川 篠ノ井御幣川：見六橋上流 50m	H20	0.96		3.8	
③	上中堰 篠ノ井会：小森第一排水機场上流 600m	H18	0.39		4.5	
④	聖川 篠ノ井塩崎：平久保橋下流	H22	0.66		0.58	
⑤	聖川 篠ノ井石川：上石川橋下流 50m	H18	0.13	0.30		

出典：「平成18年度～22年度水質測定結果」（長野県ホームページ）  
 「平成19年度～23年度版長野市環境白書」（長野市ホームページ）





凡 例

- 対象事業実施区域
- 市境
- ダイオキシン類（水質及び底質）調査地点

出典：次の資料を基に作成  
 「平成 18 年度～22 年度水質測定結果」（長野県ホームページ）  
 「平成 19 年度～23 年度版長野市環境白書」（長野市ホームページ）

この地図は、50,000 分の 1「千曲市全図」（平成 20 年 8 月 千曲市）及び国土地理院 50,000 分の 1「長野」（平成 10 年 2 月）を使用したものである。

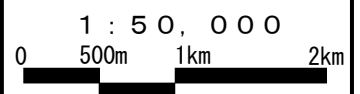
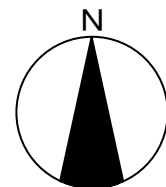


図 2-3-34 ダイオキシン類（水質及び底質）調査地点位置図

### 3) 水生生物による水質調査結果

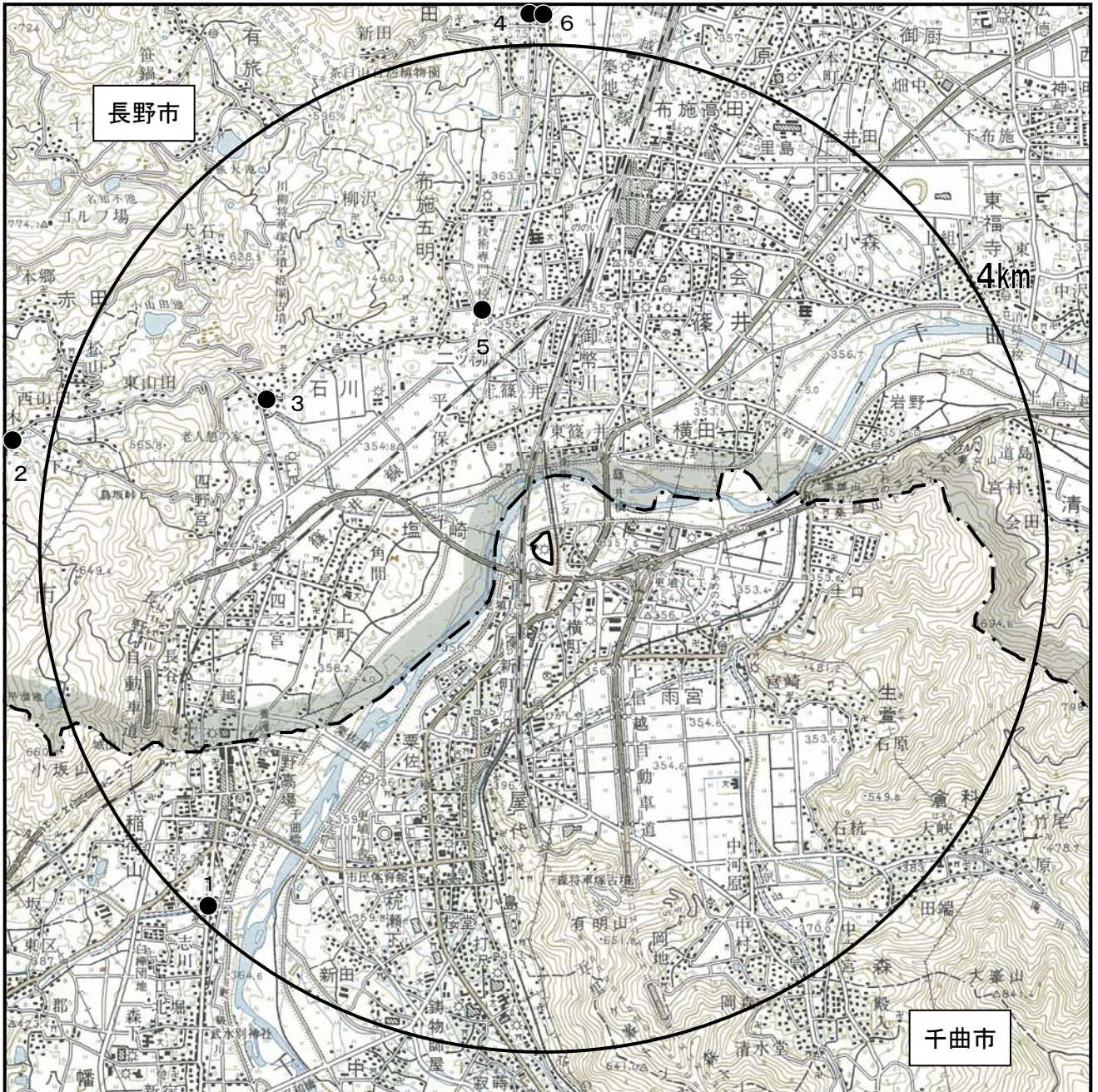
対象事業実施区域及びその周囲における水生生物による水質調査について、千曲市では平成 22 年度に、長野市では平成 20 年度に最新の調査が行われている。調査結果は表 2-3-41 に、調査地点は図 2-3-35 に示すとおりである。

表 2-3-41 水生生物による水質調査結果

年度	河川	地点 番号	地点	代表的な指標生物	水質階級
H22	佐野川	1	佐野川	ミズムシ	Ⅲ
H20	聖川	2	戸口橋	カワニナ、ヒル	Ⅱ
		3	聖川橋	カワゲラ、ヤマトビケラ	Ⅰ
	岡田川	4	岡田児童館西	ヒル、ミズムシ	Ⅲ
		5	篠ノ井西小学校南	アメリカザリガニ	Ⅳ
	上堰	6	岡田児童館東	-	判定不可

出典：「平成 22 年度千曲市主要河川環境調査報告書」（平成 23 年 2 月 千曲市）  
「平成 23 年度版長野市環境白書」（長野市ホームページ）





凡 例

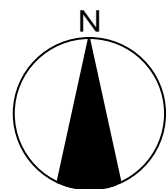
- 対象事業実施区域
- 市境
- 水生生物調査地点

出典：次の資料を基に作成

「平成 22 年度千曲市主要河川環境調査報告書」（平成 23 年 2 月 千曲市）

「平成 23 年度版長野市環境白書」（長野市ホームページ）

この地図は、50,000 分の 1「千曲市全図」（平成 20 年 8 月 千曲市）及び国土地理院 50,000 分の 1「長野」（平成 10 年 2 月）を使用したものである。



1 : 50,000



図 2-3-35 水生生物による水質調査地点位置図

## 8 地下水

### 1) 地下水質

長野県及び長野市では地下水質について、汚染状況を把握するための概況調査、汚染が判明した地区について実施する汚染井戸周辺地区調査、すでに汚染が判明している地点を継続的に監視する継続監視調査が行われている。

対象事業実施区域及びその周囲では、平成 22 年度は概況調査が 5 箇所、継続監視調査が 3 箇所で行われており、それぞれの調査結果は表 2-3-42(1)、(2)に示すとおりである。

長野市篠ノ井塩崎で全マンガンが指針値を、千曲市土口①及び土口②で硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が環境基準を、それぞれ超過しているものの、その他の項目については環境基準及び指針値を満足している。

表 2-3-42(1) 地下水質調査結果（概況調査 平成 22 年度）

項目	調査地点	環境基準 ・指針値	長野市				
			篠ノ井岡田	篠ノ井東福寺	篠ノ井御幣川	篠ノ井有旅	篠ノ井塩崎
井戸深度	(m)	-	不明	30.0	不明	0.0	70.0
浅井戸深井戸の別		-	不明	不明	不明	浅井戸	不明
用途		-	生活用水井戸	工業用水井戸	生活用水井戸	その他の井戸	工業用水井戸
環境基準項目	カドミウム	(mg/l) 0.01mg/l以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	全シアン	(mg/l) 検出されないこと	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
	鉛	(mg/l) 0.01mg/l以下	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
	六価クロム	(mg/l) 0.05mg/l以下	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
	砒素	(mg/l) 0.01mg/l以下	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
	総水銀	(mg/l) 0.0005mg/l以下	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	アルキル水銀	(mg/l) 検出されないこと	-	-	-	-	-
	P C B	(mg/l) 検出されないこと	-	-	<0.0005	<0.0005	-
	ジクロロメタン	(mg/l) 0.02mg/l以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	四塩化炭素	(mg/l) 0.002mg/l以下	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
	塩化ビニルモノマー	(mg/l) 0.002mg/l以下	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
	1,2-ジクロロエタン	(mg/l) 0.004mg/l以下	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004
	1,1-ジクロロエチレン	(mg/l) 0.1mg/l以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	1,2-ジクロロエチレン	(mg/l) -	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008	<0.008
	シス-1,2-ジクロロエチレン	(mg/l) 0.04mg/l以下	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
	トランス-1,2-ジクロロエチレン	(mg/l) 0.04mg/l以下	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
	1,1,1-トリクロロエタン	(mg/l) 1mg/l以下	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン	(mg/l) 0.006mg/l以下	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
	トリクロロエチレン	(mg/l) 0.03mg/l以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	テトラクロロエチレン	(mg/l) 0.01mg/l以下	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	1,3-ジクロロプロペン	(mg/l) 0.002mg/l以下	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
	チウラム	(mg/l) 0.006mg/l以下	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
	シマジン	(mg/l) 0.003mg/l以下	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
	チオベンカルブ	(mg/l) 0.02mg/l以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	ベンゼン	(mg/l) 0.01mg/l以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	セレン	(mg/l) 0.01mg/l以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	(mg/l) 10mg/l以下	9.0	3.4	2.4	4.6	<0.04
	硝酸性窒素	(mg/l) -	8.9	3.4	2.4	4.6	<0.02
	亜硝酸性窒素	(mg/l) -	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
	ふっ素	(mg/l) 0.8mg/l以下	0.20	0.22	0.26	<0.08	0.43
	ほう素	(mg/l) 1mg/l以下	0.06	0.04	0.05	<0.02	0.21
	1,4-ジオキサソ	(mg/l) 0.05mg/l以下	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005
要監視項目	クロロホルム	(mg/l) 0.06mg/l以下	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003	<0.003
	1,2-ジクロロプロパン	(mg/l) 0.06mg/l以下	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006	<0.006
	p-ジクロロベンゼン	(mg/l) 0.2mg/l以下	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02
	イソキサチオン	(mg/l) 0.008mg/l以下	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008
	ダイアジノン	(mg/l) 0.005mg/l以下	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
	フェニトロチオン (MEP)	(mg/l) 0.003mg/l以下	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
	イソプロチオラン	(mg/l) 0.04mg/l以下	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
	オキシ銅 (有機銅)	(mg/l) 0.04mg/l以下	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
	クロロタロニル (TPN)	(mg/l) 0.05mg/l以下	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
	プロピザミド	(mg/l) 0.008mg/l以下	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008
	EPN	(mg/l) 0.006mg/l以下	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
	ジクロロボス (DDVP)	(mg/l) 0.008mg/l以下	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	フェノブカルブ (BPMC)	(mg/l) 0.03mg/l以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	イプロベンホス (IBP)	(mg/l) 0.008mg/l以下	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008	<0.0008
	クロルニトロフェン (CNP)	(mg/l) -	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001	<0.0001
	トルエン	(mg/l) 0.6mg/l以下	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06	<0.06
	キシレン	(mg/l) 0.4mg/l以下	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04	<0.04
	フタル酸ジエチルヘキシル	(mg/l) 0.06mg/l以下	-	-	<0.006	<0.006	-
	ニッケル	(mg/l) -	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
	モリブデン	(mg/l) 0.07mg/l以下	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007	<0.007
	アンチモン	(mg/l) 0.02mg/l以下	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
	全マンガン	(mg/l) 0.2mg/l以下	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.45
	ウラン	(mg/l) 0.002mg/l以下	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002

備考：地下水の水質汚濁に係る環境基準については、平成23年10月27日付の環境省告示第94号において、カドミウムの基準値が変更されている。

出典：長野市提供資料



表 2-3-42(2) 地下水質調査結果(継続監視調査 平成 22 年度)

項目	調査地点	環境基準 ・指針値	千曲市		
			土口①	土口②	屋代
井戸深度	(m)	-	5.0	不明	20.0
浅井戸深井戸の別		-	浅井戸	不明	深井戸
用途		-	生活用水井戸	その他の井戸	生活用水井戸
環境基準項目	カドミウム	(mg/l) 0.01mg/l以下	-	-	-
	全シアン	(mg/l) 検出されないこと	-	-	-
	鉛	(mg/l) 0.01mg/l以下	-	-	-
	六価クロム	(mg/l) 0.05mg/l以下	-	-	-
	砒素	(mg/l) 0.01mg/l以下	-	-	-
	総水銀	(mg/l) 0.0005mg/l以下	-	-	-
	アルキル水銀	(mg/l) 検出されないこと	-	-	-
	PCB	(mg/l) 検出されないこと	-	-	-
	ジクロロメタン	(mg/l) 0.02mg/l以下	-	-	-
	四塩化炭素	(mg/l) 0.002mg/l以下	-	-	-
	塩化ビニルモノマー	(mg/l) 0.002mg/l以下	-	-	<0.0002
	1,2-ジクロロエタン	(mg/l) 0.004mg/l以下	-	-	-
	1,1-ジクロロエチレン	(mg/l) 0.1mg/l以下	-	-	<0.01
	1,2-ジクロロエチレン	(mg/l) -	-	-	<0.004
	シス-1,2-ジクロロエチレン	(mg/l) 0.04mg/l以下	-	-	<0.002
	トランス-1,2-ジクロロエチレン	(mg/l) 0.04mg/l以下	-	-	<0.002
	1,1,1-トリクロロエタン	(mg/l) 1mg/l以下	-	-	<0.0005
	1,1,2-トリクロロエタン	(mg/l) 0.006mg/l以下	-	-	-
	トリクロロエチレン	(mg/l) 0.03mg/l以下	-	-	0.009
	テトラクロロエチレン	(mg/l) 0.01mg/l以下	-	-	<0.0005
	1,3-ジクロロプロペン	(mg/l) 0.002mg/l以下	-	-	-
	チウラム	(mg/l) 0.006mg/l以下	-	-	-
	シマジン	(mg/l) 0.003mg/l以下	-	-	-
	チオベンカルブ	(mg/l) 0.02mg/l以下	-	-	-
	ベンゼン	(mg/l) 0.01mg/l以下	-	-	-
	セレン	(mg/l) 0.01mg/l以下	-	-	-
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	(mg/l) 10mg/l以下	-	14	11
硝酸性窒素	(mg/l) -	-	14	11	
亜硝酸性窒素	(mg/l) -	-	<0.02	<0.02	
ふっ素	(mg/l) 0.8mg/l以下	-	-	-	
ほう素	(mg/l) 1mg/l以下	-	-	-	
1,4-ジオキサン	(mg/l) 0.05mg/l以下	-	-	-	

備考：地下水の水質汚濁に係る環境基準については、平成23年10月27日付の環境省告示第94号において、カドミウムの基準値が変更されている。

出典：「地下水質測定結果について」（長野県ホームページ）

## 2) 地下水のダイオキシン類調査結果

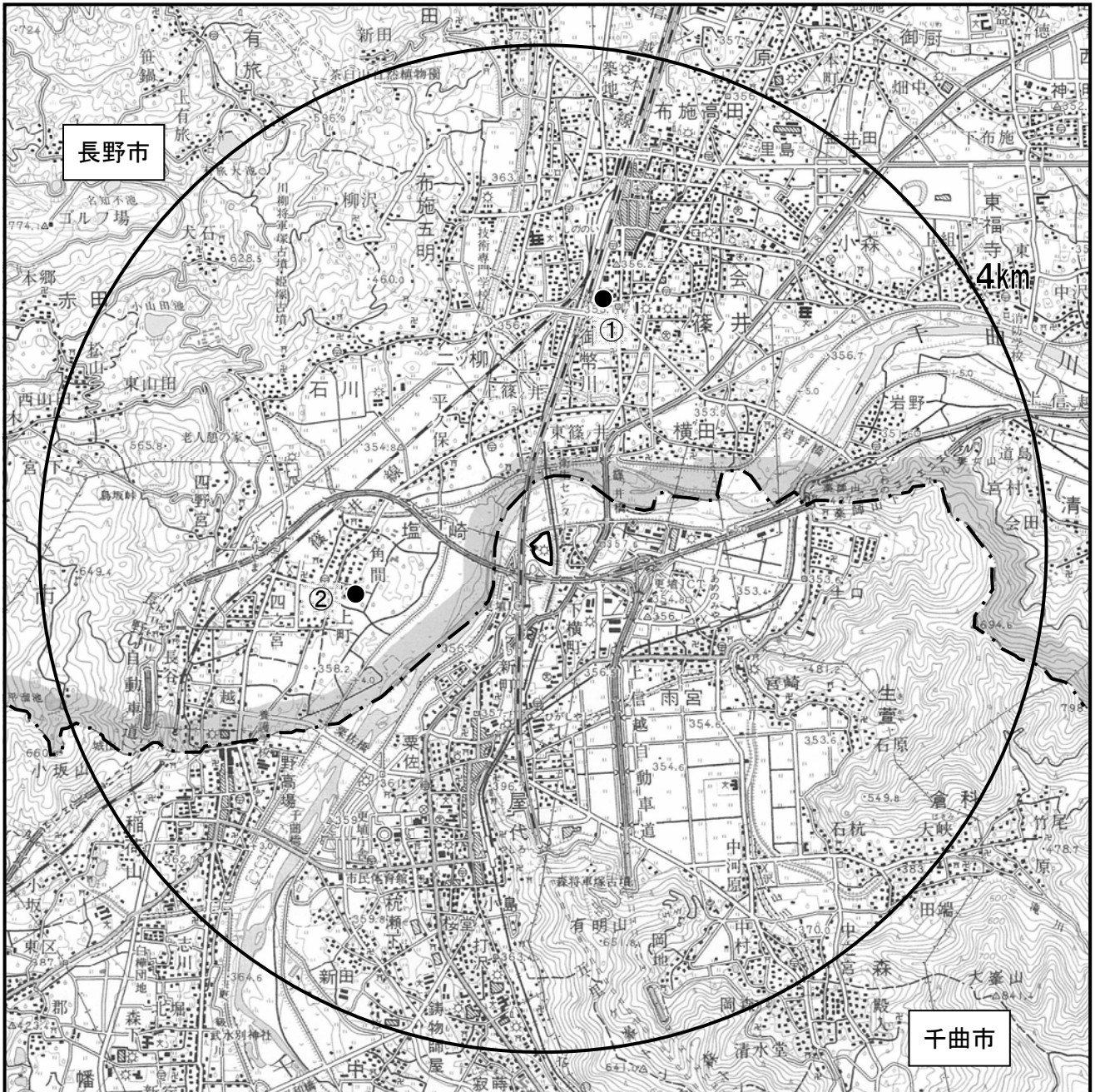
対象事業実施区域及びその周囲における、過去5年間の地下水のダイオキシン類調査結果は表 2-3-43 に、調査地点は図 2-3-36 に示すとおりである。

いずれの地点とも、環境基準を満足している。

表 2-3-43 ダイオキシン類（地下水）調査結果（平成 18 年度～22 年度）

地点 番号	調査地点	年度	地下水 (pg-TEQ/l)	
			測定値	環境基準
①	通明小学校 (長野市篠ノ井御幣川)	H19	0.033	1
②	塩崎小学校 (長野市篠ノ井塩崎)	H21	0.085	

出典：「平成 19 年度～23 年度版長野市環境白書」（長野市ホームページ）



凡 例

- 対象事業実施区域
- 市境
- ダイオキシン類（地下水）調査地点

出典：次の資料を基に作成。  
「平成 19 年度～23 年度版長野市環境白書」（長野市ホームページ）

この地図は、50,000 分の 1「千曲市全図」（平成 20 年 8 月 千曲市）及び国土地理院 50,000 分の 1「長野」（平成 10 年 2 月）を使用したものである。

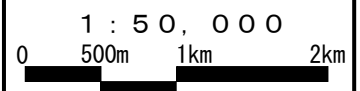
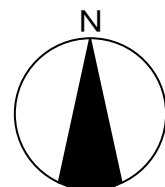


図 2-3-36 ダイオキシン類（地下水）調査地点位置図

## 9 土壌汚染

対象事業実施区域及びその周囲における土壌のダイオキシン類調査結果のうち、各地点の過去5年間における調査結果は表 2-3-44 に、調査地点の位置は図 2-3-37 に示すとおりである。

いずれの地点とも、全ての年度において環境基準を満足している。

表2-3-44 ダイオキシン類（土壌）調査結果（平成18～22年度）

単位：pg-TEQ/g

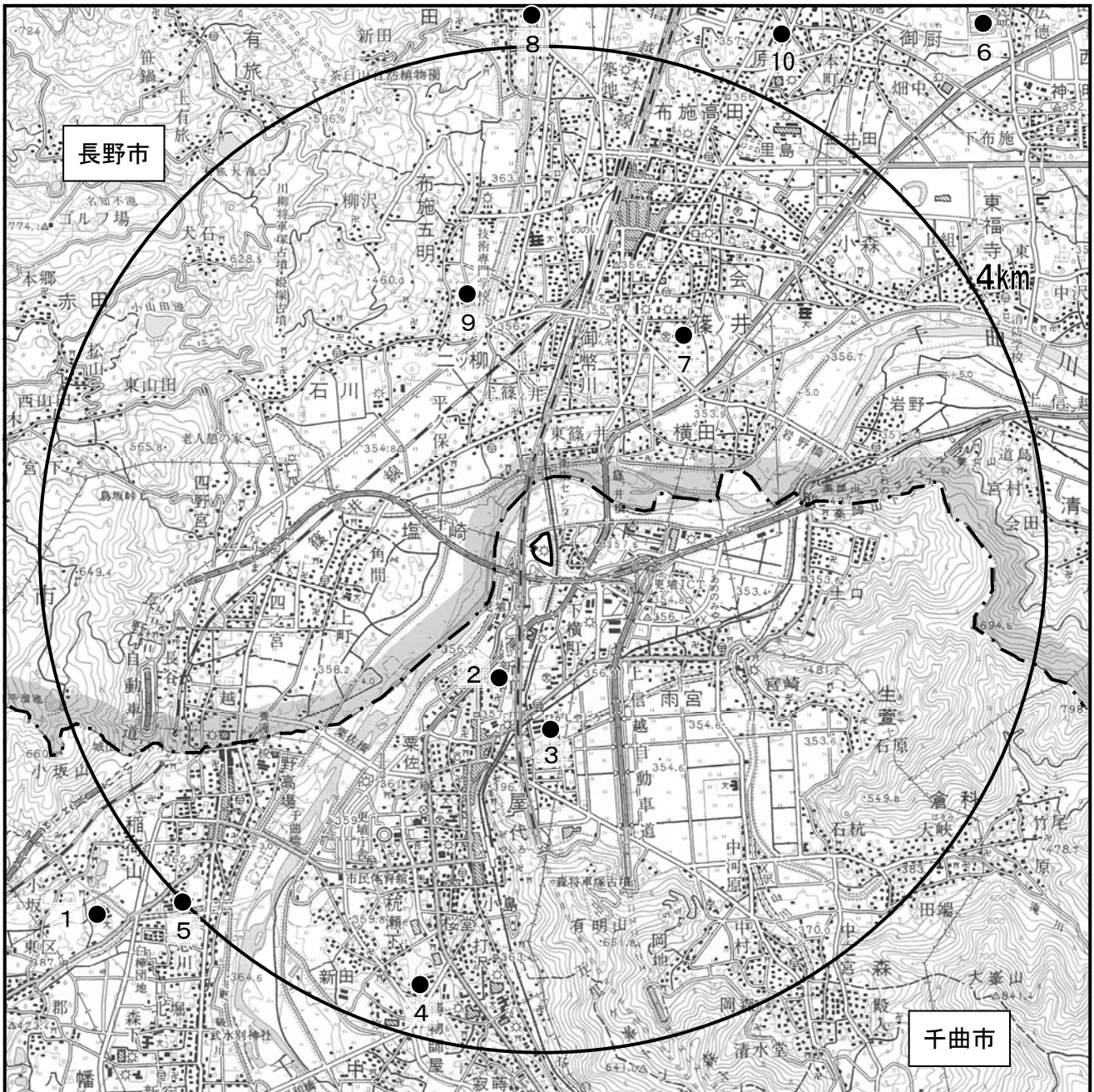
地点番号	調査地点名	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	環境基準
1	治田小学校	-	-	-	-	1.2	1,000 以下
2	屋代第五区民館	20	-	31	17	-	
3	屋代中学校	-	-	-	0.26	-	
4	埴生中学校	-	-	-	0.094	-	
5	更埴西中学校	-	-	-	0.58	-	
6	広徳中学校	-	-	-	0.19	-	
7	会遊園地	-	-	6.4	-	-	
8	冷田遊園地	-	1.1	-	-	-	
9	篠ノ井西小学校	0.028	-	-	-	-	
10	昭和小学校	0.10	-	-	-	-	

注) -：測定なし

出典：「平成19年度版～23年度版長野市環境白書」（長野市ホームページ）

「平成18年度～22年度ダイオキシン類測定調査業務報告書＜土壌＞」（千曲市）





凡 例

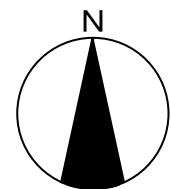
- 対象事業実施区域
- 市境
- ダイオキシン類（土壌）調査地点

出典：次の資料を基に作成。

「平成 19 年度～23 年度版長野市環境白書」（長野市ホームページ）

「平成 18 年度～22 年度ダイオキシン類測定調査業務報告書〈土壌〉」（千曲市）

この地図は、50,000 分の 1「千曲市全図」（平成 20 年 8 月 千曲市）及び国土地理院 50,000 分の 1「長野」（平成 10 年 2 月）を使用したものである。



1 : 50,000



図 2-3-37 ダイオキシン類（土壌）調査地点位置図

## 10 地盤沈下

対象事業実施区域及びその周囲において、地盤沈下の調査は実施されていない。